

会長挨拶

北海道・札幌の風光る季節、5月17～19日に第54回日本小児神経学会総会をロイトン札幌において開催させていただくこととなりました。伝統ある本学会をお世話させていただけることを大変光栄に存じます。学会のテーマを「診断から治療へ：小児神経のフロンティアを拓く」といたしました。これまで小児神経疾患においては、診断に関わる臨床的、基礎的知見の蓄積、技術的發展が目覚ましい一方、必ずしもそのことが治療法に反映されなかったのではと感じておりました。しかし、近年、小児神経疾患領域において、様々な方法論を用いた画期的な治療法の萌芽が始まっていると感じております。私自身、本学会においてその核心に触れることができると大変楽しみにしております。

既に本学会総会のお知らせとしてプログラムの概略はお伝えしておりますが、改めて主な内容をお知らせいたします。

特別講演は、北海道大学から初のノーベル化学賞を受賞された、鈴木 章先生にお話しいただけることになりました。私も北大関係者の誇りであり、皆様にもお話を楽しんでいただけたらと思っております。瀬川プログラムでの招待講演はマサチューセッツ大学医学部の Miguel Sena-Esteves 先生にライソゾーム病に対する遺伝子治療の講演をお願いいたしました。テーマ企画は5つ。①小児神経学における再生医療の可能性として慶應義塾大学の岡野栄之先生に基調講演をお願いし、関連したシンポジウムが続きます。②北海道企画として障がい児を支える地域医療を考えるというテーマでシンポジウムを行い、指定発言が続きます。③慢性頭痛診療ガイドライン：小児の頭痛（案）というテーマで3名に講演していただきます。④自己免疫性脳炎 Up-to-Date というテーマで、バルセロナ大学の Josep Dalmau 先生の基調講演、関連シンポジウムが続きます。⑤小児神経学とヒューマンテクノロジーの融合というテーマで、世界の最先端を走っておられる著名な工学系研究者3名（山海嘉之先生、川人光男先生、井野秀一先生）に連続講演をしていただきます。シンポジウムは4つ。教育講演は10講演。その他多くの委員会企画、実践教育セミナー、震災関連企画などが盛りだくさんで計画されています。また、最終日には市民公開講座を現在の子育てを考えるをテーマとして、元旭山動物園園長の小菅正夫先生の基調講演と、様々な分野の3名の方に講演をしていただきます。

最後に、本学会総会の特徴を3点強調したいと思います。

1. 会員の方からの要望に添って、本学会場を原則バリアフリーといたしました。発表席にステージを設置しないことで段差をなくし、車いすで可能な限り行動できるように配慮しております。
2. English Session の充実。かねてからのアドバイサー・カウンセラーからの助言に従って、大幅にこの枠を拡大し、他のプレナリーセッションなどと重ならないようにいたしました。また、優秀演題受賞の候補対象といたしました。
3. 電子ポスターの導入。掲示するポスター以外に、その要約を短時間（時間厳守）で発表する形式を用意しました。6会場同時進行で、他会場の発表もサブスライドで同時に見ることができます。その後、掲示ポスター前で質疑応答ができるようにしています。

本学会のお世話をする事が決まるまで本学会に精通していなかった私ですが、準備が進むにつれ、本学会員の熱意、積極性に少なからず驚いております。学会総会で多くの委員会主催の企画があること、他の学会に先立った先進的な考えがあること、先達からの助言があること等々。無事、大役を果たせるかどうか、不安は大きくなるばかりですが、お陰さまで一般演題も多数応募いただきました。事務局一同、皆様楽しんでいただけるよう誠心誠意努力しておりますので本学会総会を堪能していただけたらと信じております。

皆様、どうぞ北海道・札幌にお出かけ下さい。札幌でお会いできるのを楽しみにしております。

平成24年5月

第54回日本小児神経学会総会
会長 有賀 正
北海道大学大学院医学研究科小児科学分野

■鴨下重彦先生を偲んで	S4
■交通案内	S5
■会場案内	S6
■ポスター会場案内	S8
■お知らせとお願い	S10
■プログラム委員・総会事務局	S15
■各優秀賞	S16
■東日本大震災被災地支援活動への援助企画	S17
■役員会・各種委員会・関連プログラム日程	S18
■日程	
総会前日（5月16日）	S19
第1日目（5月17日）	S20
第2日目（5月18日）	S22
第3日目（5月19日）	S24
■プログラム	
特別演題日程	S27
総会前日（5月16日）	S37
第1日目（5月17日）	S38
第2日目（5月18日）	S67
第3日目（5月19日）	S91
■特別演題抄録	
会長講演	S99
特別講演	S100

招待講演	S101
テーマ企画 (①～⑤)	S102
教育講演 (1～10)	S119
シンポジウム (1～4)	S129
ワークショップ (1・2)	S142
公開セミナー	S149
モーニング教育セミナー (1・2)	S152
B&D セミナー	S156
夜間集会 (1・2)	S158
モーニングセミナー	S164
ランチョンセミナー (1～12)	S165
実践教育セミナー (I・II)	S171
市民公開講座	S176

■一般演題抄録 (English Session)

第 1 日目 (5 月 17 日)	S181
-------------------------	------

■一般演題抄録 (口演)

第 1 日目 (5 月 17 日)	S195
第 2 日目 (5 月 18 日)	S218
第 3 日目 (5 月 19 日)	S258

■一般演題抄録 (ポスター)

第 1 日目 (5 月 17 日)	S281
第 2 日目 (5 月 18 日)	S346

■索引 (筆頭講演者名)	S394
--------------------	------

■歴代総会会長・開催地・会期一覧	S401
------------------------	------

■瀬川プログラム招待講演者一覧	S402
-----------------------	------

■日本小児神経学会優秀論文賞受賞者一覧	S403
---------------------------	------

■日本製薬団体連合会・協賛企業一覧	S405
-------------------------	------

鴨下重彦先生を偲んで

本学会名誉会員，東京大学名誉教授・鴨下重彦先生におかれましては，去る平成 23 年 11 月 10 日，ご逝去されました。

鴨下先生は，本学会の設立から発展の中で多大なるご貢献をなされ，昭和 58 年には，第 25 回総会を会長として開催されました。私と鴨下先生の接点は必ずしも多くはありませんでしたが，先生のお人柄にふれ，先生が北海道の出身であることを知って，かねてより敬意を抱いておりました。この度の学会総会をお引き受けすることに関しても心温まる励ましとご助言をいただいております。

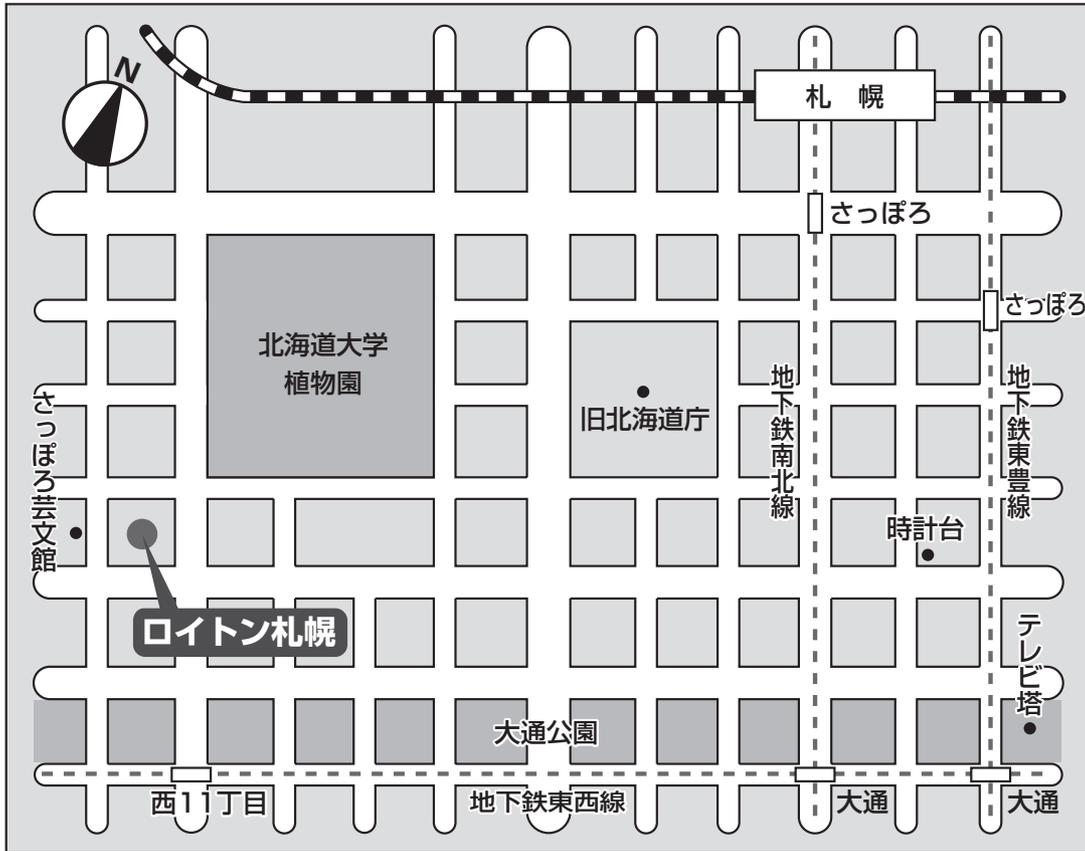
ここに先生のご遺徳を偲び，謹んで哀悼の意を表します。

故鴨下重彦先生を偲ぶ集いを，総会第 1 日目（5 月 17 日）13 時 20 分より第 1・2 会場にて開催いたします。よろしくご参集下さいますようお願い申し上げます。

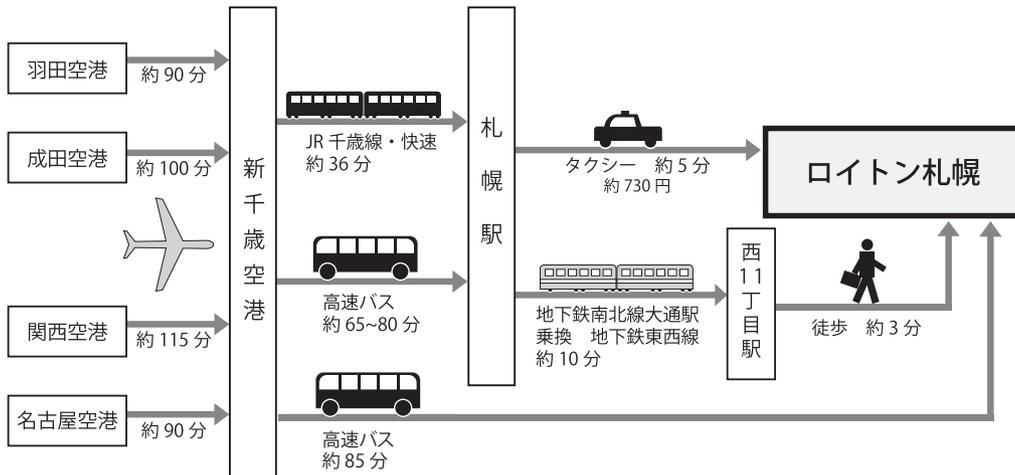
第 54 回日本小児神経学会総会・会長
北海道大学大学院医学研究科小児科学分野・教授
有賀 正

交通案内

ロイトン札幌 〒060-0001 札幌市中央区北1条西11丁目1
TEL:011-271-2711

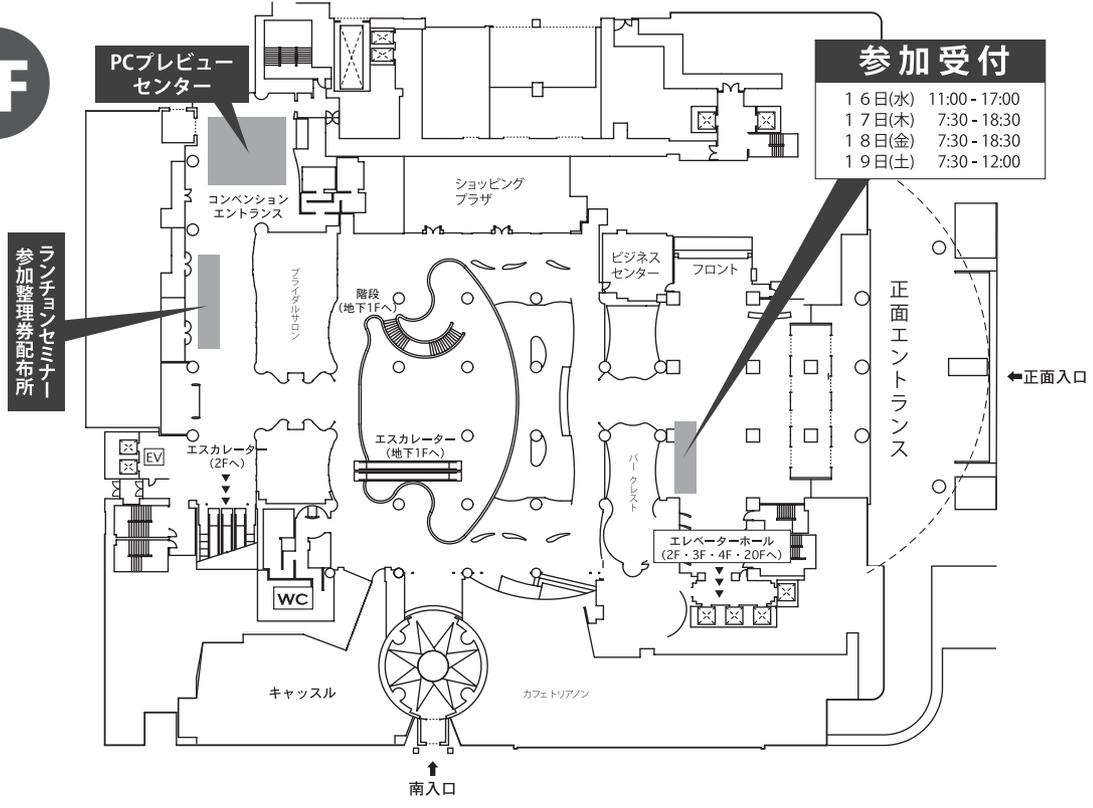


- 電車 <JR札幌駅>南口よりタクシーで約 5 分
- 地下鉄 南北線 (大通乗り換え)→東西線 宮の沢行き 2 分<西11丁目>下車→徒歩 3 分
- 自動車 道央自動車道 札幌北ICより 約 8 km 20 分
- 駐車場 ロイトン札幌 B1F (有料)
- 空港から
 - ・ JR快速エアポート<JR札幌駅>下車 片道 ¥1,040 約 36 分
 - ・ 高速バス (札幌都心/ロイトン札幌行) <JR札幌駅>まで約 80 分
 - ・ 新千歳空港連絡バス (札幌中心部) <ロイトン札幌>下車 片道 ¥1,000 約 85 分
 - のりば ANA前<24> JAL前<13> 15 分毎運行

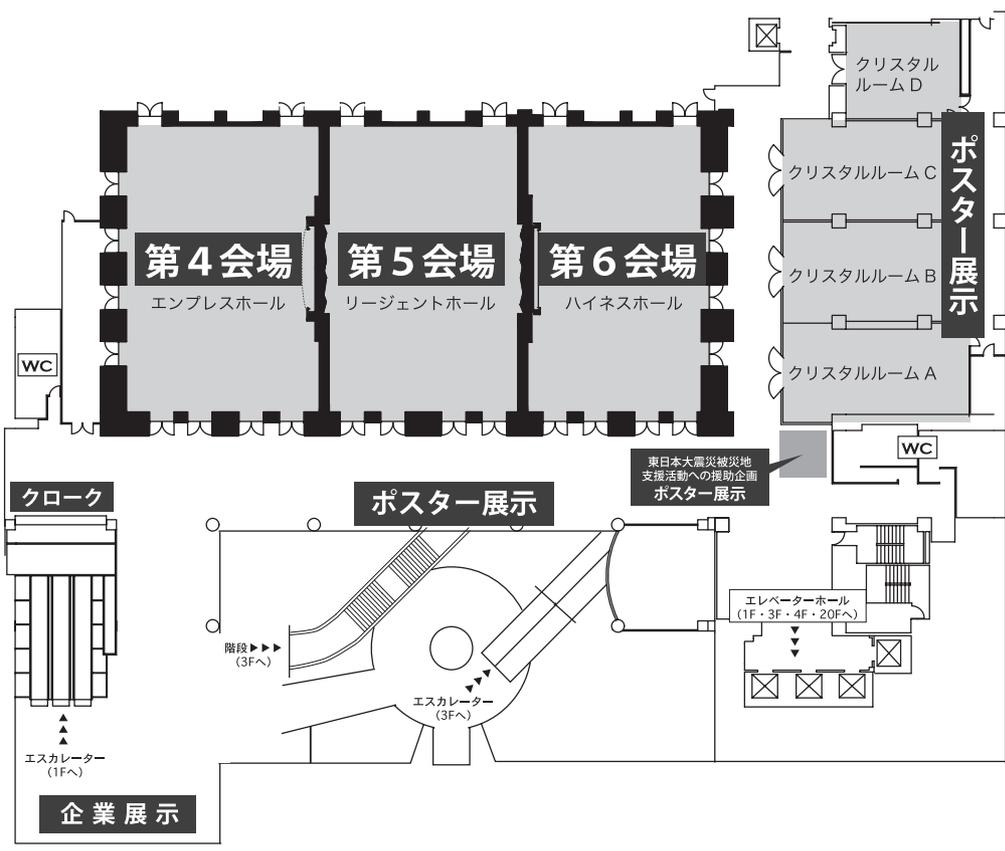


会場案内

1F

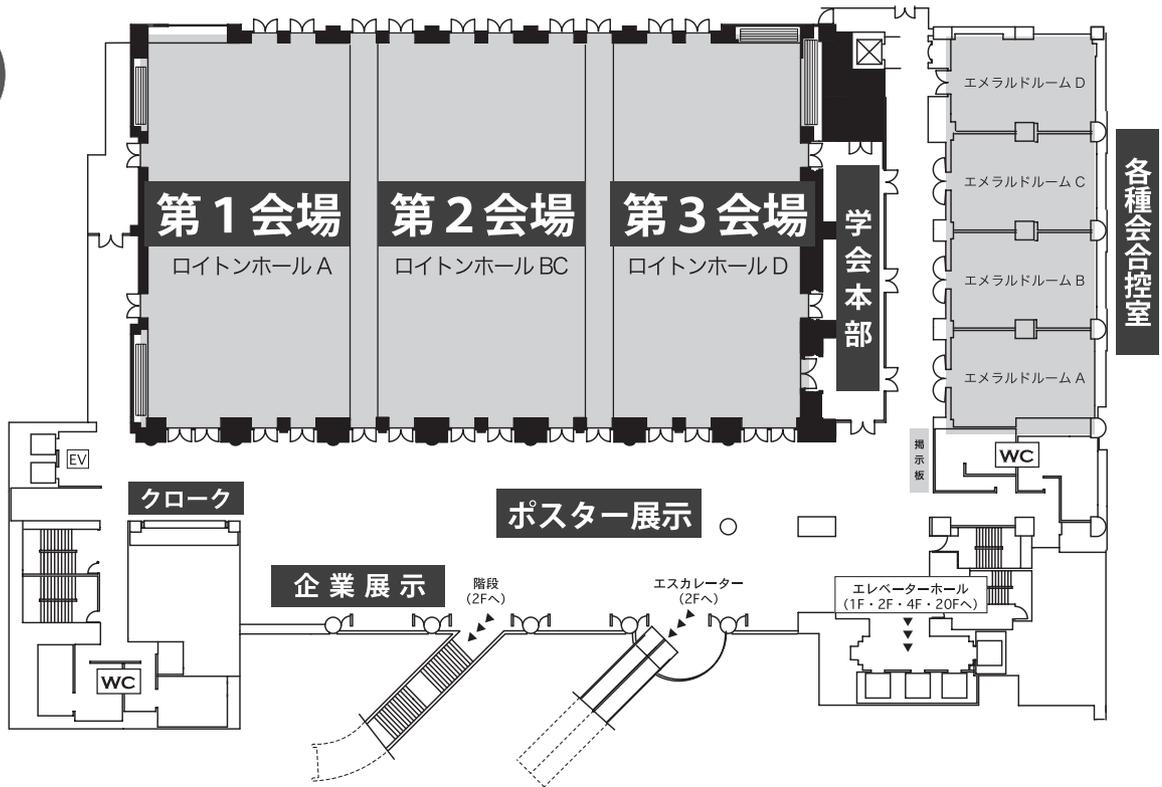


2F



会場案内

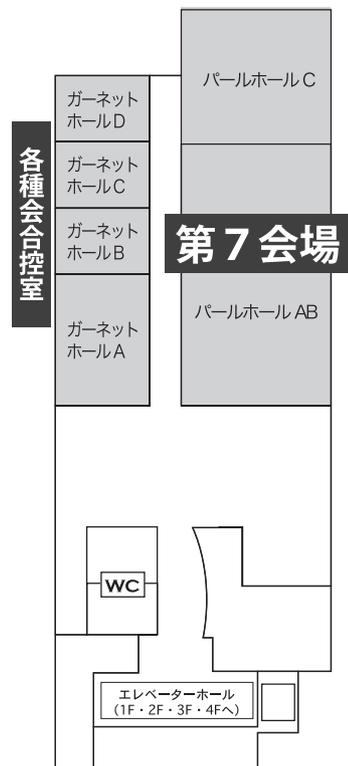
3F



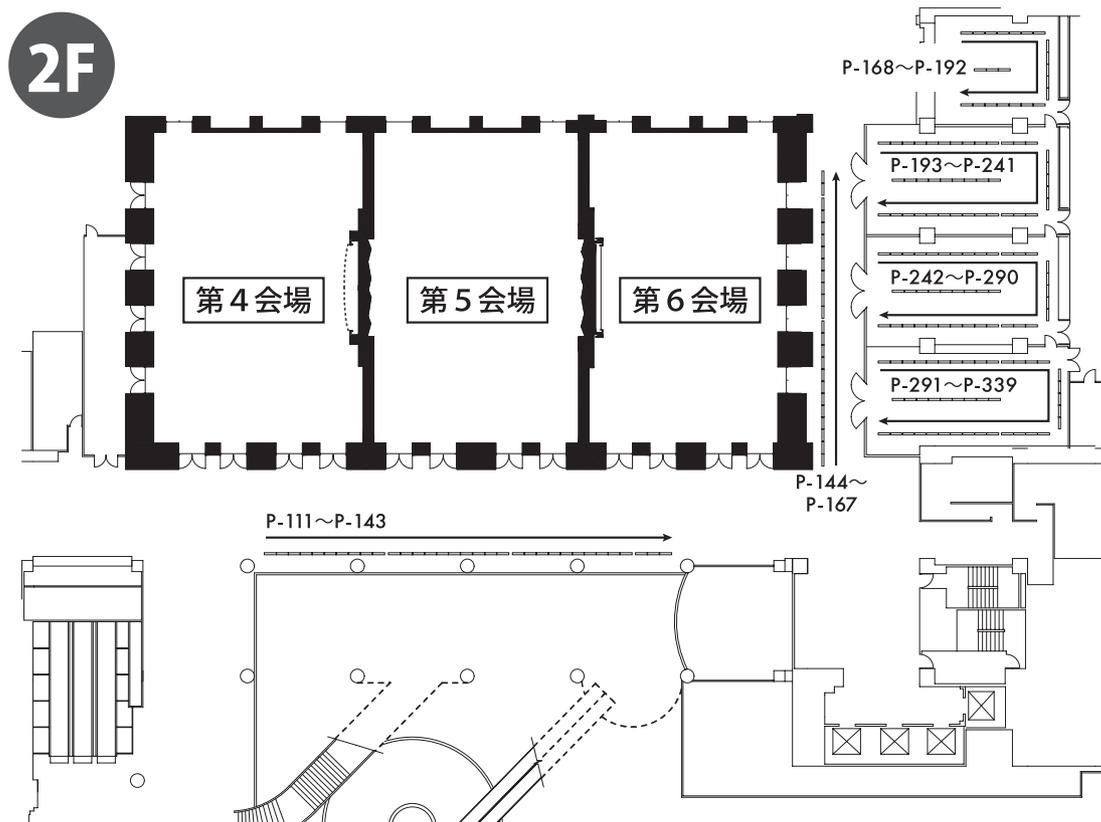
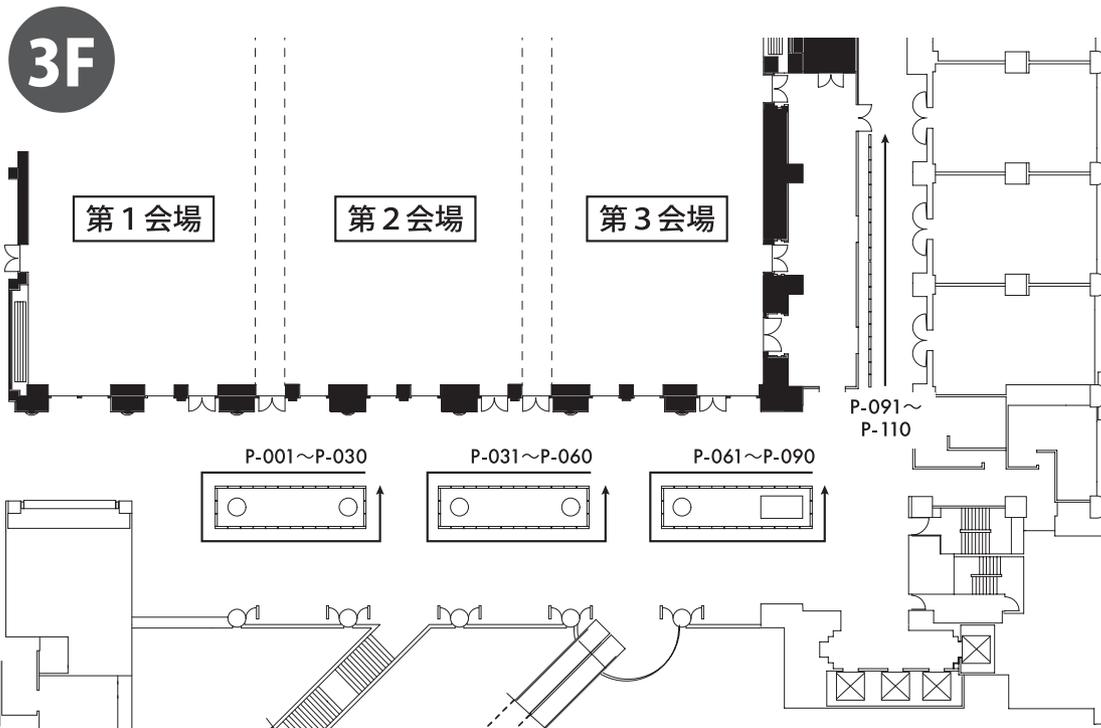
4F



20F



ポスター会場案内



ポスター会場案内

今回のポスター演題は従来とは異なり、口演会場にてスライドを用いて発表します。

6 会場の発表が同時進行し、他会場のスライド内容をどの会場にいても閲覧できるシステムを組んでおりますので、興味のある症例発表を見落とさず、複数の会場を移動できる形式となっております。

1 演題は発表 3 分・質疑応答なしで進行いたします。

Poster on site の時間帯に演者はポスターパネル前で各自待機しているので、演者へご質問のある方は、ポスター口演発表終了後の Poster on site、または全体の Poster on site の時間帯にご質問下さい。

No.	カテゴリー	口演発表	口演会場	Poster on site	全体 Poster on site
P-001 ~ P-033	てんかん, けいれん 1	第 1 日目 17日(木) 17:00~18:40	第 1 会場	第 1 日目 17日(木) 18:50~19:30	第 2 日目 18日(金) 19:00~19:40
P-034 ~ P-065	発達障害一般/発達		第 2 会場		
P-066 ~ P-098	急性脳炎・脳症		第 3 会場		
P-099 ~ P-132	代謝変性疾患/形態, 病理/ 不随意運動, 基底核		第 4 会場		
P-133 ~ P-165	奇形, 染色体異常/ 遺伝/腫瘍		第 5 会場		
P-166 ~ P-195	感染, 免疫(急性脳炎・ 脳症を除く)/新生児		第 6 会場		
P-196 ~ P-217	てんかん, けいれん 2	第 2 日目 18日(金) 10:10~11:25	第 1 会場	第 2 日目 18日(金) 11:30~12:10	
P-218 ~ P-241	急性脳炎・脳症/ 発達障害の療育・支援		第 2 会場		
P-242 ~ P-264	脳性麻痺・療育		第 3 会場		
P-265 ~ P-289	筋/精神障害, 行動異常/ その他		第 4 会場		
P-290 ~ P-314	発達障害検査/血管障害		第 5 会場		
P-315 ~ P-339	学習障害/自律神経, 頭痛/ 電気生理/画像/末梢神経		第 6 会場		

I. 参加者各位へ

- (1) 会場：ロイトン札幌（〒 060-0001 札幌市中央区北 1 条西 11-1 電話 011-271-2711）
- (2) 受付：

月日	時間	場所
総会前日 5月16日(水)	11:00~17:00	ロイトン札幌 1F 正面ロビー
総会第1日目 5月17日(木)	7:30~18:30	
総会第2日目 5月18日(金)	7:30~18:30	
総会第3日目 5月19日(土)	7:30~12:00	

- (3) 登録：参加費 15,000 円を総合受付にてお支払い下さい。引き換えにネームカード（領収書兼）をお渡ししますので、所属と氏名を記入して下さい。ネームカードのない方は、入場できません。なお、初期臨床研修医は 5,000 円、大学学生（大学院生は除く）は 2,000 円です。いずれも身分を証明するものが必要です。大学学生は学生証提示、初期研修医はあらかじめ所属施設長より現在初期研修中である証明を取得し、持参して下さい。総合受付にて所属と氏名を用紙に記入してネームカードを受け取って下さい。
- (4) 個人情報に関する注意：個人情報保護の観点から、日本小児神経学会の『患者プライバシー保護に関する指針』を遵守し、本学会に発表する内容には患者さんやその他の関係者を特定できるような情報を表示しないようお願いいたします。特に、発作時ビデオ等、患者さんの表情などを提示せざるを得ない動画データについては、患者さんの同意が得られているものとします。さらに、今学会では会場内において、発表内容を写真およびビデオ等で撮影することは一切禁止させていただきます。参加者の皆様のご協力をお願い申し上げます。
- (5) 抄録集：総会当日はプログラム・抄録集をご持参下さい。お持ちでない方は総合受付内の抄録集販売受付にて 1 冊 2,000 円で販売いたしますのでお求め下さい。ただし、数に限りがあります。
- (6) 会員総会：第 54 回総会を総会 2 日目（5 月 18 日）13 時 20 分より第 1 会場（3 階 ロイトンホール A）で行います。会員参加者全員の出席をお願いいたします。
- (7) 日本小児神経学会年会費：平成 24 年度会費（15,000 円）を未納の方は当該受付にて納入して下さい。
- (8) B & D 購読料：英文誌（Brain & Development）の購読者で平成 24 年購読料（18,000 円）を未納の方、または新たに購読を希望される方は当該受付にて納入して下さい。
- (9) 専門医研修単位：学会参加により以下の研修単位が認められます。
小児神経専門医 8 単位、小児科専門医 8 単位、日本リハビリテーション医学会認定臨床医 10 単位。
- (10) 会員懇親会：会員懇親会を総会 2 日目（5 月 18 日）19 時 50 分より第 1、2 会場（ロイトン札幌 3 階 ロイトンホール ABC）にて行います。参加を希望される方は、参加費 5,000 円を添えて総合受付内の懇親会受付までお申し込み下さい。
- (11) 会場での呼び出しは原則としていたしません。
- (12) 駐車場：ホテルの駐車場は有料になります。公共の交通機関を使ってお越し下さい。

II. 座長各位へ

- (1) 口演発表の座長各位へ
担当セッション開始 15 分前までに会場の上手前方の次座長席におつき下さい。
口演発表は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分）、で進行して下さい。会場進行責任者からもお

知らせをしますが、時間になりましたら随時セッションを開始して下さい。

口演会場では、発表時間を計時します。演台、ならびに座長席では、終了1分前に黄ランプ、終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯します。セッションの終了時刻が遅れないようご配慮をお願いします。

(2) ポスター発表の座長各位へ

今回のポスター発表では従来とは異なり、口演会場にてスライドを用いる発表形式です。

担当セッション開始 15 分前までに会場の上手前方の次座長席におつき下さい。

1 演題 3 分（発表 3 分・質疑応答なし）で進行して下さい。6 会場同時進行し、そのスライド内容を全会場で閲覧できるシステムです。

口演会場では、発表時間を計時します。演台、ならびに座長席では、終了1分前に黄ランプ、終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯します。セッションの終了時刻が遅れないようご配慮をお願いします。

Ⅲ. 演題の採択

- (1) 632 演題の申し込みがありました。プログラム委員会の審議の結果、演題取り下げ 3 題を除いた 629 題を採用、このうち English Session 40 題、一般演題 253 題、ポスターセッション 336 題と決定しました。
- (2) The 2012 JSCN International Educational Fellowship は 1 名（Ahad Ghazavi 先生：E-012 にて発表）が、JSCN Award for Asia-Oceania Young Investigator は 1 名（Afshin Fayyazi 先生：E-006 にて発表）が選出されています。

Ⅳ. 口演発表者へ

(1) 発表時間

発表時間に関して、依頼講演（教育講演、シンポジウム、ワークショップ等）の演者は座長の指示に従って下さい。

一般演題（English Session）・（口演）の発表時間は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分）です。

各口演会場では、発表時間を計時します。演台、ならびに座長席では、終了1分前に黄ランプ、終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯しますので発表時間の目安として下さい。

(2) 発表形式

依頼講演、一般演題（English Session）・（口演）ともに全セッション PC プレゼンテーションのみです。次項の「PC 発表データ作成について」をご参照下さい。なお、English Session にてご発表の先生は、データを英語で作成し、英語でご発表下さい。

(3) データのプレビュー・受付

PC データのプレビュー、データのお預かりは、下記時間帯に PC プレビューセンターにて行います。PC プレビューセンター以外では受付できませんのでご注意下さい。

【PC プレビューセンター】

月日	時間	場所
5 月 17 日（木）	7：30～19：00	ロイトン札幌
5 月 18 日（金）	7：30～18：00	1 階
5 月 19 日（土）	7：30～15：00	コンベンションエントランス

※ 5 月 16 日（水）にご講演の先生は、講演会場前方左側の映像オペレーション卓へ直接データをお持ち込み下さい。

(4) PC 発表データ作成について

◎発表における利益相反 (COI) 開示のお願い

今回より、応募演題の筆頭発表者における COI (筆頭発表者自身に対して、当該研究内容に含まれる製品等に関連する営利企業や団体組織からの、兼業などによる給与・研究費・人員の提供など) に関する開示が義務付けられるため、発表にあたっては、これらの情報を開示していただきます。COI の有無にかかわらず、発表スライドの冒頭あるいは 2 枚目にて、COI の開示をお願いします。 COI 開示フォーマットは下記第 54 回総会ホームページでご確認下さい。

【第 54 回総会ホームページ：COI 開示要項】

<http://54th-jscn.org/>

◎データは以下の要領で作成して下さい

①利用可能なパソコン

- ・ Windows の場合：USB ストレージ、CD-R でのデータ持ち込み、または、ノートパソコン持ち込みによる発表が可能です。
- ・ Macintosh の場合：必ずご自身のノートパソコンを持参して下さい。Macintosh で作成されたデータのメディアによる持ち込みはできません。

②動画・音声の利用について

口演会場では、動画・音声出力ができるよう準備します。動画を含む発表用データを持参される方は、Windows Media Player (WMV 形式を推奨いたします) で動作する形式で用意して下さい。動画を使用する場合、リンク切れにご注意下さい。これはデータをメディアにコピーした後、作成した PC 以外の PC で動作確認することによりチェックできます。動画がある場合はご自身の PC のお持ち込みを推奨いたします。

③USB ストレージ、CD-R でのデータ持ち込みの場合 (Windows の場合のみ)

【発表データの作成】

- ・ OS：WindowsXP 以降の環境で作成して下さい。
- ・ アプリケーション：Microsoft PowerPoint 2003 以降
- ・ 画面のサイズは XGA (1024×768) です。

【データの総量】

- ・ データの総量制限は特に設けませんが、決められた発表時間内に発表が終了するようデータを作成して下さい。

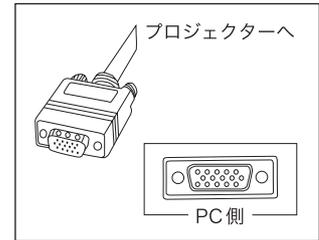
【データの提出方法】

- ・ メディアの形式：USB ストレージまたは CD-R のみ受付けます。USB ストレージまたは CD-R に記録しご持参下さい。
- ・ 発表データは、「演題番号+ご自身のお名前」をつけたフォルダの中に保存して下さい。このフォルダの中には、発表に使用する PowerPoint ファイル (動画ファイルがある場合は動画ファイルを含む) 以外のデータは入れないで下さい。
- ・ データの受付および返却：USB ストレージまたは CD-R でのデータ持ち込みの場合、PC プレビューセンターではデータのみをコピーし、メディアはその場でご返却いたします。
- ・ データの受付時間：発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターに提出して下さい (早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませて下さい)。
- ・ 発表のために学会場の PC にコピーしたデータは、会期終了後、学会事務局ですべて消去します。

④ノートパソコンをお持ち込みの場合 (Windows, Macintosh とも)

【ノートパソコンの条件】

- ・外部出力ができる PC をご持参下さい。
 - ・会場に用意するケーブルコネクタは mini D-sub 15 ピンです。
 - ・変換が必要な場合には付属アダプターも各自でご用意下さい。
 - ・必ず AC アダプター (電源コード) をご持参下さい。
- AC アダプターがない場合、受付いたしかねる場合もありますのでご了承下さい。



[mini D-sub 15 pin] コネクタ形状

【ノートパソコンの受付・返却】

- ・発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターで受付をして下さい (早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませて下さい)。
- ・PC プレビューセンターにて、試写、動画・音声の有無を確認後、各自ご自身のノートパソコンを持って口演会場に移動して下さい。口演会場では、セッション開始時刻 15 分前までに会場内下手前方の PC オペレータ席にノートパソコンをお持ち下さい。
- ・発表終了後直ちに PC 発表オペレータ席で、ご自身のパソコンをお引き取り下さい。

(5) 発表方法

- ・舞台上のマウスとキーボードを操作し、プレゼンテーションを行って下さい。

V. ポスター発表者へ

(1) 発表時間

今回のポスター発表では従来とは異なり、口演会場にてスライドを用いる発表形式です。

1 演題 3 分 (発表 3 分・質疑応答なし) です。セッション終了後、Poster on site の時間帯に、各自ポスターパネル前にて参加者との質疑応答の場といたします。各パネルに付属の青リボンを着用の上、待機して下さい。

口演会場では、発表時間を計時します。演台、ならびに座長席では、終了 1 分前に黄ランプ、終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯します。発表時間は座長の指示に従い、厳守して下さい。

6 会場の発表が同時進行し、他会場のスライド内容をどの会場にいても閲覧できるシステムのため、参加者は興味のある症例発表を見落とさず、複数の会場を移動できる形式となっております。

掲 示 ・ 展 示	17 日 (木) 7:30 ~ 18 日 (金) 19:40
発 表 (各口演会場にて)	(P-001 ~ P-195) 17 日 (木) 17:00~18:40 (P-196 ~ P-339) 18 日 (金) 10:10~11:25
Poster on site (各ポスターパネル前にて)	(P-001 ~ P-195) 17 日 (木) 18:50~19:30 (P-196 ~ P-339) 18 日 (金) 11:30~12:10 (全ポスター演題) 18 日 (金) 19:00~19:40
撤 去	18 日 (金) 19:40~21:00

(2) 受付

発表スライドは事前登録制です (登録期間 4 月末までを予定)。当日はプレビューセンターの受付は必要ございません。なお、学会当日のスライドの修正・変更はできませんのでご了承下さい。

(3) 発表方法

発表システムを使用し、開始から終了までを発表者自身に操作していただく流れとなります。操作

方法は学会ホームページをご参照下さい。

(4) ポスター掲示について

◎ポスター掲示での利益相反 (COI) 開示のお願い

今回より、応募演題の筆頭発表者における COI の開示が義務付けられております。

COI の有無にかかわらず、ポスターの最後に必ず COI 開示の掲示をお願いいたします。

COI 開示のフォーマットは下記第 54 回総会ホームページよりご確認ください。

【第 54 回総会ホームページ：COI 開示要項】

<http://54th-jscn.org/>

ポスター掲示面の大きさは幅 90 cm、高さ 210 cm です (右図参照)。

パネルの左肩に 20 cm×20 cm の演題番号が表示されます (演題番号は、学会事務局にて用意します)。発表者は、指定のパネル上部の演題番号を除く幅 70 cm、高さ 20 cm のスペースに演題名、所属、演者氏名とすべての共同演者氏名を提示して下さい。

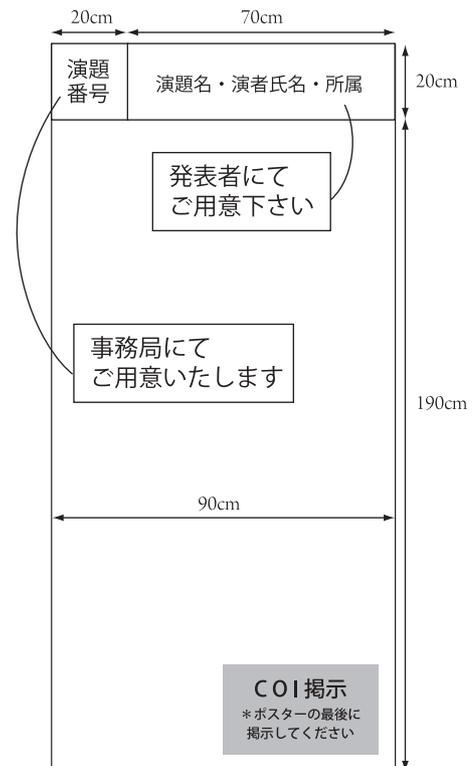
本文はその下の 90 cm×190 cm のスペースに掲示して下さい。画鋏は各パネルに用意します。

ポスターは発表日にかかわらず、2 日間掲示して下さい。

(5) 撤去

発表者は 18 日 (金) 19 時 40 分～21 時までの間に各自でポスターを取り外して下さい。

なお、撤去時間を過ぎてもお引き取りのないポスターは、学会事務局で撤去し、プログラム終了時に廃棄いたしますのでご了承下さい。



VI. 共催セミナーについて

(1) 内容

■学会 1 日目 (5 月 17 日)

11 時 40 分よりランチョンセミナー 1, 2, 3, 4, 5 を開催します。

■学会 2 日目 (5 月 18 日)

8 時よりモーニングセミナーを、12 時 20 分よりランチョンセミナー 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12 を開催します。

※上記セミナーはいずれも朝食および昼食を用意いたします。

(2) ランチョンセミナーの参加整理券の配布

月日	時間	場所
5 月 17 日 (木)	7:30~11:10	ロイトン札幌
5 月 18 日 (金)	7:30~11:50	1 階 コンベンションエントランス

ランチョンセミナーの参加には、参加整理券 (無料) が必要です。セミナー開催の当日、配布所にてお受け取り下さい。整理券は、定員になり次第、配布を終了させていただきます。参加整理券をお持ちの方は、各会場前受付にてお弁当・資料をお受け取りの上、ご入場下さい。

Ⅸ. 託児室

会場内に設けます託児室をご利用いただきます。詳細はホームページを参照の上、お申し込み下さい。
なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

プログラム委員会（敬称略，50音順）

有賀 正，石川 幸辰，泉 達郎，伊東 恭子，大澤真木子，大塚 頌子，大坪 宏，岡 明，
沖 潤一，小沢 浩，梶井 直文，加藤 光広，吉良龍太郎，久保田健夫，黒澤 健司，児玉 浩子，
後藤 雄一，小林 勝弘，齋藤 伸治，佐々木秀直，下澤 伸行，白石 秀明，高橋 悟，館 延忠，
田中 肇，長 和彦，遠山 潤，中川 栄二，夏目 淳，萩野谷和裕，寶金 清博，星 詳子，
皆川 公夫，宮本 晶恵，山下 純正，山下裕史朗，若井 周治，和田 敬仁

事務局

北海道大学大学院医学研究科小児科学分野
事務局長：白石秀明

事務局連絡先

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目
北海道大学大学院医学研究科小児科学分野
TEL：011-706-5954
FAX：011-706-7898

運営事務局連絡先

〒062-0903 札幌市豊平区豊平3条9丁目3-10
株式会社ニノシス
TEL：011-598-0556
FAX：011-824-4700
E-mail：contact@54th-jscn.org

第 54 回日本小児神経学会総会 各優秀賞について

本総会では、下記の優秀賞を設けております。総会第 2 日目、5 月 18 日（金）の会員懇親会にて表彰式を行いますので、該当者は必ずご出席下さい。

●優秀口演賞 (Nominee of English Session) ・最優秀口演賞 (エンレイ賞)

English Session にて採択された演題は優秀口演賞 (Nominee of English Session) として表彰いたします。

また、当日の発表を踏まえ、優秀口演賞の中から審査により、最優秀口演賞 (エンレイ賞) を 2 名選出いたします。第 2 日目 19:00 に掲示により発表します。

会員懇親会にて優秀口演賞・最優秀口演賞の表彰式を行いますので、必ずご出席下さい。

〈優秀口演賞 (Nominee of English Session)〉

E-001 Yukiko Mogami	E-023 Yukifumi Monden
E-002 Jun Natsume	E-024 Yukihiro Kitai
E-003 Yusaku Miyamoto	E-025 Naoko Ishihara
E-004 Kenji Sugai	E-026 Yutaka Negishi
E-005 Midori Nakajima	E-027 Masayoshi Nagao
E-007 Shuichi Yatsuga	E-028 Celine Miyazaki
E-008 Tomonari Awaya	E-029 Kazuhiro Muramatsu
E-009 Zen-ichiro Kato	E-030 Shigeo Kure
E-010 Mariko Taniguchi-Ikeda	E-031 Tohru Okanishi
E-011 Takenori Tozawa	E-032 Ivan Gonchar
E-013 Tetsuo Kubota	E-033 Koji Tanoue
E-014 Takeshi Tsuji	E-034 Kaeko Ogura
E-015 Akihisa Okumura	E-035 Sayoko Kawabata
E-016 Taku Omata	E-036 Satoko Ochi
E-017 Takahito Wada	E-037 Satoru Takahashi
E-018 Yasuo Hachiya	E-038 Naomi Hino-Fukuyo
E-019 Tomoki Maeda	E-039 George Imataka
E-020 Mototada Shichiri	E-040 Naoko Hayashi
E-021 Yasunari Sakai	E-041 Seigo Korematsu
E-022 Shin Nabatame	E-042 Sumimasa Yamashita

●若手優秀ポスター賞 (ライラック賞) について

一般演題 (ポスター) に応募の若手研究者の優秀な演題に対し、若手優秀ポスター賞 (ライラック賞) として表彰します。

当日の口演発表を踏まえ、審査により選出され、第 2 日目 19:00 に掲示により発表します。

若手優秀ポスター賞に応募された方は各自で掲示板をご確認下さい。

優秀賞に選ばれた方は会員懇親会にて表彰式を行いますので、必ずご出席下さい。

東日本大震災被災地支援活動への援助企画

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に際し、あまりにも多くの尊い人命の損失と、大きな被害を受けられたことに対し、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日本小児神経学会では 6 月に仙台市内で会議を開催し、現地の先生方に現状をお聞きしました。すでに多くの先生方が援助活動をされていることを伺いましたが、学会としての直接の支援活動には至りませんでした。今回、本学会会員の先生方が、地域の方々と一緒に取り組んでおられる支援活動に対し、少しでも学会としての援助を行うことができればという思いから、この企画を設けました。

ご応募いただいた活動内容は総会にてポスター掲示をしていただくとともに、応募活動には学会として支援金を支出いたします。

* 表彰式を総会第 2 日目（5 月 18 日）13：20 より会員総会にて行います。

下記 5 題の応募活動代表者は、会員総会にご出席下さい。

■ 展示場所：ロイトン札幌 2F フロア（会場案内図参照）

■ 展示時間：5 月 17 日（木）7：30 ～ 5 月 18 日（金）19：40

<応募活動>

1) 東日本大震災に関わる当院の支援および取り組み

小林 悟，萩野谷和裕，田中総一郎，涌澤圭介
宮城県拓桃医療療育センター小児科

2) 福島県いわき市のこどもの心のケアの取り組み—震災後の活動から生まれた地域のネットワーク

出口貴美子¹，井上 健²，佐藤哲也³，相田典子⁴

出口小児科医院¹，国立精神・神経医療研究センター神経研究所²，聖路加国際病院内科³，
神奈川県立こども医療センター放射線科⁴

[活動協力者] 西田佳史（産業技術総合研究所），小林るつ子（玩具福祉学会），秋庭真理子（神奈川県立こども医療センター），星田啓子（アジア友好教育協会／までの会）

3) 気仙沼市における学校及び地域支援の取り組み

永井利三郎^{1,2}，古川恵美²，星井道代³

東日本大震災支援委員会¹，大阪大学大学院保健学専攻生命育成看護科学²，気仙沼向洋高校養護教諭³

4) メールを使った医療相談活動

椎原 隆
群馬県立小児医療センター神経内科

5) 被災地におけるメンタルケアとストレスマネジメント

佐藤秀明¹，奈良隆寛²

NPO 法人ここねっと・緊急こどもサポートチーム¹，宮城県立こども病院リハビリテーション科²

第54回日本小児神経学会総会●役員会・各種委員会・関連プログラム日程

日程	会合名	時間	階	部屋
5月16日(水)				
〈総会前日〉	理事会	12:00～15:30	2F	第4会場
	理事会(新)	15:30～16:00	2F	第4会場
	評議員会(第6回社員総会)	16:00～18:00	3F	第1会場
	理事長選挙投票時間	16:00～18:30	3F	第1会場前
	実践教育セミナー I	12:30～15:30	3F	第3会場
	実践教育セミナー II(有料)	15:40～18:40	2F	第6会場
5月17日(木)				
〈総会第1日目〉	長期計画・社会保険・専門医委員会 合同WG	7:30～ 8:00	3F	エメラルドルーム A
	倫理委員会	8:00～ 9:00	4F	斑鳩 B
	国際渉外委員会	8:00～ 9:00	3F	エメラルドルーム B
	社会活動委員会	8:00～ 9:00	3F	エメラルドルーム C
	ホームページ委員会	8:00～ 9:00	3F	エメラルドルーム D
	長期計画委員会	8:00～ 9:00	3F	エメラルドルーム A
	脳と発達編集委員会	11:40～12:40	1F	キャッスル
	歴史・史料委員会	11:40～12:40	20F	パールホール C
	社会保険委員会	11:40～12:40	3F	エメラルドルーム C
	共同研究支援委員会	11:40～12:40	20F	ガーネットルーム A
	夜間集会1(社会活動委員会)	19:30～21:30	3F	第1会場
	夜間集会2(薬事委員会)	19:30～21:30	3F	第2会場
	5月18日(金)			
〈総会第2日目〉	モーニング教育セミナー1 (共同研究支援委員会)	8:00～ 9:00	3F	第1会場
	薬事委員会	8:00～ 9:00	3F	エメラルドルーム C
	東日本大震災支援委員会	8:00～ 9:00	3F	エメラルドルーム D
	Brain & Development 編集委員会	12:10～13:10	1F	キャッスル
	用語委員会	12:10～13:10	3F	エメラルドルーム C
	ガイドライン統括委員会	12:10～13:10	20F	パールホール C
	会員総会	13:20～14:20	3F	第1会場
	優秀論文賞授賞式・受賞者ミニ講演	14:20～14:50	3F	第1会場
	B & D セミナー (B & D 編集委員会)	14:50～16:50	3F	第3会場
	アドバイザーカウンスル	15:30～16:30	20F	パールホール C
	ワークショップ1 (東日本大震災支援委員会)	16:50～18:50	3F	第3会場
	会員懇親会	19:50～21:20	3F	第1, 2会場
5月19日(土)				
〈総会第3日目〉	モーニング教育セミナー2 (共同研究支援委員会)	8:00～ 9:00	3F	第1会場
	教育委員会	8:00～ 9:00	2F	クリスタルルーム A
	専門医委員会	8:00～ 9:00	2F	クリスタルルーム B
	産科医療補償制度検討委員会	8:00～ 9:00	2F	クリスタルルーム D
	ワークショップ2(長期計画委員会)	10:00～12:00	2F	第4会場
	第55回総会プログラム委員会	12:20～13:20	2F	クリスタルルーム A
	公開セミナー (産科医療補償制度検討委員会)	13:00～15:00	2F	第6会場

	第 1 会場 3F ロイトンホール A	第 3 会場 3F ロイトンホール D	第 4 会場 2F エンブレスホール	第 6 会場 2F ハイネスホール
12:00				
13:00				
14:00		<p>実践教育セミナー I 12:30 ~ 15:30 小児科医のための神経画像 2012 座長：高梨潤一</p>	<p>理事会 12:00 ~ 15:30</p>	
15:00				
16:00			<p>理事会(新) 15:30 ~ 16:00</p>	
17:00	<p>評議員会 (第 6 回社員総会) 16:00 ~ 18:00</p>			<p>実践教育セミナー II 15:40 ~ 18:40 新生児脳波判読セミナー 座長：奥村彰久 加藤 徹</p>
18:00				
19:00				

	第 1 会場 3F ロイトンホール A	第 2 会場 3F ロイトンホール BC	第 3 会場 3F ロイトンホール D
8:00			
9:00	開会式 8:30 ~ 8:40 会長講演 8:40 ~ 9:10 小児神経疾患に対する新しい治療: 第 54 回日本小児神経学会総会からのオーバービュー 講演: 有賀 正 座長: 福山幸夫		
	English Session : A 9:10 ~ 10:10 (E-001 ~ E-006) 座長: Hiroshi Otsubo Katsuhiro Kobayashi	English Session : B 9:10 ~ 10:10 (E-007 ~ E-012) 座長: Yuichi Goto Kyoko Itoh	English Session : C 9:10 ~ 10:10 (E-013 ~ E-018) 座長: Masashi Mizuguchi Masaharu Hayashi
10:00	教育講演 1 10:10 ~ 11:10 生物時計の発達と睡眠覚醒リズム: 時間生物学の小児科学への応用 講演: 本間さと 座長: 神山 潤	【テーマ企画②】連続講演 10:10 ~ 11:10 障がい児の自立を目指して 講演: 松尾清美 座長: 長 和彦 吉田昌子 神田豊子	てんかん 1 10:10 ~ 11:30 (O-005 ~ O-012) 座長: 中川栄二 渡邊年秀
11:00			
12:00			ランチョンセミナー 1 11:40 ~ 12:40 小児けいれんのマネジメント 講演: 新島新一 座長: 山本 仁
13:00	特別講演 12:40 ~ 13:20 ノーベル化学賞を受賞して 講演: 鈴木 章 座長: 松本脩三		
	鴨下重彦先生を偲んで 13:20 ~ 13:40		
14:00	【テーマ企画①】基調講演 13:40 ~ 14:40 iPS 細胞技術を用いた神経発達障害および神経変性疾患の病態解析と治療法の開発 講演: 岡野栄之 座長: 高橋孝雄		
15:00			
16:00	【テーマ企画②】シンポジウム 15:10 ~ 16:40 北海道から障がい児を支える地域医療を考える 座長: 長 和彦 續 晶子	震災関係 15:10 ~ 15:50 (O-001 ~ O-004) 座長: 永井利三郎 萩野谷和裕	【テーマ企画①】シンポジウム 14:40 ~ 16:40 iPS 細胞による再生医療は 小児神経疾患の未来の治療となりうるか 座長: 高橋幸利 齋藤伸治
		教育講演 2 15:50 ~ 16:50 小児もやもや病 —研究の軌跡と今後の展望— 講演: 寶金清博 座長: 呉 繁夫	
17:00			
18:00	ポスター口演: てんかん, けいれん 1 17:00 ~ 18:40 (P-001 ~ P-033) 座長: 香坂 忍 伊藤智城	ポスター口演: 発達障害一般/発達 17:00 ~ 18:40 (P-034 ~ P-065) 座長: 伊藤淳一 縄手 満	ポスター口演: 急性脳炎・脳症 17:00 ~ 18:40 (P-066 ~ P-098) 座長: 雨宮 聡 松本直也
19:00		Poster on site 18:50 ~ 19:30	
20:00	夜間集会 1 19:30 ~ 21:30 医療的ケアの介護職等法制化以後の課題 (社会活動委員会主催) 座長: 三浦清邦 江川文誠	夜間集会 2 19:30 ~ 21:30 小児脳性麻痺のボツリヌス治療 (薬事委員会主催) 座長: 根津敦夫 岩崎信明	
21:00			
22:00			

	第 4 会場 2F エンブレスホール	第 5 会場 2F リージェントホール	第 6 会場 2F ハイネスホール	第 7 会場 20F パールホール AB
8:00				
9:00				
10:00	English Session : D 9:10 ~ 10:10 (E-019 ~ E-024) 座長: Toshimasa Obonai Masumi Inagaki	English Session : E 9:10 ~ 10:10 (E-025 ~ E-030) 座長: Nobuyuki Shimozawa Hiroko Kodama	English Session : F 9:10 ~ 10:10 (E-031 ~ E-036) 座長: Jun-ichi Takanashi Hitoshi Osaka	English Session : G 9:10 ~ 10:10 (E-037 ~ E-042) 座長: Takeo Kubota Mitsuhiro Kato
11:00	発達 10:10 ~ 11:10 (O-013 ~ O-018) 座長: 荒木章子 山下裕史朗	急性脳症 1 10:10 ~ 11:20 (O-019 ~ O-025) 座長: 夏目 淳 高橋 悟	画像 10:10 ~ 11:00 (O-038 ~ O-042) 座長: 小倉加恵子 荒井 洋	新生児 10:10 ~ 11:10 (O-054 ~ O-059) 座長: 久保田哲夫 星 詳子
12:00	ランチョンセミナー 2 11:40 ~ 12:40 Advances in the Management of Refractory Epilepsy in Children 講演: Angus A. Wilfong 座長: 三國信啓	ランチョンセミナー 3 11:40 ~ 12:40 小児難治性てんかんの治療戦略 講演: 小国弘量 座長: 大塚頌子	ランチョンセミナー 4 11:40 ~ 12:40 The drug treatment strategy for intractable epilepsy in children 講演: Salvatore Grosso 座長: 高橋孝雄	ランチョンセミナー 5 11:40 ~ 12:40 抗てんかん薬と妊娠: 児の発達を中心に 講演: 山磨康子 座長: 小林勝弘
13:00				
14:00				
15:00	シンポジウム 1 14:40 ~ 16:40 小児てんかん外科 一早期手術患者の発見と利点 座長: 大坪 宏 中里信和 コメンテーター: 亀山茂樹 飯田幸治	発達障害 1 14:40 ~ 15:40 (O-026 ~ O-031) 座長: 石崎朝世 高田 哲	筋疾患 1 14:40 ~ 15:40 (O-043 ~ O-048) 座長: 石川幸辰 小篠史郎	自律神経・末梢神経・頭痛 14:40 ~ 15:40 (O-060 ~ O-065) 座長: 今井富裕 安藤直樹
16:00		発達障害 2 15:40 ~ 16:40 (O-032 ~ O-037) 座長: 才野 均 森 健治	筋疾患 2 15:40 ~ 16:30 (O-049 ~ O-053) 座長: 館 延忠 小牧宏文	代謝変性疾患 1 15:40 ~ 16:40 (O-066 ~ O-071) 座長: 児玉浩子 長尾雅悦
17:00				
18:00	ポスター口演: 代謝変性疾患/形態、 病理/不随意運動、基底核 17:00 ~ 18:40 (P-099 ~ P-132) 座長: 水上 晋 大越優美	ポスター口演: 奇形、染色体異常/遺伝/腫瘍 17:00 ~ 18:40 (P-133 ~ P-165) 座長: 佐竹 明 高野亭子	ポスター口演: 感染、免疫(急性脳炎・ 脳症を除く)/新生児 17:00 ~ 18:40 (P-166 ~ P-195) 座長: 小林徳雄 福村 忍	
19:00	Poster on site 18:50 ~ 19:30			
20:00			第 6 回子どもの眠り研究会 19:30 ~ 21:30	
21:00				
22:00				

	第 1 会場 3F ロイトンホール A	第 2 会場 3F ロイトンホール BC	第 3 会場 3F ロイトンホール D
8:00	モーニング教育セミナー 1 8:00 ~ 9:00 共同研究支援委員会支援研究報告 (共同研究支援委員会主催) 座長: 佐々木征行 杉江秀夫		【テーマ企画③】連続講演 8:00 ~ 9:00 慢性頭痛診療ガイドライン: 小児の頭痛(案) 座長: 藤田光江 安藤直樹
9:00	教育講演 3 9:00 ~ 10:00 グルタミン酸シグナル伝達と神経可塑性 講演: 渡辺雅彦 座長: 伏木信次	教育講演 4 9:00 ~ 10:00 自閉症とオキシトシン, CD38 の関連について 講演: 東田陽博 座長: 榊原洋一	てんかん 2 9:00 ~ 10:00 (O-078 ~ O-083) 座長: 田中正樹 鳥邊泰久
10:00			
11:00	ポスター口演: てんかん, けいれん 2 10:10 ~ 11:25 (P-196 ~ P-217) 座長: 高山留美子 最上友紀子	ポスター口演: 急性脳炎・脳症/発達障害の療育・支援 10:10 ~ 11:25 (P-218 ~ P-241) 座長: 大屋一博 大柳玲嬢	ポスター口演: 脳性麻痺・療育 10:10 ~ 11:25 (P-242 ~ P-264) 座長: 伊藤希美 末田慶太郎
12:00	Poster on site 11:30 ~ 12:10		
13:00	ランチョンセミナー 6 12:20 ~ 13:20 ボンベ病の診断と治療 講演: 大澤真木子 座長: 埜中征哉	ランチョンセミナー 7 12:20 ~ 13:20 ADHD 臨床における発達障害としての トラウマ関連障害 講演: 友田明美 座長: 作田亮一	ランチョンセミナー 8 12:20 ~ 13:20 最新の脳科学で探る ADHD の薬物療法 講演: 林 隆 座長: 石崎朝世
14:00	会員総会 13:20 ~ 14:20		
	優秀論文賞授賞式・受賞者ミニ講演 座長: 伏木信次 14:20 ~ 14:50		
15:00	招待講演 (瀬川プログラム) 14:50 ~ 15:50 AAV-mediated gene therapy for lysosomal storage diseases with neurological features 講演: Miguel Sena-Estevés 座長: 杉江秀夫	てんかん 3 14:50 ~ 15:50 (O-072 ~ O-077) 座長: 森川建基 植竹公明	B & D セミナー 14:50 ~ 16:50 英語で論文を書こう! パート 2 (B & D 編集委員会主催) 座長: 加我牧子 高橋孝雄
16:00	シンポジウム 2 15:50 ~ 17:50 神経障害をきたす先天性代謝異常症 —診断・治療の Update 座長: 児玉浩子 新宅治夫	【テーマ企画④】基調講演 15:50 ~ 16:50 Clinical spectrum and cellular mechanisms of autoimmunity to NMDA and other synaptic receptors 講演: Josep Dalmau 座長: 水口 雅	
17:00		【テーマ企画④】シンポジウム 16:50 ~ 17:50 自己免疫性脳炎の診断と治療 座長: 林 雅晴 水口 雅	ワークショップ 1 16:50 ~ 18:50 東日本大震災に学ぶ —小児神経科医に求められること (東日本大震災支援委員会主催) 座長: 永井利三郎 萩野谷和裕
18:00	教育講演 7 17:50 ~ 18:50 先進ゲノミクスの疾患研究における展開 講演: 小原 収 座長: 大野耕策	教育講演 8 17:50 ~ 18:50 てんかん発作症状 講演: 重松秀夫 座長: 泉 達郎	
19:00	全体 Poster on site 19:00 ~ 19:40		
20:00	会員懇親会		
21:00	第 1, 2 会場 (ロイトン札幌 3F ロイトンホール ABC) 19:50 ~ 21:20		
22:00			

	第 4 会場 2F エンブレスホール	第 5 会場 2F リージェントホール	第 6 会場 2F ハイネスホール	第 7 会場 20F パールホール AB
8:00			モーニングセミナー 8:00 ~ 9:00 小児科臨床における 低カルニチン血症 講演: 伊藤哲哉 座長: 小国弘量	
9:00	脳性麻痺・療育 1 9:00 ~ 10:00 (O-084 ~ O-089) 座長: 續 晶子 小沢 浩	急性脳症 2 9:00 ~ 10:00 (O-102 ~ O-107) 座長: 山内秀雄 加藤 徹	病理・血管障害 9:00 ~ 10:00 (O-132 ~ O-137) 座長: 寶金清博 林 雅晴	代謝変性疾患 2 9:00 ~ 10:00 (O-162 ~ O-167) 座長: 後藤雄一 杉江秀夫
10:00				
11:00	ポスター口演: 筋/精神障害, 行動異常/その他 10:10 ~ 11:25 (P-265 ~ P-289) 座長: 坂井多恵子 朝比奈直子	ポスター口演: 発達障害検査/血管障害 10:10 ~ 11:25 (P-290 ~ P-314) 座長: 柳生一自 高橋有美	ポスター口演: 学習障害/自律神経, 頭痛/電気生理/画像/末梢神経 10:10 ~ 11:25 (P-315 ~ P-339) 座長: 永島哲郎 植田佑樹	
12:00	Poster on site 11:30 ~ 12:10			
13:00	ランチョンセミナー 9 12:20 ~ 13:20 小児のけいれん重積の治療の現状 講演: 須貝研司 座長: 松坂哲應	ランチョンセミナー 10 12:20 ~ 13:20 重度筋緊張亢進患者に対する最新治療 講演: 久保田雅也, 師田信人 座長: 佐々木秀直	ランチョンセミナー 11 12:20 ~ 13:20 小児てんかんの薬物治療 —新規抗てんかん薬の使い方— 講演: 重松秀夫 座長: 藤原建樹	ランチョンセミナー 12 12:20 ~ 13:20 胃瘻(PEG)の最新の 考え方とデバイス 講演: 草間龍一 座長: 吉野浩之
14:00				
15:00	脳性麻痺・療育 2 14:50 ~ 15:50 (O-090 ~ O-095) 座長: 宮本晶恵 米山 明	急性脳症 3 14:50 ~ 15:50 (O-108 ~ O-113) 座長: 佐久間啓 須藤 章	感染・免疫 1 14:50 ~ 15:50 (O-138 ~ O-143) 座長: 鳥巢浩幸 岡 明	不随意運動・基底核疾患 14:50 ~ 15:40 (O-168 ~ O-172) 座長: 瀬川昌也 佐々木秀直
16:00	教育講演 5 15:50 ~ 16:50 小児科医からみた画像診断装置の可能性 —高磁場 MRI を中心に— 講演: 鈴木雄治 座長: 遠山 潤	てんかん 4 15:50 ~ 16:50 (O-114 ~ O-119) 座長: 吉永治美 日暮憲道	発達障害 3 15:50 ~ 16:50 (O-144 ~ O-149) 座長: 長 和彦 宮島 祐	奇形・染色体 1 15:40 ~ 16:40 (O-173 ~ O-178) 座長: 黒澤健司 蒔田芳男
17:00	教育講演 6 16:50 ~ 17:50 代謝性筋疾患 講演: 西野一三 座長: 埜中征哉	てんかん 5 16:50 ~ 17:50 (O-120 ~ O-125) 座長: 皆川公夫 福島克之	脳性麻痺・療育 3 16:50 ~ 17:50 (O-150 ~ O-155) 座長: 平元 東 栗原まな	奇形・染色体 2 16:40 ~ 17:40 (O-179 ~ O-184) 座長: 久保田雅也 岡本伸彦
18:00	急性脳症 4 17:50 ~ 18:50 (O-096 ~ O-101) 座長: 市山高志 浜野晋一郎	学習障害 1 17:50 ~ 18:50 (O-126 ~ O-131) 座長: 若宮英司 豊巻敦人	感染・免疫 2 中毒 17:50 ~ 18:50 (O-156 ~ O-161) 座長: 小坂 仁 吉良龍太郎	発達障害 4 17:40 ~ 18:50 (O-185 ~ O-191) 座長: 小枝達也 須見よし乃
19:00	全体 Poster on site 19:00 ~ 19:40			
20:00				
21:00				
22:00				

	第 1 会場 3F ロイトンホール A	第 2 会場 3F ロイトンホール BC	第 3 会場 3F ロイトンホール D
8:00	モーニング教育セミナー 2 8:00 ~ 9:00 エキスパートオピニオン —小児自閉性障害に対する薬物療法 (共同研究支援委員会主催) 座長: 山形崇倫 杉江秀夫		
9:00	教育講演 9 9:00 ~ 10:00 経腸栄養剤および 特殊ミルク使用でのピットホール 講演: 児玉浩子 座長: 清水教一	教育講演 10 9:00 ~ 10:00 ゲノム異常により起こる小児神経疾患 講演: 齋藤伸治 座長: 黒澤健司	第 4 回小児免疫性脳炎研究会 8:00 ~ 10:00
10:00			
11:00	【テーマ企画⑤】連続講演 10:00 ~ 12:10 小児神経学とヒューマンテクノロジーの融合 講演: 山海嘉之 川人光男 井野秀一 座長: 長峯 隆 竹内文也	シンポジウム 3 10:00 ~ 12:00 先天性大脳白質形成不全症 —疾患概念の確立から, 病態解析・治療的展望まで— 座長: 小坂 仁 井上 健	シンポジウム 4 10:00 ~ 12:00 発達障害の最前線 —病態から社会まで 座長: 久保田健夫 山下裕史朗
12:00	閉会式 12:10 ~ 12:20		
13:00			
14:00	市民公開講座: 現在の子育てを考える 13:30 ~ 16:30 基調講演「動物の子育て」 小菅正夫 1) 途上国の子育て 橋戸健次郎 2) 子育てと早起き 神山 潤 3) 食育と子育て 塩田彦隆 座長: 有賀 正 齋藤伸治		
15:00			
16:00			
17:00			

	第 4 会場 2F エンブレスホール	第 5 会場 2F リージェントホール	第 6 会場 2F ハイネスホール	第 7 会場 20F パールホール AB
8:00				
9:00				
9:00	<p>てんかん 6 9:00 ~ 10:00 (O-192 ~ O-197) 座長: 沖 潤一 亀井 淳</p>	<p>発達障害 5 9:00 ~ 10:10 (O-198 ~ O-204) 座長: 氏家 武 横山浩之</p>	<p>学習障害 2 9:00 ~ 10:10 (O-217 ~ O-223) 座長: 稲垣真澄 中井昭夫</p>	<p>電気生理・遺伝 1 9:00 ~ 10:00 (O-236 ~ O-241) 座長: 山本俊至 難波栄二</p>
10:00	<p>ワークショップ 2 10:00 ~ 12:00 小児神経医療における 心理士の在り方 (長期計画委員会主催) 座長: 小西行郎 作田亮一</p>			<p>腫瘍・脳神経外科 10:00 ~ 10:50 (O-242 ~ O-246) 座長: 高橋義男 高橋章夫</p>
11:00		<p>急性脳症 5 10:10 ~ 11:10 (O-205 ~ O-210) 座長: 高橋幸利 前垣義弘</p>	<p>てんかん 7 10:10 ~ 11:10 (O-224 ~ O-229) 座長: 若井周治 藤本礼尚</p>	<p>遺伝 2 10:50 ~ 12:00 (O-247 ~ O-253) 座長: 梶井直文 山形崇倫</p>
12:00		<p>急性脳症 6 11:10 ~ 12:10 (O-211 ~ O-216) 座長: 田中 肇 和田敬仁</p>	<p>てんかん 8 11:10 ~ 12:10 (O-230 ~ O-235) 座長: 久保田英幹 二階堂弘輝</p>	
13:00				
14:00	<p>第 7 回 小児重症筋無力症研究会 13:00 ~ 17:00</p>		<p>公開セミナー 13:00 ~ 15:00 産科医療補償制度について (産科医療補償制度検討委員会 日本医療機能評価機構共催) 座長: 須貝研司 麻生幸三郎</p>	
15:00				
16:00				
17:00				



特別演題日程

S27 ~ S36

プログラム

S37 ~ S98

会長講演

- 5月17日(木) 8:40~9:10 第1会場
 座長 福山幸夫(東京女子医科大学名誉教授)
 小児神経疾患に対する新しい治療: 第54回日本小児神経学会総会からのオーバービュー
 有賀 正(北海道大学大学院小児科学)

特別講演

- 5月17日(木) 12:40~13:20 第1, 2会場
 座長 松本脩三(北海道大学名誉教授)
 ノーベル化学賞を受賞して
 鈴木 章(北海道大学名誉教授)

招待講演(瀬川プログラム)

- 5月18日(金) 14:50~15:50 第1会場
 座長 杉江秀夫(自治医科大学小児科)
 AAV-mediated gene therapy for lysosomal storage diseases with neurological features
 Miguel Sena-Esteves (Department of Neurology and Gene Therapy Center, University of Massachusetts Medical School, Worcester, MA, USA)

鴨下重彦先生を偲んで

- 5月17日(木) 13:20~13:40 第1, 2会場

日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・受賞者ミニ講演

- 5月18日(金) 14:20~14:50 第1会場
 座長 伏木信次(京都府立医科大学大学院分子病態病理学)

【テーマ企画①】小児神経学における再生医療の可能性

基調講演: iPS細胞技術を用いた神経発達障害および神経変性疾患の病態解析と治療法の開発

- 5月17日(木) 13:40~14:40 第1, 2会場
 座長 高橋孝雄(慶應義塾大学小児科)
 岡野栄之(慶應義塾大学生理学)

【テーマ企画①】小児神経学における再生医療の可能性

シンポジウム: iPS細胞による再生医療は小児神経疾患の未来の治療となりうるか

- 5月17日(木) 14:40~16:40 第3会場
 座長 高橋幸利(国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)
 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)
 1) iPS細胞研究を応用した難治性脳形成障害症の分子病態解析と新規治療技術開発の可能性
 金村米博(国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター再生医療研究室, 同 脳神経外科)
 2) てんかんとiPS細胞
 廣瀬伸一(福岡大学小児科, 同 てんかん分子病態研究所)
 3) 筋ジストロフィーとiPS細胞—筋ジストロフィーの再生医療の実現化を目指して—
 鈴木友子, 武田伸一(国立精神・神経医療研究センター神経研究所)

【テーマ企画②】北海道企画

シンポジウム: 北海道から障がい児を支える地域医療を考える

- 5月17日(木) 15:10~16:40 第1会場
 座長 長 和彦(北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科)
 續 晶子(北海道立子ども総合医療・療育センター小児科)
 1) 北海道重症心身障害児(者)アンケートのまとめと全国との比較
 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)
 2) 北海道療育園が行っている重症児支援の現状
 平元 東(重症心身障害児(者)施設北海道療育園)
 3) 在宅人工換気療法の現状と将来
 石川悠加, 石川幸辰, 南 良二(国立病院機構八雲病院小児科)
 4) だれもが暮らしやすい地域を目指して—TEACCHプログラムに学ぶ地域ネットワーク—
 高橋和俊(おしま地域療育センター)
 5) ADHDの総合的対応—現状と課題を考える—
 荒木章子(旭川医科大学小児科)

- 6) 北海道における障がい児支援について
古川 勲 (北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課)

【テーマ企画②】北海道企画関連・指定発言

連続講演：障がい児の自立を目指して

5月17日(木) 10:10~11:10 第2会場

- 1) 自力では動けない障がい児の自立心や発達を支援する入力装置と移動補助器具
座長 長 和彦 (北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター)
松尾清美 (佐賀大学地域医療科学教育研究センター)
- 2) 運動障がいのこどもたちの脳 MRI と拡散テンソル画像一画像診断, 画像解析の視点から一
座長 神田豊子 (京都市民医連中央病院リハビリテーション科)
吉田昌子 (ジョーンズ・ホプキンス大学放射線科)

【テーマ企画③】慢性頭痛診療ガイドライン：小児の頭痛(案)

連続講演：慢性頭痛診療ガイドライン：小児の頭痛(案)

5月18日(金) 8:00~9:00 第3会場

- 座長 藤田光江 (筑波学園病院小児科, 東京クリニック小児・思春期頭痛外来)
安藤直樹 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)
- 藤田光江 (筑波学園病院小児科, 東京クリニック小児・思春期頭痛外来)
桑原健太郎 (日本医科大学小児科)
安藤直樹 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)

【テーマ企画④】自己免疫性脳炎 Up-to-Date

5月18日(金) 15:50~16:50 第2会場

基調講演：Clinical spectrum and cellular mechanisms of autoimmunity to NMDA and other synaptic receptors

- 座長 水口 雅 (東京大学大学院発達医科学)
Josep Dalmau (Institutió Catalana de Recerca i Estudis Avançats (ICREA) at Institut d'Investigació Biomèdica August Pi i Sunyer (IDIBAPS), Service of Neurology, Hospital Clínic, University of Barcelona, Barcelona, Spain and Department of Neurology, University of Pennsylvania, Philadelphia, USA)

【テーマ企画④】自己免疫性脳炎 Up-to-Date

シンポジウム：自己免疫性脳炎の診断と治療

5月18日(金) 16:50~17:50 第2会場

- 座長 林 雅晴 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生)
水口 雅 (東京大学大学院発達医科学)
- 1) グルタミン酸受容体抗体の意義
高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)
 - 2) Rasmussen 脳炎の臨牀一本邦での実態を中心に一
小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
 - 3) 難治頻回部分発作重積型急性脳炎
佐久間啓 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部)
 - 4) 抗 NMDA 受容体脳炎の臨牀像と病態
飯塚高浩 (北里大学神経内科学)

【テーマ企画⑤】小児神経学とヒューマンテクノロジーの融合

連続講演

5月19日(土) 10:00~12:10 第1会場

- 座長 長峯 隆 (札幌医科大学神経科学)
竹内文也 (北海道大学大学院保健科学研究院)
- 1) 小児神経とロボットスーツ
山海嘉之 (筑波大学大学院システム情報工学研究科)
 - 2) 解読した脳情報の実時間帰還法と小児神経
川人光男 ((株)国際電気通信基礎技術研究所脳情報通信総合研究所)
 - 3) 感覚と運動を支援する QOL テクノロジーの横断的展開の試み
井野秀一 (産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門)

教育講演 1

5月17日(木) 10:10~11:10 第1会場
 座長 神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)
 生物時計の発達と睡眠覚醒リズム: 時間生物学の小児科学への応用
 本間さと (北海道大学大学院時間医学)

教育講演 2

5月17日(木) 15:50~16:50 第2会場
 座長 呉 繁夫 (東北大学大学院小児病態学)
 小児もやもや病—研究の軌跡と今後の展望—
 寶金清博 (北海道大学大学院脳神経外科学)

教育講演 3

5月18日(金) 9:00~10:00 第1会場
 座長 伏木信次 (京都府立医科大学大学院分子病態病理学)
 グルタミン酸シグナル伝達と神経可塑性
 渡辺雅彦 (北海道大学大学院解剖学)

教育講演 4

5月18日(金) 9:00~10:00 第2会場
 座長 榊原洋一 (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科)
 自閉症とオキシトシン, CD38 の関連について
 東田陽博 (金沢大学子どものこころの発達研究センター)

教育講演 5

5月18日(金) 15:50~16:50 第4会場
 座長 遠山 潤 (国立病院機構西新潟中央病院神経小児科)
 小児科医からみた画像診断装置の可能性—高磁場 MRI を中心に
 鈴木雄治 (新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター, 国立病院機構新潟病院)

教育講演 6

5月18日(金) 16:50~17:50 第4会場
 座長 埜中征哉 (国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長)
 代謝性筋疾患
 西野一三 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研1部)

教育講演 7

5月18日(金) 17:50~18:50 第1会場
 座長 大野耕策 (鳥取大学附属病院脳神経小児科)
 先進ゲノミクスの疾患研究における展開
 小原 収 (かずさDNA研究所ヒトゲノム研究部, 理研横浜研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター免疫ゲノミクス研究グループ)

教育講演 8

5月18日(金) 17:50~18:50 第2会場
 座長 泉 達郎 (大分大学小児科)
 てんかん発作症状
 重松秀夫 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)

教育講演 9

5月19日(土) 9:00~10:00 第1会場
 座長 清水教一 (東邦大学医療センター大橋病院小児科)
 経腸栄養剤および特殊ミルク使用でのピットホール
 児玉浩子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科)

教育講演 10

- 5月19日(土) 9:00~10:00 第2会場
 座長 黒澤健司(神奈川県立こども医療センター遺伝科)
 ゲノム異常により起こる小児神経疾患
 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)

シンポジウム 1: 小児てんかん外科—早期手術患者の発見と利点

- 5月17日(木) 14:40~16:40 第4会場
 座長 大坪 宏(トロント小児病院神経科)
 中里信和(東北大学大学院てんかん学)
 コメンテーター 亀山茂樹(国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科)
 飯田幸治(広島大学病院脳神経外科)
- 1) 小児難治てんかんに対する脳梁離断術: 長期発作寛解例の特徴
 岩崎真樹¹, 植松 貢², 佐藤優子², 中山東城², 小林朋子², 福與なおみ², 萩野谷和裕³, 神 一敬⁴, 大沢伸一郎¹, 板橋 尚⁴, 中里信和⁴, 富永悌二¹
 (東北大学大学院神経外科学¹, 同 小児病態学², 宮城県拓桃医療療育センター小児科³, 東北大学大学院てんかん学⁴)
 - 2) 小児てんかん外科—早期手術患者の発見と利点—発達の観点から—
 木村暢佑, 高橋幸利, 重松秀夫, 今井克美, 馬場好一, 松田一己, 井上有史
 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
 - 3) 大脳皮質形成障害を伴う乳児難治性てんかんの外科治療
 高橋章夫¹, 大槻泰介¹, 本田涼子², 中川栄二², 須貝研司², 佐々木征行²
 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科¹, 同 小児神経科²)
 - 4) 小児の積極的早期てんかん外科治療: 小児神経科医は何を見て考えて行動すべきか?
 秋山倫之(岡山大学病院小児神経科)
 - 5) 小児てんかん外科治療のチーム医療: 脳外科からみた小児神経科医の役割
 三國信啓(札幌医科大学脳神経外科)

シンポジウム 2: 神経障害をきたす先天性代謝異常症—診断・治療の Update

- 5月18日(金) 15:50~17:50 第1会場
 座長 児玉浩子(帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科)
 新宅治夫(大阪市立大学大学院発達小児医学)
- 1) 高フェニルアラニン血症
 新宅治夫(大阪市立大学大学院発達小児医学)
 - 2) ムコ多糖症の診断と治療の進歩
 奥山虎之(国立成育医療研究センターライソゾーム病センター)
 - 3) Wilson 病, Menkes 病治療の最近の進歩
 児玉浩子(帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科)
 - 4) 副腎白質ジストロフィー
 下澤伸行(岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究)

シンポジウム 3: 先天性大脳白質形成不全症—疾患概念の確立から, 病態解析・治療的展望まで—

- 5月19日(土) 10:00~12:00 第2会場
 座長 小坂 仁(神奈川県立こども医療センター神経内科)
 井上 健(国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研2部)
- 1) 先天性大脳白質形成不全症: ゲノム解析から診断, 治療への取り組み
 井上 健¹, 岩城明子², 黒澤健司³, 高梨潤一⁴, 出口貴美子¹, 山本俊至⁵, 小坂 仁⁶
 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研2部¹, 九州大学生体防御医学研究所², 神奈川県立こども医療センター遺伝科³, 亀田メディカルセンター小児科⁴, 東京女子医科大学統合医科学研究所⁵, 神奈川県立こども医療センター神経内科⁶)
 - 2) 先天性大脳白質形成不全症の臨床症状と分子病態
 小坂 仁¹, 井上 健², 才津浩智³
 (神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研2部², 横浜市立大学遺伝学³)
 - 3) MRI, MR spectroscopy による先天性大脳白質形成不全症の診断, 病態解明
 高梨潤一(亀田メディカルセンター小児科)
 - 4) 疾患患者由来 iPSC 細胞の樹立と病態解析: 中枢神経障害への応用
 下島圭子^{1,2}, 山本俊至²(科学技術振興機構さきがけ¹, 東京女子医科大学統合医科学研究所²)

シンポジウム 4：発達障害の最前線—病態から社会まで

5月19日（土）10:00～12:00 第3会場

座長 久保田健夫（山梨大学大学院環境遺伝医学）
山下裕史朗（久留米大学小児科）

- 1) わが国の発達障害の社会的動向
石崎朝世（公益社団法人発達協会王子クリニック）
- 2) 発達障害につながる胎生期環境
福岡秀興（早稲田大学総合研究機構）
- 3) 動物モデルからみた発達障害の発症病態—環境ストレスと脳機能—
平澤孝枝¹，石田哲史¹，田原佑里子¹，遠藤 彰¹，小泉修一²，三宅邦夫¹，久保田健夫¹
（山梨大学大学院環境遺伝医学¹，同 薬理学²）
- 4) 発達障害の子どもたちを巡る学校と医療機関のコミュニケーション
小枝達也（鳥取大学地域学部地域教育学科，国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部）
- 5) 脳画像と脳機能に基づく発達障害の客観診断—社会性の障害に着目して—
加藤進昌（昭和大学附属烏山病院）
- 6) ADHD に対する薬物や行動療法を用いた最新の治療
山下裕史朗（久留米大学小児科）

ワークショップ 1：東日本大震災に学ぶ—小児神経科医に求められること（東日本大震災支援委員会主催）

5月18日（金）16:50～18:50 第3会場

座長 永井利三郎（大阪大学大学院保健学専攻）
萩野谷和裕（宮城県拓桃医療療育センター小児科）

はじめに

飯沼一字（石巻赤十字病院）

- 1) 重症心身障害児への対応：ネットワークで支える災害への備え
田中総一郎^{1,2}，萩野谷和裕²，涌澤圭介²，小林 悟²
（宮城県拓桃医療療育センター地域・家族支援部¹，同 小児科²）
- 2) メールを使った医療相談活動
椎原 隆（群馬県立小児医療センター神経内科）
- 3) 東日本大震災後の子どものこころの反応
吉田弘和（宮城県子ども総合センター）
- 4) 福島原発事故後の診療状況について
森田浩之（福島県総合療育センター）
- 5) 被災地におけるメンタルケアとストレスマネジメント
—被災地の真ん中で見えてきた子どもたちの姿と支援者の果たす役割について—
佐藤秀明（ここねっと発達支援センター 東日本大震災緊急子どもサポートチーム）

ワークショップ 2：小児神経医療における心理士の在り方（長期計画委員会主催）

5月19日（土）10:00～12:00 第4会場

座長 小西行郎（同志社大学大学院心理学研究科）
作田亮一（獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター）

- 1) 小児神経学会会員へのアンケート調査結果報告
作田亮一（獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター）
- 2) 小児神経医療における心理士に必要な医学的知識
杉田克生（千葉大学教育学部基礎医科学）
- 3) 診療報酬を検討する立場から
田角 勝（昭和大学小児科）
- 4) 医療の中での心理資格認定
小西行郎（同志社大学大学院心理学研究科）
- 5) 心理士に必要な発達障害の評価・相談
小野次朗（和歌山大学教育学部特別支援教育学）

公開セミナー：産科医療補償制度について（産科医療補償制度検討委員会・日本医療機能評価機構共催）

5月19日（土）13:00～15:00 第6会場

座長 須貝研司（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

麻生幸三郎（愛知県青い鳥医療福祉センター小児科）

- 1) 運営組織からみた現状，問題点への対応および制度の見直し
上田 茂（（公財）日本医療機能評価機構理事・産科医療補償制度事業管理者）
- 2) 診断書作成医からみた現状，問題点と要望 1
須藤 章（市立札幌病院小児科）
- 3) 診断書作成医からみた現状，問題点と要望 2
久保田哲夫（安城更生病院小児科）
- 4) 補償審査委員からみた現状，問題点と助言
岡 明（杏林大学小児科）
- 5) 産科医からみた産科医療補償制度の意義
水上尚典（北海道大学大学院産科・生殖医学，産科医療補償制度原因分析委員会委員）

モーニング教育セミナー 1：共同研究支援委員会支援研究報告（共同研究支援委員会主催）

5月18日（金）8:00～9:00 第1会場

座長 佐々木征行（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

杉江秀夫（自治医科大学小児科）

- 1) 14 番染色体母親性ダイソミー関連疾患の実態把握と診断・治療指針作成
齋藤伸治（名古屋市立大学大学院新生児・小児医学）
- 2) 先天性副腎皮質過形成に合併する小児急性脳症に関する研究
山内秀雄¹，阿部裕一¹，酒井哲郎¹，水口 雅²
（埼玉医科大学小児科¹，東京大学大学院発達医科学²）
- 3) 小児フェール病（特発性両側性大脳基底核・小脳歯状核石灰化症）の分子病態の解明
保住 功¹，下澤伸行²，柴田敏之³，犬塚 貴⁴
（岐阜薬科大学薬物治療学¹，岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究²，同 口腔外科³，同 神経内科⁴）

モーニング教育セミナー 2：エキスパートオピニオン—小児自閉性障害に対する薬物療法（共同研究支援委員会主催）

5月19日（土）8:00～9:00 第1会場

座長 山形崇倫（自治医科大学小児科）

杉江秀夫（自治医科大学小児科）

- 1) 小児自閉性障害に対する薬物療法のアンケート調査
中川栄二（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）
- 2) 自閉性障害の pharmacotherapy 私の処方—児童精神医学の立場から
黒川新二（市立札幌病院静療院児童心療センター）
- 3) 私の処方：小児神経の立場から
宮本信也（筑波大学大学院人間総合科学研究科）

B & D セミナー：英語で論文を書こう！ パート 2（B & D 編集委員会主催）

5月18日（金）14:50～16:50 第3会場

座長 加我牧子（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

高橋孝雄（慶應義塾大学小児科）

- 1) 英語論文作成のポイント
林 雅晴（東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究）
- 2) 英語での学会口演の極意
廣瀬伸一（福岡大学小児科）
- 3) 何故，英語の論文を書くのか？ 何のために？ 誰のために？ 何故，日本語の論文ではだめなのか？
大坪 宏（トロント小児病院神経科）

夜間集会 1：医療的ケアの介護職等法制化以後の課題（社会活動委員会主催）

5月17日（木）19:30～21:30 第1会場

座長 三浦清邦（名古屋大学大学院障害児（者）医療学寄附講座）

江川文誠（重症心身障害児施設ソレイユ川崎）

- 1) 介護職員等によるたんの吸引等の実施のための制度概要
高木憲司（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課専門官）
- 2) 医療的ケア制度化を控えての障害者施設での対応—神奈川—
江川文誠（重症心身障害児施設ソレイユ川崎）

- 3) 北海道での現状と課題
平元 東 (重症心身障害児 (者) 施設北海道療育園)
- 4) 東京都の学校における状況などからの課題
北住映二 (心身障害児総合医療療育センター)
- 5) 神奈川方式を用いた養護学校における医療的ケアの問題点と今後の展望
—大学病院勤務医兼養護学校担当医の立場から—
宮本雄策^{1,2}, 山本 仁¹ (聖マリアンナ医科大学小児科¹, 川崎市立多摩病院小児科²)

夜間集会 2 : 小児脳性麻痺のボツリヌス治療 (薬事委員会主催)

5月17日 (木) 19:30~21:30 第2会場

座長 根津敦夫 (横浜療育医療センター神経小児科)
岩崎信明 (茨城県立医療大学附属病院小児科)

- 1) 四肢麻痺障害児者への外来におけるボツリヌス治療
石井光子 (千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科)
- 2) 痙性斜頸に対する A 型ボツリヌス毒素治療経過中に重篤な呼吸障害を来した成人脳性麻痺 2 例の検討
曾根 翠, 荒木克仁, 浜口 弘, 武田佳子, 江添隆範, 西條晴美, 平山恒憲, 岡田真由美, 鈴木文晴,
倉田清子 (東京都立東大和療育センター)
- 3) 小児の痙性四肢麻痺に対する A 型ボツリヌス毒素による治療経験
岩崎信明¹, 中山純子¹, 清水如代², 井原 哲³, 西上奈緒子¹, 絹笠英世¹, 稲田恵美¹, 新 健治¹,
佐藤秀郎¹ (茨城県立医療大学附属病院小児科¹, 同 整形外科², 筑波大学脳神経外科³)
- 4) 小児へのボツリヌス治療における国内エキスパートオピニオン
根津敦夫 (横浜療育医療センター神経小児科)

モーニングセミナー : 大塚製薬株式会社

5月18日 (金) 8:00~9:00 第6会場

座長 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
小児科臨床における低カルニチン血症
伊藤哲哉 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)

ランチョンセミナー 1 : グラクソ・スミスクライン株式会社

5月17日 (木) 11:40~12:40 第3会場

座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)
小児けいれんのマネジメント
新島新一 (順天堂大学附属練馬病院小児科)

ランチョンセミナー 2 : 日本光電工業株式会社

5月17日 (木) 11:40~12:40 第4会場

座長 三國信啓 (札幌医科大学脳神経外科)
Advances in the management of refractory epilepsy in children—a focus on neuromodulation with VNS therapy
Angus A. Wilfong (Pediatrics and Neurology Baylor College of Medicine, Houston, Texas, USA)

ランチョンセミナー 3 : 協和発酵キリン株式会社

5月17日 (木) 11:40~12:40 第5会場

座長 大塚頌子 (旭川荘療育・医療センター)
小児難治性てんかんの治療戦略
小国弘量 (東京女子医科大学小児科)

ランチョンセミナー 4 : 大塚製薬株式会社 / ユーシービージャパン株式会社

5月17日 (木) 11:40~12:40 第6会場

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学小児科)
The drug treatment strategy for intractable epilepsy in children
—How to manage adverse side effects associated with newer AEDs in children?—
Salvatore Grosso (Department of Pediatrics, Pediatric Neurology and Neuroendocrinology Unit, University of
Siena, Italy)

ランチョンセミナー 5：大日本住友製薬株式会社

5月17日（木）11:40～12:40 第7会場
座長 小林勝弘（岡山大学病院小児神経科）
抗てんかん薬と妊娠：児の発達を中心に
山磨康子（岡山県立大学名誉教授）

ランチョンセミナー 6：ジェンザイム・ジャパン株式会社

5月18日（金）12:20～13:20 第1会場
座長 埜中征哉（国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長）
ポンペ病の診断と治療
大澤真木子（東京女子医科大学小児科）

ランチョンセミナー 7：ヤンセンファーマ株式会社

5月18日（金）12:20～13:20 第2会場
座長 作田亮一（獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター）
ADHD 臨床における発達障害としてのトラウマ関連障害
友田明美（福井大学子どものこころの発達研究センター）

ランチョンセミナー 8：日本イーライリリー株式会社

5月18日（金）12:20～13:20 第3会場
座長 石崎朝世（公益社団法人発達協会王子クリニック）
最新の脳科学で探る ADHD の薬物療法—Default mode network と functional connectivity—
林 隆（山口県立大学大学院健康福祉学研究所）

ランチョンセミナー 9：エーザイ株式会社／ノーベルファーマ株式会社

5月18日（金）12:20～13:20 第4会場
座長 松坂哲應（長崎県立こども医療福祉センター）
小児のけいれん重積の治療の現状
須貝研司（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

ランチョンセミナー 10：第一三共株式会社

5月18日（金）12:20～13:20 第5会場
座長 佐々木秀直（北海道大学大学院神経内科学）
重度筋緊張亢進患者に対する最新治療
1) 病態に基づく治療法選択
久保田雅也（国立成育医療研究センター神経内科）
2) 外科治療の実際
師田信人（国立成育医療研究センター脳神経外科）

ランチョンセミナー 11：ファイザー株式会社

5月18日（金）12:20～13:20 第6会場
座長 藤原建樹（郡山女子大学家政学部）
小児てんかんの薬物治療—新規抗てんかん薬の使い方—
重松秀夫（国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科）

ランチョンセミナー 12：HOYA 株式会社 PENTAX／富士システムズ株式会社

5月18日（金）12:20～13:20 第7会場
座長 吉野浩之（群馬大学教育学部障害児教育学）
胃瘻（PEG）の最新の考え方とデバイス
草間龍一（あしかがの森足利病院小児科）

実践教育セミナー I

5月16日（水）12:30～15:30 第3会場
小児科医のための神経画像 2012
座長 高梨潤一（亀田メディカルセンター小児科）
1) 中枢神経の正常発生と先天奇形
丹羽 徹（神奈川県立こども医療センター放射線科）
2) 発達をふまえた正常画像とその読み方
森 壘（東京大学大学院放射線診断学）

- 3) 感染症の画像診断
高梨潤一 (亀田メディカルセンター小児科)
- 4) 先天代謝異常症の画像診断
大場 洋 (帝京大学放射線科)
- 5) 画像所見と脳病理
林 雅晴 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生)
- 6) Interesting images 2012

実践教育セミナー II

5月16日(水) 15:40~18:40 第6会場

新生児脳波判読セミナー

座長 奥村彰久 (順天堂大学小児科)
加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)

- 1) 正期産児の脳波・aEEG：正常と異常
久保田哲夫 (安城更生病院小児科)
- 2) 早産児の脳波・aEEG：正常と異常
加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)
- 3) 新生児発作の脳波・aEEG：発作時変化
奥村彰久 (順天堂大学小児科)

市民公開講座：現在の子育てを考える

5月19日(土) 13:30~16:30 第1, 2会場

座長 有賀 正 (北海道大学大学院小児科学)
齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)

基調講演：動物の子育て

小菅正夫 (元旭山動物園園長)

- 1) 途上国の子育て
楢戸健次郎 (ネパール在住家庭医)
- 2) 子育てと早起き
神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)
- 3) 食育と子育て
塩田彦隆 (NPO 法人オーガニックサポート)

第6回子どもの眠り研究会

5月17日(木) 19:30~21:30 第6会場

座長 星野恭子 (国立病院機構南和歌山医療センター小児科)
安積陽子 (北海道大学大学院保健科学研究院)

- 1) 夜中に叫ぶことを主訴に受診した13歳女児例
加藤久美, 齋藤友嘉里, 笹生明也乃, 高嶋亜紀代, 八木朝子 (太田睡眠科学センター)
- 2) FRD改善過程に精神症状を呈した1男児例
星野恭子 (国立病院機構南和歌山医療センター小児科)
- 3) 不規則型概日リズム睡眠異常症を呈した不注意優勢型注意欠如多動性障害の3例
松澤重行, 尾張慶子, 田島世貴, 高井一美, 三池輝久
(兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター小児科)
- 4) 広汎性発達障害児と定型発達児における日中活動量と夜間睡眠指標の比較
辰巳友佳子¹, 毛利育子², 清水佐知子¹, 大野ゆう子¹, 谷池雅子²
(大阪大学大学院保健学専攻¹, 同 子どものこころの分子統御機構研究センター²)
- 5) 肋間筋電図に基づいたアデノイド・口蓋扁桃摘出術前後の呼吸努力の比較
高橋あゆみ¹, 寺岡佐也子¹, 麦居聡美¹, 岡崎亜佐子¹, 朝日佳代子¹, 木村志保子², 毛利育子³,
大木 昇⁴, 加藤久美³, 谷池雅子³
(大阪大学附属病院医療技術部検査部門¹, 同 大学院小児科², 同 大学院連合小児発達学研究所³,
(有) のるぷろライトシステムズ⁴)
- 6) 小児睡眠中の皮膚電位反応計測
大木 昇 ((有) のるぷろライトシステムズ)
- 7) ルーティン脳波での non-REM atonia 解析：正常値と疾患における意義
久保田雅也, 柏井洋文, 寺嶋 宙, 太田さやか, 安藤亜希 (国立成育医療研究センター神経内科)
- 8) 米国の発達行動小児科外来患者に合併する睡眠障害
福水道郎^{1,2}, Wojtal Emma², Hayes Marie² (東京都立府中療育センター小児科¹, メイン大学心理学科²)

- 9) 質問紙による簡便な幼児睡眠スクリーニング手法の提案
清水佐知子¹, 加藤久美^{2,3}, 毛利育子², 大野ゆう子¹, 谷池雅子²
(大阪大学大学院保健学専攻¹, 同 子どものこころの分子統御機構研究センター², 太田総合病院記念
研究所附属診療所太田睡眠科学センター³)
- 10) 健康な乳児の睡眠習慣確立プログラムに関する文献レビュー
安積陽子¹, 高田 哲²(北海道大学大学院保健科学研究院¹, 神戸大学大学院保健学研究科²)
- 11) 子どもの早起きをすすめる会 HP 開設 10 年を迎えて
神山 潤(東京ベイ・浦安市川医療センター)

第 4 回小児免疫性脳炎研究会：小児の中樞神経系血管炎

- 5月19日(土) 8:00~10:00 第3会場
座長 岡 明(杏林大学小児科)
- 1) 小児の中樞性血管炎の分類と病理
岡 明(杏林大学小児科)
 - 2) 原発性中樞血管炎の3例
小菅浩史, 小篠史郎, 野村恵子, 木村重美(熊本大学発達小児科)
 - 3) Primary angitis of the central nervous system (PACNS) の診断
太田さやか, 安藤亜希, 寺嶋 宙, 柏井洋文, 久保田雅也
(国立成育医療研究センター神経内科)
 - 4) 原発性中樞性血管炎の1例—治療を中心に
平林伸一¹, 平野 悟¹, 西村貴文²(長野県立こども病院神経小児科¹, 信州大学小児科²)
 - 5) 小児の中樞神経系における二次性血管炎：神経パーチエット病
鳥巢浩幸(九州大学病院総合周産期母子医療センター)

第 7 回小児重症筋無力症研究会

5月19日(土) 13:00~17:00 第4会場

総会前日 第3会場

12:30~15:30 実践教育セミナー I (S171)

小児科医のための神経画像 2012

座長 高梨潤一 (亀田メディカルセンター小児科)

- 1) 中枢神経の正常発生と先天奇形
丹羽 徹 (神奈川県立こども医療センター放射線科)
- 2) 発達をふまえた正常画像とその読み方
森 壘 (東京大学大学院放射線診断学)
- 3) 感染症の画像診断
高梨潤一 (亀田メディカルセンター小児科)
- 4) 先天代謝異常症の画像診断
大場 洋 (帝京大学放射線科)
- 5) 画像所見と脳病理
林 雅晴 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究)
- 6) Interesting images 2012

総会前日 第6会場

15:40~18:40 実践教育セミナー II (S174)

新生児脳波判読セミナー

座長 奥村彰久 (順天堂大学小児科)

加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)

- 1) 正期産児の脳波・aEEG：正常と異常
久保田哲夫 (安城更生病院小児科)
- 2) 早産児の脳波・aEEG：正常と異常
加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)
- 3) 新生児発作の脳波・aEEG：発作時変化
奥村彰久 (順天堂大学小児科)

第 1 日目 第 1 会場

- 8:30~8:40 開会式
- 8:40~9:10 会長講演 (S99)
 小児神経疾患に対する新しい治療：第 54 回日本小児神経学会総会からのオーバービュー
 座長 福山幸夫 (東京女子医科大学名誉教授)
 講演 有賀 正 (北海道大学大学院小児科学)
- 9:10~10:10 English Session A (S181)
 座長 Hiroshi Otsubo (Division of Neurology, The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada)
 Katsuhiro Kobayashi (Department of Child Neurology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan)
- E-001 **Post-surgical outcome in patients with epileptic spasms**
 ○Yukiko Mogami, Yukitoshi Takahashi, Rumiko Takayama, Hiroko Ikeda, Tomoyuki Akiyama, Katsumi Imai, Hideo Shigematsu, Koichi Baba, Yushi Inoue
 National Epilepsy Center, Shizuoka Institute of Epilepsy and Neurological Disorders, Shizuoka, Japan
- E-002 **Diffusion tensor imaging in cryptogenic West syndrome : TBSS analysis at one and two years of age**
 ○Jun Natsume ¹, Tatsuya Fukasawa ¹, Naoko Ishihara ¹, Hiroyuki Yamamoto ¹, Tomoya Takeuchi ¹, Yoshiteru Azuma ¹, Naoki Ando ², Tamiko Negoro ¹, Kazuyoshi Watanabe ³
 Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya ¹, Department of Neonatology and Pediatrics, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya ², Faculty of Health and Medical Sciences, Aichi Shukutoku University, Nagoya, Japan ³
- E-003 **Problems of carry over to adulthood in children with epilepsy**
 ○Yusaku Miyamoto, Hitoshi Yamamoto, Hiroshi Murakami, Noriko Udagawa, Natsuko Arai, Miho Fukuda, Syuji Hashimoto, Hisako Yamamoto
 Department of Pediatrics, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki, Japan
- E-004 **Prediction of efficacy for partial tonic seizure and side effects of new AEDs by mechanism of action**
 ○Kenji Sugai, Eiji Nakagawa, Hirofumi Komaki, Yoshiaki Saito, Takashi Saito, Masayuki Sasaki
 Department of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan
- E-005 **MEG analysis of epileptic spike at focal cortical dysplasia with spatial filtering analysis**
 ○Midori Nakajima, Kosuke Otsuka, Yuki Ueda, Naoko Asahina, Shinobu Kohsaka, Hideaki Shiraiishi
 Department of Pediatrics, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan
- E-006 **[JSCN Award for Asia-Oceania Young Investigator]**
Comparison of intravenous midazolam drip with intermittent intravenous diazepam for treating refractory serial seizures in children
 ○Afshin Fayyazi ¹, Parvaneh Karimzadeh ²
 Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, University of Hamedan, Hamedan, Iran ¹, Pediatric Neurologist, Associate Professor of Shahid Beheshti University of Medical Sciences (SBMU), Mofid Children Hospital, Tehran, Iran ²
- 10:10~11:10 教育講演 1 (S119)
 生物時計の発達と睡眠覚醒リズム：時間生物学の小児科学への応用
 座長 神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)
 講演 本間さと (北海道大学大学院時間医学)
- 12:40~13:20 特別講演 (S100)
 ノーベル化学賞を受賞して
 座長 松本脩三 (北海道大学名誉教授)
 講演 鈴木 章 (北海道大学名誉教授)
- 13:20~13:40 鴨下重彦先生を偲んで

13:40~14:40 【テーマ企画①】 小児神経学における再生医療の可能性…………… (S102)
 基調講演

iPS 細胞技術を用いた神経発達障害および神経変性疾患の病態解析と治療法の開発

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学小児科)

講演 岡野栄之 (慶應義塾大学生理学)

15:10~16:40 【テーマ企画②】 北海道企画…………… (S105)
 シンポジウム

北海道から障がい児を支える地域医療を考える

座長 長 和彦 (北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科)

續 晶子 (北海道立子ども総合医療・療育センター小児科)

- 1) 北海道重症心身障害児 (者) アンケートのまとめと全国との比較
 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)
- 2) 北海道療育園が行っている重症児支援の現状
 平元 東 (重症心身障害児 (者) 施設北海道療育園)
- 3) 在宅人工換気療法の現状と将来
 石川悠加, 石川幸辰, 南 良二 (国立病院機構八雲病院小児科)
- 4) だれもが暮らしやすい地域を目指して—TEACCH プログラムに学ぶ地域ネットワーク—
 高橋和俊 (おしま地域療育センター)
- 5) ADHD の総合的対応—現状と課題を考える—
 荒木章子 (旭川医科大学小児科)
- 6) 北海道における障がい児支援について
 古川 勲 (北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課)

19:30~21:30 夜間集会 1: 医療的ケアの介護職等法制化以後の課題 (社会活動委員会主催) …………… (S158)

座長 三浦清邦 (名古屋大学大学院障害児 (者) 医療学寄附講座)

江川文誠 (重症心身障害児施設ソレイユ川崎)

- 1) 介護職員等によるたんの吸引等の実施のための制度概要
 高木憲司 (厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課専門官)
- 2) 医療的ケア制度化を控えての障害者施設での対応—神奈川—
 江川文誠 (重症心身障害児施設ソレイユ川崎)
- 3) 北海道での現状と課題
 平元 東 (重症心身障害児 (者) 施設北海道療育園)
- 4) 東京都の学校における状況などからの課題
 北住映二 (心身障害児総合医療療育センター)
- 5) 神奈川方式を用いた養護学校における医療的ケアの問題点と今後の展望
 一大学病院勤務医兼養護学校担当医の立場から—
 宮本雄策^{1,2}, 山本 仁¹ (聖マリアンナ医科大学小児科¹, 川崎市立多摩病院小児科²)

第 1 日目 第 2 会場

9:10~10:10 English Session B…………… (S183)
 座長 Yuichi Goto (National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan)

Kyoko Itoh (Department of Pathology and Applied Neurobiology, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan)

E-007 Effect of bezafibrate treatment on late-onset mitochondrial myopathy in mice

○Shuichi Yatsuga^{1,2}, Anu Suomalainen²

Department of Pediatrics and Child Health, Kurume University School of Medicine, Fukuoka, Japan¹,
 University of Helsinki, Biomedicum Helsinki, Research Program Unit, Molecular Neurology, Helsinki,
 Finland²

E-008 Flowcytometric diagnosis of Danon disease (LAMP2 deficiency)

○Tomonari Awaya, Takeshi Yoshida, Minoru Shibata, Takeo Kato

Department of Pediatrics, Kyoto University, Kyoto, Japan

- E-009 Thyrotropin-releasing hormone therapy in spinal muscular atrophy—3D motion analysis—**
 ○Zen-ichiro Kato, Takahide Teramoto, Naomi Kondo
 Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Gifu University, Gifu, Japan
- E-010 Pathogenic exon-trapping by an SVA retrotransposal insertion and therapeutic rescue with antisense oligonucleotides in Fukuyama muscular dystrophy**
 ○Mariko Taniguchi-Ikeda^{1,2}, Yasuhiro Takeshima², Tatsushi Toda¹
 Divisions of Neurology/Molecular Brain Science¹ and Department of Pediatrics², Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan
- E-011 The shortest isoform of dystrophin (Dp40) interacts with a group of presynaptic proteins in the mouse brain**
 ○Takenori Tozawa^{1,2}, Kyoko Ito¹, Takeshi Yaoi¹, So Tando¹, Masafumi Umekage¹, Shinji Fushiki¹
 Departments of Pathology and Applied Neurobiology¹ and Pediatrics², Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan
- E-012 [The 2012 JSCN International Educational Fellowship]
 Comparison of two medicines, deflazacort and prednisone in patients with Duchenne muscular dystrophy**
 ○Ahad Ghazavi¹, Parvaneh Karimzadeh²
 Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, University of West Azarbaigan, Urmia, Iran¹, Pediatric Neurologist, Associate Professor of Shahid Beheshti University of Medical Sciences (SBMU), Mofid Children Hospital, Tehran, Iran²

10:10~11:10 【テーマ企画②】 北海道企画関連・指定発言…………… (S109)

連続講演：障がい児の自立を目指して

- 1) 自力では動けない障がい児の自立心や発達を支援する入力装置と移動補助器具
 座長 長 和彦 (北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター)
 講演 松尾清美 (佐賀大学地域医療科学教育研究センター)
- 2) 運動障がいのこどもたちの脳 MRI と拡散テンソル画像—画像診断, 画像解析の視点から—
 座長 神田豊子 (京都民医連中央病院リハビリテーション科)
 講演 吉田昌子 (ジョンズ・ホプキンス大学放射線科)

15:10~15:50 震災関係…………… (S195)

- 座長 永井利三郎 (大阪大学大学院保健学専攻)
 萩野谷和裕 (宮城県拓桃医療療育センター)
- O-001 東日本大震災と知的発達障害・精神障害：大崎市民病院での経験**
 ○横山浩之^{1,2}, 岩城利充²
 山形大学看護学科¹, 大崎市民病院小児科²
- O-002 小児神経疾患患者の在宅医療機器電源不足による入院：東日本大震災の教訓**
 ○中山東城, 植松 貢, 矢尾板全子, 菊池敦生, 阿部 裕, 福與なおみ, 土屋 滋, 呉 繁夫
 東北大学大学院小児病態学
- O-003 「Rescue311」ボランティア医療従事者による東日本大震災・被災者向けメール医療相談—我々に何が出来たのか**
 ○椎原 隆¹, 渡辺美緒¹, 熊田聡子², 森田孝次³, 小篠史郎⁴, 小倉加恵子⁵, 後藤麻美⁶, 村松一洋⁷, 伊東愛子⁸
 群馬県立小児医療センター神経内科¹, 東京都立神経病院神経小児科², 昭和大学小児科³, 熊本大学附属病院発達小児科⁴, 国立障害者リハビリテーションセンター研究所脳機能系障害研究部発達障害⁵, すわクリニック小児科⁶, 群馬大学大学院小児科学⁷, 山形県立総合療育訓練センター⁸
- O-004 東日本大震災発生時の当院での対応状況**
 ○小林 悟, 涌澤圭介, 田中総一郎, 萩野谷和裕
 宮城県拓桃医療療育センター小児科

15:50~16:50 教育講演 2…………… (S120)

小児もやもや病—研究の軌跡と今後の展望—

- 座長 呉 繁夫 (東北大学大学院小児病態学)
 講演 寶金清博 (北海道大学大学院脳神経外科学)

- 19:30~21:30 夜間集会 2: 小児脳性麻痺のボツリヌス治療 (薬事委員会主催) (S161)
- 座長 根津敦夫 (横浜療育医療センター神経小児科)
岩崎信明 (茨城県立医療大学付属病院小児科)
- 1) 四肢麻痺障害児者への外来におけるボツリヌス治療
石井光子 (千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科)
 - 2) 痙性斜頸に対する A 型ボツリヌス毒素治療経過中に重篤な呼吸障害を来した成人脳性麻痺 2 例の検討
曾根 翠, 荒木克仁, 浜口 弘, 武田佳子, 江添隆範, 西條晴美, 平山恒憲, 岡田真由美, 鈴木文晴,
倉田清子 (東京都立東大和療育センター)
 - 3) 小児の痙性四肢麻痺に対する A 型ボツリヌス毒素による治療経験
岩崎信明¹, 中山純子¹, 清水如代², 井原 哲³, 西上奈緒子¹, 絹笠英世¹, 稲田恵美¹, 新 健治¹,
佐藤秀郎¹ (茨城県立医療大学付属病院小児科¹, 同 整形外科², 筑波大学脳神経外科³)
 - 4) 小児へのボツリヌス治療における国内エキスパートオピニオン
根津敦夫 (横浜療育医療センター神経小児科)

第 1 日目 第 3 会場

- 9:10~10:10 English Session C (S185)
- 座長 Masashi Mizuguchi (Department of Developmental Medical Sciences, Graduate School of
Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan)
Masaharu Hayashi (Department of Brain Development and Neural Regeneration, Tokyo
Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan)
- E-013 The summary of limbic encephalitis in Tokai Pediatric Neurology Society**
- Tetsuo Kubota¹, Tatsuya Fukasawa¹, Yoko Sakaguchi¹, Tamiko Negoro^{1,2}, Shunsuke Ogaya³,
Yutaka Negishi⁴, Mari Sugimoto⁵, Takeshi Tsuji⁶, Motomasa Suzuki⁷, Naoki Ando⁴, Tetsuya Kibe⁸,
Akihisa Okumura⁹, Shinji Saitoh⁴, Jun Natsume², Masaharu Hayashi¹⁰
Department of Pediatrics, Anjo Kosei Hospital, Anjo¹, Department of Pediatrics, Nagoya University,
Nagoya², Department of Pediatrics, Toyota Kosei Hospital, Toyota³, Department of Pediatrics, Nagoya City
University, Nagoya⁴, Department of Pediatrics, Toyohashi Municipal Hospital, Toyohashi⁵, Department of
Pediatrics, Okazaki City Hospital, Okazaki⁶, Division of Neurology, Aichi Children's Health and Medical
Center, Obu⁷, Department of Pediatrics, Seirei Mikatahara General Hospital, Hamamatsu⁸, Department of
Pediatrics, Juntendo University School of Medicine, Tokyo⁹, Department of Brain Development and Neural
Regeneration, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan¹⁰
- E-014 Prolonged hemiparesis after a seizure with fever as an early sign of hemispheric AESD**
- Takeshi Tsuji¹, Shunsuke Ogaya², Hiroyuki Yamamoto³, Tatsuya Fukasawa⁴, Seiko Itomi⁵,
Motomasa Suzuki⁶, Tetsuo Kubota⁴, Kazuya Itomi⁶, Toru Kato¹, Fumio Hayakawa¹, Naoki Ando⁷,
Akihisa Okumura⁸, Shinji Saitoh⁷, Jun Natsume³
Department of Pediatrics, Okazaki City Hospital, Okazaki¹, Department of Pediatrics, Toyota Kosei Hospital,
Toyota², Department of Pediatrics, Nagoya University, Nagoya³, Department of Pediatrics, Anjo Kosei
Hospital, Anjo⁴, Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya⁵,
Department of Pediatric Neurology, Aichi Children's Health and Medical Center, Obu⁶, Department of
Pediatrics, Nagoya City University, Nagoya⁷, Department of Pediatrics, Juntendo University, Tokyo, Japan⁸
- E-015 Autoimmune encephalitis proven by immunohistochemical study**
- Akihisa Okumura¹, Tetsuo Kubota², Motomasa Suzuki³, Tatsuya Fukasawa², Shinpei Abe¹, Mitsuru Ikeno¹,
Mariko Hosozawa¹, Toshiaki Shimizu¹, Masaharu Hayashi⁴
Department of Pediatrics, Juntendo University Faculty of Medicine, Tokyo¹, Department of Pediatrics, Anjo
Kosei Hospital, Anjo², Department of Neurology, Aichi Children's Health and Medical Center, Obu³,
Department of Brain Development and Neural Regeneration, Tokyo Metropolitan Institute of Medical
Science, Tokyo, Japan⁴
- E-016 Two pediatric patients with anti-NMDAR encephalitis treated with and without cyclophosphamide**
- Taku Omata¹, Jun-ichi Takanashi², Yukitoshi Takahashi³, Katsuo Sugita⁴, Hidee Arai¹, Kohichi Mitsui¹
Division of Child Neurology, Chiba Children's Hospital, Chiba¹, Department of Pediatrics, Kameda Medical
Center, Kamogawa², Department of Pediatrics, Shizuoka Institute of Epilepsy and Neurological Disorders,
Shizuoka³, Division of Child Health, Faculty of Education, Chiba University, Chiba, Japan⁴

- E-017 Broad clinical spectrum of three cases of pediatric anti-NMDAR encephalitis**
 ○Takahito Wada¹, Tadahiro Mitani², Hidekazu Kato¹, Naoko Yoshihara¹, Fuyu Miyake¹, Mariko Akiba¹, Megumi Tsuji³, Mitsuko Okuda¹, Kyoko Takano¹, Noriko Aida⁴, Mizue Iai¹, Sumimasa Yamashita¹, Hitoshi Osaka¹
 Division of Neurology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama¹, Department of Anatomy and Cell Biology Kyoto University Graduate School, Kyoto², Laboratory of Neurophysiology, Department of Neuroscience, Jikei University School of Medicine, Tokyo³, Division of Radiology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan⁴

- E-018 Recurrent anti-N-methyl-D-aspartate receptor (NMDAR) encephalitis : a case report**
 ○Yasuo Hachiya¹, Akinori Uruha², Emi Kasai¹, Konomi Shimoda¹, Ikuko Shirai¹, Satoko Kumada¹, Eiji Kurihara¹
 Departments of Neuropediatrics¹ and Neurology², Tokyo Metropolitan Neurological Hospital, Fuchu, Japan

10:10~11:30 てんかん 1 (S196)

座長 中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
 渡邊年秀 (北海道立子ども総合医療・療育センター小児神経科)

- O-005 小児の難治性てんかん患者に対する Levetiracetam の有効性と安全性の検討**
 ○富永康仁¹, 新寶理子¹, 中野さやか¹, 東 純史¹, 岩谷祥子¹, 木村志保子¹, 下野九理子², 沖永剛志¹, 永井利三郎³, 大藪恵一¹
 大阪大学大学院小児科学¹, 同 連合小児発達学研究科², 同 大学院保健学専攻生命育成看護科学³

- O-006 難治性てんかんに対するレベチラセタムの効果**
 ○松尾光弘¹, 松坂哲應¹, 里 龍晴², 藤井明子², 森内浩幸²
 長崎県立こども医療センター小児科¹, 長崎大学小児科²

- O-007 難治てんかんに対する高用量ラモトリギン治療 VPA+LTG>200 mg/day**
 ○田中正樹
 田中神経クリニック

- O-008 難治のけいれん発作をもつ小児てんかん患者に対する Levetiracetam の短期併用効果と精神的副反応**
 ○伊予田邦昭¹, 小川和則¹, 岡崎富男²
 広島市立広島市民病院小児科¹, 呉共済病院看護専門学校²

- O-009 レベチラセタムが著効したと考えられる外性器異常を伴う X 連鎖性滑脳症の 1 例**
 ○斉藤真希^{1,2}, 菊池健二郎^{2,3}, 浜野晋一郎³, 加藤光広⁴, 井田博幸²
 厚木市立病院小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科学², 埼玉県立小児医療センター神経科³, 山形大学小児科⁴

- O-010 重症心身障害施設におけるレベチラセタムの有効性の検討—前方視的研究**
 ○長澤哲郎¹, 木村直子¹, 齋藤菜穂¹, 古島わかな¹, 渥美 聡¹, 田沼直之¹, 富永恵子², 福水道郎¹
 東京都立府中療育センター小児科¹, 同 内科²

- O-011 ACTH 治療中に部分発作が増悪した West 症候群の 1 例**
 ○岩田あや, 仁紙宏之
 西神戸医療センター小児科

- O-012 West 症候群における ACTH 投与によるサイトカインの変動**
 ○山中 岳, 河島尚志, 石田 悠, 小穴信吾, 森地振一郎, 森島靖行, 鈴木一徳, 宮島 祐, 星加明徳
 東京医科大学小児科

11:40~12:40 ランチョンセミナー 1 : グラクソ・スミスクライン株式会社 (S165)
 小児けいれんのマネジメント

座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)
 講演 新島新一 (順天堂大学附属練馬病院小児科)

14:40~16:40 【テーマ企画①】 小児神経学における再生医療の可能性…………… (S103)
シンポジウム

iPS 細胞による再生医療は小児神経疾患の未来の治療となりうるか

座長 高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)

齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)

- 1) iPS 細胞研究を応用した難治性脳形成障害症の分子病態解析と新規治療技術開発の可能性
金村米博 (国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター再生医療研究室, 同 脳神経外科)
- 2) てんかんと iPS 細胞
廣瀬伸一 (福岡大学小児科, 同 てんかん分子病態研究所)
- 3) 筋ジストロフィーと iPS 細胞—筋ジストロフィーの再生医療の実現化を目指して—
鈴木友子, 武田伸一 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部)

第 1 日目 第 4 会場

9:10~10:10 English Session D…………… (S187)

座長 Toshimasa Obonai (Department of Pediatrics Tokyo Metropolitan Health and Medical Treatment Corporation, Tamahokubu Medical Center Higashimurayama, Japan)

Masumi Inagaki (Department of Developmental Disorders, National Institute of Mental Health, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan)

E-019 Inhaled nitric oxide and cerebral oxygenation

○Tomoki Maeda¹, Gunnar Nauelaers²

Department of Pediatrics and Child Neurology, Oita University, Oita, Japan¹, Katholieke University Leuven, Leuven, Belgium²

E-020 Vitamin E suppresses lipid peroxidation and behavioral impairment in mouse model of Down syndrome

○Mototada Shichiri^{1,2}, Yasukazu Yoshida², Hiroshi Tamai¹

Health Research Institute, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST), Osaka¹, Department of Pediatrics, Osaka Medical College, Osaka, Japan²

E-021 Proteomic approaches deciphering the convergent molecular pathways for autism spectrum disorders

○Yasunari Sakai¹, Chad A Shaw², Brian C Dawson², Zaina Al-Mohtaseb², Diana V Dugas², Toshiro Hara¹, Huda Y Zoghbi^{2,3}

Department of Pediatrics, Kyushu University, Fukuoka, Japan¹, Department of Molecular and Human Genetics, Baylor College of Medicine, Houston, TX, USA² and Howard Hughes Medical Institute, Houston, TX, USA³

E-022 The first nationwide survey of Rett syndrome in Japan

○Shin Nabatame^{1,2}, Yoshiko Nomura³, Yushiro Yamashita⁴, Toyojiro Matsuishi⁴, Masaya Segawa⁴, Masayuki Itoh²

Laboratory Medicine, National Center Hospital¹ and Department of Mental Retardation and Birth Defect Research², National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Segawa Neurological Clinic for Children, Tokyo³, Department of Pediatrics, Kurume University School of Medicine, Kurume, Japan⁴

E-023 Clinically-oriented fNIRS monitoring of MPH effect in ADHD children

○Yukifumi Monden^{1,2}, Ippeita Dan³, Masako Nagashima¹, Takanori Yamagata⁴, Eiju Watanabe⁴, Mariko Momoi¹

Department of Pediatrics, Jichi Medical University School of Medicine, Shimotsuke¹, Department of Pediatrics, International University of Health and Welfare Hospital, Otawara², Functional Brain Science Laboratory³ and Department of Neurosurgery⁴, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan

E-024 MR image and outcome of hemiplegic cerebral palsy born at term

○Yukihiro Kitai, Hiroshi Arai, Satori Hirai

Department of Pediatric Neurology, Morinomiya Hospital, Osaka, Japan

- 10:10~11:10 発達…………… (S199)
- 座長 荒木章子 (旭川医科大学小児科)
山下裕史朗 (久留米大学小児科)
- O-013 **Shuffling baby (お尻這い・いざりっこ) の予後**
○三浦清邦¹, 高橋 脩²
名古屋大学大学院障害児 (者) 医療学寄附講座¹, 豊田市こども発達センター児童精神科²
- O-014 **早期産児の乳児期における顔認知の発達の变化について**
○小西行彦¹, 西田智子², 磯部健一¹, 伊藤 進¹
香川大学小児科¹, 同 教育学部²
- O-015 **読み聞かせが乳幼児の文字への興味に与える影響—視線検出器を用いた検討—**
○中井昭夫¹, 乙部貴幸², 竹内恵子³, 高谷理恵子⁴, 森 俊之⁵, 谷出千代子⁶
福井大学子どものこころの発達研究センター¹, 仁愛女子短期大学幼児教育学科², 福井大学教育地域科学部³, 福島大学人間発達文化学類⁴, 仁愛大学人間学部⁵, 同 人間生活学部⁶
- O-016 **絵本の読み聞かせ時の前頭葉活動—近赤外線スペクトロスコピーによる評価—**
○森 健治¹, 伊藤弘道¹, 森 達夫¹, 郷司 彩¹, 宮崎雅仁¹, 原田雅史², 香美祥二¹
徳島大学大学院小児医学¹, 同 放射線科学²
- O-017 **バランス機能の定量的簡易評価法に関する検討—三軸加速度センサーを用いた測定法—**
○江口亮太, 三見敦子, 高田 哲
神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域地域保健学専攻
- O-018 **神経疾患がある子どもの学習成果の評価法の開発—算数の学習習熟度テスト (小学校 1-6 年) の検討—**
○長尾秀夫
愛媛大学教育学部特別支援教育講座 (特別支援医学)
- 11:40~12:40 ランチョンセミナー 2: 日本光電工業株式会社…………… (S165)
- Advances in the management of refractory epilepsy in children—a focus on neuromodulation with VNS therapy**
- 座長 三國信啓 (札幌医科大学脳神経外科)
- 講演 Angus A. Wilfong (Pediatrics and Neurology Baylor College of Medicine, Houston, Texas, USA)
- 14:40~16:40 シンポジウム 1: 小児てんかん外科—早期手術患者の発見と利点…………… (S129)
- 座長 大坪 宏 (トロント小児病院神経科)
中里信和 (東北大学大学院てんかん学)
- コメンテーター 亀山茂樹 (国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科)
飯田幸治 (広島大学病院脳神経外科)
- 1) 小児難治てんかんに対する脳梁離断術: 長期発作寛解例の特徴
岩崎真樹¹, 植松 貢², 佐藤優子², 中山東城², 小林朋子², 福與なおみ², 萩野谷和裕³, 神 一敬⁴, 大沢伸一郎¹, 板橋 尚⁴, 中里信和⁴, 富永悌二¹
(東北大学大学院神経外科学¹, 同 小児病態学², 宮城県拓桃医療療育センター小児科³, 東北大学大学院てんかん学⁴)
 - 2) 小児てんかん外科—早期手術患者の発見と利点—発達の観点から—
木村暢佑, 高橋幸利, 重松秀夫, 今井克美, 馬場好一, 松田一己, 井上有史
(国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
 - 3) 大脳皮質形成障害を伴う乳児難治性てんかんの外科治療
高橋章夫¹, 大槻泰介¹, 本田涼子², 中川栄二², 須貝研司², 佐々木征行²
(国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科¹, 同 小児神経科²)
 - 4) 小児の積極的早期てんかん外科治療: 小児神経科医は何を見て考えて行動すべきか?
秋山倫之 (岡山大学病院小児神経科)
 - 5) 小児てんかん外科治療のチーム医療: 脳外科からみた小児神経科医の役割
三國信啓 (札幌医科大学脳神経外科)

第1日目 第5会場

- 9:10~10:10 English Session E (S189)
 座長 Nobuyuki Shimozawa (Division of Genomics Research, Life Science Research Center, Gifu University, Gifu, Japan)
 Hiroko Kodama (Department of Health and Dietetics, Faculty of Health and Medical Sciences, Teikyo Heisei University, Tokyo, Japan)
- E-025 Variability in the level of erythrocyte glucose uptake in two patients with the same *SLC2A1* mutation
 ○Naoko Ishihara¹, Jun Natsume¹, Keiko Yanagihara², Yoshiteru Azuma¹, Tomohiko Nakata¹, Tamiko Negoro¹, Kazuyoshi Watanabe^{1,3}
 Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya¹, Department of Developmental Medicine, Osaka Medical Center and Research Institute for Maternal and Child Health, Izumi², Department of Medical Science, Faculty of Health and Medical Sciences, Aichi Shukutoku University, Nagoya, Japan³
- E-026 Three siblings of Leigh syndrome associated with a mitochondrial G3697A mutation
 ○Yutaka Negishi¹, Ayako Hattori¹, Naoki Ando¹, Tetsuya Ito¹, Shinji Saitoh¹, Yuichi Goto²
 Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya¹, Department of Mental Retardation and Birth Defect Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan²
- E-027 EEG findings in a patient with propionic acidemia received living donor liver transplantation
 ○Masayoshi Nagao¹, Toju Tanaka^{1,2}, Shuji Wakai^{1,3}
 Department of Pediatrics and Clinical Research, NHO Hokkaido Medical Center, Sapporo¹, Department of Pediatrics, Sapporo Medical University, Sapporo², Nakanoshima Clinic, Sapporo, Japan³
- E-028 Peroxisomal enzyme RNAi and lipid compositions in Zellweger syndrome and D-BP deficiency
 ○Celine Miyazaki, Makiko Saitoh, Masashi Mizuguchi
 Department of Developmental Medical Sciences, University of Tokyo, Tokyo, Japan
- E-029 BTBD9, genetic association with restless legs syndrome, deficient mice show dopaminergic abnormality
 ○Kazuhiro Muramatsu^{1,2}, Noriko Sawaura¹, Keiko Kamayachi¹, Tomomi Ogata¹, Hirokazu Arakawa¹
 Department of Pediatrics, Gunma University Graduate School of Medicine, Maebashi, Japan¹, Philipps-University Marburg, University Neurology Hospital, Marburg, Germany²
- E-030 Identification of a founder mutation in *RNF213* gene in Japanese patients with Moyamoya disease and its clinical significance
 ○Shigeo Kure¹, Fumiaki Kamada¹, Yoko Aoki¹, Yu Abe¹, Atsuo Kikuchi¹, Shoko Komatsuzaki¹, Junko Kanno¹, Yoichi Matsubara², Hajime Touho³, Satoko Miyatake⁴, Naomichi Matsumoto⁴
 Department of Pediatrics, Tohoku University School of Medicine, Sendai¹, Tohoku University, Sendai², Touho Neurosurgical Clinic, Ikeda³, Yokohama City University, Yokohama, Japan⁴
- 10:10~11:20 急性脳症 1 (S201)
 座長 夏目 淳 (名古屋大学大学院小児科学)
 高橋 悟 (旭川医科大学小児科)
- O-019 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症 (AESD) の一相目のけいれん重積後と、熱性けいれん重積 (PFS) 後の脳波所見
 ○深沢達也¹, 久保田哲夫¹, 中田智彦², 辻 健史³, 鈴木基正⁴, 安藤直樹⁵, 加藤 徹³, 奥村彰久⁶, 齋藤伸治⁵, 夏目 淳²
 安城更生病院小児科¹, 名古屋大学小児科², 岡崎市民病院小児科³, あいち小児保健医療総合センター神経科⁴, 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学⁵, 順天堂大学小児科⁶

- O-020 Acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion [AESD] における早期診断に関する後方視的検討**
 ○多田弘子¹, 高梨潤一², 山形崇倫³, 奥野英夫⁴, 久保田雅也⁵, 河野 剛⁶, 椎原 隆⁷, 浜野晋一郎⁸, 廣瀬伸一⁹, 水口 雅¹⁰
 千葉県済生会習志野病院小児科¹, 亀田メディカルセンター小児科², 自治医科大学小児科³, 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科⁴, 国立成育医療研究センター神経内科⁵, 久留米大学小児科⁶, 群馬県立小児医療センター神経内科⁷, 埼玉県立小児医療センター神経科⁸, 福岡大学小児科⁹, 東京大学大学院発達医科学¹⁰
- O-021 リドカイン中毒による無熱性のけいれん重積後に二相性脳症の経過を示した 1 例**
 ○佐野仁美, 須藤 章, 川村信明
 市立札幌病院小児科
- O-022 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症における脳萎縮の長期経過**
 ○竹内智哉¹, 辻 健史², 久保田哲夫³, 山本啓之¹, 中田智彦¹, 石原尚子¹, 深沢達也³, 杉本真里⁴, 鈴木基正⁵, 糸見和也⁵, 安藤直樹⁶, 渡邊一功⁷, 奥村彰久⁸, 齋藤伸治⁶, 夏目 淳¹
 名古屋大学大学院小児科学¹, 岡崎市民病院小児科², 安城更生病院小児科³, 豊橋市民病院小児科⁴, あいち小児保健医療総合センター⁵, 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学⁶, 愛知淑徳大学健康医療科学部⁷, 順天堂大学小児科・思春期科学⁸
- O-023 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を伴う急性脳症と抗けいれん薬の検討**
 ○根岸 豊¹, 安藤直樹¹, 濱口貴代², 杉本真理³, 林 直子⁴, 中田智彦⁵, 辻 健史⁶, 久保田哲夫⁷, 奥村彰久⁸, 夏目 淳⁵, 齋藤伸治¹
 名古屋市立大学小児科¹, 岐阜県立多治見病院小児科², 豊橋市民病院小児科³, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児科⁴, 名古屋大学小児科⁵, 岡崎市民病院小児科⁶, 安城更生病院小児科⁷, 順天堂大学小児科⁸
- O-024 二相性発作と遅延拡散低下を伴った急性脳症の臨床的検討**
 ○池田尚広, 森 雅人, 山形崇倫, 宮内彰彦, 長嶋雅子, 福田冬季子, 野崎靖之, 杉江秀夫, 桃井真里子
 自治医科大学附属病院小児科
- O-025 抗けいれん剤持続投与下での脳低温/平温療法は急性脳症の興奮毒性による神経学的後遺症を低減する**
 ○西山将広, 藤田杏子, 丸山あずさ, 永瀬裕朗
 兵庫県立こども病院脳神経内科
- 11:40~12:40 ランチョンセミナー 3: 協和発酵キリン株式会社…………… (S166)**
小児難治性てんかんの治療戦略
 座長 大塚頌子 (旭川荘療育・医療センター)
 講演 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
- 14:40~15:40 発達障害 1…………… (S203)**
 座長 石崎朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)
 高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科)
- O-026 姫路市総合福祉通園センターで療育指導を受けた超低出生体重児について**
 ○小寺澤敬子, 竹中佳奈栄, 岡田由香, 宮田広善
 姫路市総合福祉通園センター
- O-027 脳室周囲白質軟化症における広汎性発達障害について**
 ○福田邦明¹, 橋本俊顕²
 麻田総合病院神経小児科¹, 徳島赤十字ひのみね総合療育センター小児科²
- O-028 ウィリアムズ症候群患児の前言語段階における社会性認知の発達と言語発達 (第 1 報)**
 ○中村みほ¹, 道勇さゆり¹, 村松友佳子¹, 平井真洋¹, 倉橋宏和², 水野誠司²
 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所機能発達学部¹, 同 中央病院²
- O-029 ウィリアムズ症候群患児の前言語段階における社会性認知の発達と言語発達 (第 2 報)**
 ○村松友佳子^{1,2}, 道勇さゆり¹, 平井真洋¹, 倉橋宏和³, 水野誠司², 中村みほ¹
 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所機能発達学部高次機能研究室¹, 同 中央病院小児内科², 同 中央病院小児神経科³

- O-030 14 番染色体母親性片親性ダイソミー 4 例の発達予後**
 ○高橋有美¹, 小沢 浩², 朝比奈直子³, 遠山 潤^{4,5}, 加藤光広⁶, 久保田雅也⁷, 大瀧 潮¹,
 石塚丈広¹, 有本 潔¹, 木実谷哲¹, 齋藤伸治⁸
 鳥田療育センター小児科¹, 同 はちおうじ小児神経科², 北海道大学大学院小児科学³, 国立病院
 機構西新潟中央病院小児科⁴, 新潟大学医歯学総合病院小児科⁵, 山形大学小児科学⁶, 国立成育医
 療研究センター病院神経内科⁷, 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学⁸
- O-031 Scn1a 遺伝子変異ラットにおける発達障害**
 ○大守伊織¹, 大内田守²
 岡山大学大学院細胞生理学¹, 同 分子遺伝学²
- 15:40~16:40 発達障害 2..... (S205)**
 座長 才野 均 (北海道立子ども総合医療・療育センター精神科)
 森 健治 (徳島大学大学院子どもの保健・看護学分野)
- O-032 児童養護施設における ADHD 評価**
 ○鈴木直光
 筑波こどものこころクリニック小児科
- O-033 注意欠陥/多動性障害児における quality of life の検討**
 ○佐野史和¹, 反頭智子¹, 金村英秋¹, 杉田完爾¹, 相原正男²
 山梨大学小児科¹, 同 大学院医学工学総合研究部²
- O-034 AD/HD における NIRS を用いた顔視覚刺激に対する反応の検討: 併存する自閉性を評価できるかもしれない**
 ○島村圭一¹, 市川寛子², 仲渡江美³, 山口真美⁴, 金沢 創⁵, 作田亮一¹
 獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター¹, 中央大学研究開発機構², 自然科学研究機構
 生理学研究所³, 中央大学文学部⁴, 日本女子大学人間社会学部心理学科⁵
- O-035 自閉症スペクトラム障害の危険因子**
 ○黒川 徹¹, 横溝裕子¹, 李 守永²
 誠愛リハビリテーション病院神経内科 (小児部門)¹, 九州大学小児科²
- O-036 自閉症スペクトラム障害における出生時の両親年齢および新生児期異因子の検討**
 ○杉江陽子^{1,2}, 福田冬季子³, 遠藤雄策⁴, 河野由美³, 小黒範子⁵, 清水 純⁵, 杉江秀夫³
 浜松医科大学小児科¹, 葵町こどもクリニック², 自治医科大学小児科³, 浜松市発達医療総合セン
 ター小児神経科⁴, とちぎリハビリテーション病院小児科⁵
- O-037 自閉性スペクトラム障害診療における日本版 DN-CAS の使用経験**
 ○林 北見¹, 武藤順子², 白戸由理², 森山陽子², 渡邊肇子², 秋山三左子³
 東京女子医科大学八千代医療センター発達小児科¹, 同 小児科², 同 臨床心理室³

第 1 日目 第 6 会場

- 9:10~10:10 English Session F..... (S191)**
 座長 Jun-ichi Takanashi (Department of Pediatrics, Kameda Medical Center, Kamogawa,
 Japan)
 Hitoshi Osaka (Division of Neurology, Clinical Research Institute, Kanagawa Children's
 Medical Center, Yokohama, Japan)
- E-031 Diffusion-weighted MR imaging for the early diagnosis of neonatal herpes simplex encephalitis**
 ○Tohru Okanishi^{1,2,3}, Hiroyuki Yamamoto⁴, Jun-ichi Takanashi⁵, Masahiro Hayakawa⁶, Akihisa Okumura⁷
 Department of Pediatrics, Seirei-Hamamatsu General Hospital, Hamamatsu¹, Department of Neonatology
 and Pediatrics, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan², Division of
 Neurology, The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada³, Department of Pediatrics, Nagoya University
 Graduate School of Medicine, Nagoya⁴, Department of Pediatrics, Kameda Medical Center, Kamogawa⁵,
 Maternity and Perinatal Care Center, Nagoya University Hospital, Nagoya⁶, Department of Pediatrics,
 Juntendo University School of Medicine, Tokyo, Japan⁷

- E-032 Successful radiotherapy for cavernous sinus capillary hemangioma with three cranial nerves affection**
 ○Ivan Gonchar¹, Midori Nakajima², Kosuke Otsuka², Yuki Ueda², Naoko Asahina², Shinobu Kohsaka², Hideaki Shiraishi², Shinji Saitoh³
 Department of Postgraduate Clinical Education, Hokkaido University Hospital, Sapporo¹, Department of Pediatrics, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo², Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan³
- E-033 Predictive value of early radiological findings in inflicted traumatic brain injury**
 ○Koji Tanoue, Kiyoshi Matsui, Ai Kataoka
 Department of General Medicine, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan
- E-034 White-matter involvement in individuals with PWS**
 ○Kaeko Ogura^{1,2}, Toshikatsu Fujii², Mayumi Shinohara², Etsuro Mori²
 Developmental Disability Section, Department of Rehabilitation for Brain Functions, Research Institute of National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities, Tokorozawa¹, Department of Behavioral Neurology and Cognitive Neuroscience, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan²
- E-035 The role of an occupational therapist at an awake surgery of AVM at the right parietal lobe**
 ○Sayoko Kawabata¹, Ayataka Fujimoto², Takuya Yokota², Hideo Enoki², Takamichi Yamamoto², Shigenori Ishihara³
 Occupational Therapy Division, Department of Rehabilitation¹, Comprehensive Epilepsy Center² and Speech Therapy Division, Department of Rehabilitation³, Seirei Hamamatsu General Hospital, Hamamatsu, Japan
- E-036 Pediatric hydrocephalus and epilepsy—Frequency and associations—**
 ○Satoko Ochi¹, Toshihide Watanabe², Reiki Ohyanagi², Kimio Minagawa², Nobuhiro Mikuni³, Hideaki Shiraishi⁴
 Departments of Neurosurgery¹ and Neurology², Hokkaido Medical Center for Child Health and Rehabilitation, Sapporo, Department of Neurosurgery, Sapporo Medical University, School of Medicine, Sapporo³, Department of Paediatrics, Hokkaido University, School of Medicine, Sapporo, Japan⁴

10:10~11:00 画像..... (S207)

座長 小倉加恵子 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所脳機能系
 障害研究部発達障害研究室)
 荒井 洋 (森之宮病院小児神経科)

- O-038 痙性片麻痺の原因としての Periventricular venous infarction の臨床的・画像的特徴**
 ○早川克己¹, 吉田昌子³, 家森百合子², 神田豊子², 吉田菜穂子², 廣田陽代², 岩見美香²
 京都市立病院放射線科¹, 聖ヨゼフ医療福祉センター小児神経科², ジョンズ・ホプキンス大学放射線医学講座³
- O-039 MRI 拡散強調像にて bright tree appearance 様の皮質下白質病変を認めた乳児虐待の 1 例**
 ○起塚 庸¹, 土屋 希¹, 奥村良法², 愛波秀男²
 静岡県立こども病院小児集中治療科¹, 同 神経科²
- O-040 継時的に 1H-MRS を施行した Pelizaeus-Merzbacher 病の 1 例**
 ○森 達夫¹, 森 健治¹, 伊藤弘道¹, 郷司 彩¹, 宮崎雅仁¹, 原田雅史², 黒澤健司³, 香美祥二¹
 徳島大学大学院小児医学¹, 同 放射線科学², 神奈川県立こども医療センター遺伝科³
- O-041 AD/HD 脳における 1H-MRS による各種代謝物質濃度の検討**
 ○伊藤弘道¹, 森 健治¹, 原田雅史², 森 達夫¹, 郷司 彩¹, 宮崎雅仁¹, 香美祥二¹
 徳島大学大学院小児医学¹, 同 放射線科学²
- O-042 子どもから大人への海馬の成長過程と海馬回旋遅滞の MRI 評価**
 ○加藤俊徳¹, 吉野加容子², 岡 徳之¹
 株式会社脳の学校脳環境研究部門¹, 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程²

11:40~12:40 ランチョンセミナー 4 : 大塚製薬株式会社 / ユーシービー・ジャパン株式会社..... (S166)

The drug treatment strategy for intractable epilepsy in children

—How to manage adverse side effects associated with newer AEDs in children?—

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学小児科)

講演 Salvatore Grosso (Department of Pediatrics, Pediatric Neurology and Neuroendocrinology Unit, University of Siena, Siena, Italy)

- 14:40~15:40 筋疾患 1 (S209)
- 座長 石川幸辰 (国立病院機構八雲病院小児科)
小篠史郎 (熊本大学附属病院発達小児科)
- O-043 ウルリッヒ型先天性筋ジストロフィーの全国実態調査
○米川貴博^{1,2}, 小牧宏文¹, 齋藤貴志¹, 齋藤義朗¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 岡田麻里², 林由起子², 埜中征哉², 西野一三²
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 同 神経研究所疾研 1 部²
- O-044 福山型先天性筋ジストロフィー患者における脊柱変形に関する検討
○村上てるみ^{1,2}, 石垣景子¹, 佐藤孝俊¹, 大澤真木子¹
東京女子医科大学小児科¹, 埼玉県済生会栗橋病院小児科²
- O-045 内在核と筋原線維間網の異常を有し二峰性筋線維不均等を示す先天性ミオパチーは RYR1 変異が原因である
○石山昭彦¹, 林由起子², 小牧宏文¹, 齋藤貴志¹, 齋藤義朗¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 西野一三²
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 同 神経研究所疾研 1 部²
- O-046 Cl⁻ channel 遺伝子の異常を同定し得た先天性ミオトニアの 1 症例
○折居恒治^{1,2}, 松隈英治¹, 西村悟子³, 松尾直樹¹, 小嶋瑛美子¹, 丸田香奈子¹, 今村 淳¹
岐阜県総合医療センター¹, 折居クリニック², 岐阜県立希望が丘学園小児科³
- O-047 ヘラクレス様体型を認めた先天性パラミオトニアの 5 歳男児例
○川上領太¹, 鈴木輝彦^{1,2}, 遠藤雄策^{1,2}, 松林朋子¹, 平野浩一¹, 迫田俊一³
浜松医科大学小児科学¹, 浜松市発達医療総合福祉センター², 鹿児島大学病院神経内科³
- O-048 シクロスポリン投与によりステロイドを離脱し、皮下石灰化の改善をみた小児皮膚筋炎の 1 例
○松岡 舟, 藤原由美, 永井盛博, 桐野友子, 遠藤彰一
国立病院機構香川小児病院神経内科
- 15:40~16:30 筋疾患 2 (S211)
- 座長 舘 延忠 (札幌医科大学保健医療学部)
小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- O-049 筋ジストロフィー患者の広汎性発達障害傾向に関する調査研究 (その 1) — PARS による検討
○岩田優子¹, 柴田早紀¹, 藤野陽生¹, 齊藤利雄², 松村 剛², 井村 修¹
大阪大学大学院人間科学研究科¹, 国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科²
- O-050 筋ジストロフィー患者の広汎性発達障害傾向に関する調査研究 (その 2) — SRS による検討
○柴田早紀¹, 岩田優子¹, 藤野陽生¹, 齊藤利雄², 松村 剛², 井村 修¹
大阪大学大学院人間科学研究科¹, 国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科²
- O-051 Duchenne 型筋ジストロフィーにおける尿プロスタグランジン D2 代謝産物の排泄の増加
○中川 卓¹, 李 知子¹, 栗野宏之¹, 八木麻理子¹, 松尾雅文², 竹島泰弘¹
神戸大学大学院小児科学¹, 神戸学院大学総合リハビリテーション学部医療リハビリテーション学
科²
- O-052 Duchenne 型筋ジストロフィーにおける心筋障害への少量ステロイド療法の効果
○石垣景子, 加藤郁子, 村上てるみ, 佐藤孝俊, 梶野幸子, 齋藤 崇, 大澤真木子
東京女子医科大学小児科
- O-053 遺伝子診断された常染色体優性 Emery-Dreifuss 型筋ジストロフィーの 3 症例
○石川幸辰, 石川悠加
国立病院機構八雲病院小児科
- 19:30~21:30 第 6 回子どもの眠り研究会

第 1 日目 第 7 会場

- 9:10~10:10 English Session G (S193)
 座長 Takeo Kubota (Department of Epigenetics Medicine, School of Medicine, University of Yamanashi, Chuo, Japan)
 Mitsuhiro Kato (Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan)
- E-037 Hypothermia attenuates TNF-alpha-induced MMP-9 expression in brain microvascular endothelial cells
 ○Satoru Takahashi, Naoya Matsumoto, Akie Okayama, Nao Suzuki, Akiko Araki
 Department of Pediatrics, Asahikawa Medical University, Asahikawa, Japan
- E-038 Comparative analyses between deletion and mutation of NSD1 in Japanese patients with Sotos syndrome
 ○Naomi Hino-Fukuyo¹, Hiroaki Tomita², Kenji Kurosawa³, Nobuhiko Okamoto⁴, Naomichi Matsumoto⁵, Naohiro Kurotaki⁶, Aki Ishikawa⁷, Kazuhiro Haginoya^{1,8}, Rie Suzuki¹, Natsuko Ichinoi¹, Masako Yaoita¹, Mitsugu Uematsu¹, Yuko Satou¹, Wakaba Endou¹, Shigeo Kure¹
 Department of Pediatrics, University of Tohoku, Sendai¹, Department of Biological Psychiatry, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai², Division of Medical Genetics, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama³, Department of Medical Genetics, Osaka Medical Center and Research Institute for Maternal and Child Health, Osaka⁴, Department of Human Genetics, Yokohama City University School of Medicine, Yokohama⁵, Department of Neuropsychiatry, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Science, Nagasaki⁶, Hokkaido Medical Center of Child Health and Rehabilitation, Sapporo⁷, Department of Pediatric Neurology, Takuto Rehabilitation Center for Children, Sendai, Japan⁸
- E-039 A clinical feature with trisomy 13 providing under intensive treatment
 ○George Imataka, Keiko Tsukada, Hiroshi Suzumura, Osamu Arisaka
 Department of Pediatrics, Dokkyo Medical University School of Medicine, Tochigi, Japan
- E-040 Topography of thalamic lesions in AESD
 ○Naoko Hayashi¹, Takeshi Tsuji², Toru Kato², Ayako Umemura¹, Keitaro Yamada¹, Hirokazu Kurahashi¹, Koichi Maruyama¹, Toshiyuki Kumagai¹, Shunsuke Ogaya³, Mari Sugimoto⁴, Motomasa Suzuki⁵, Kenji Yokochi⁶, Akihisa Okumura⁷, Shinji Saitoh⁸, Jun Natsume⁹
 Department of Pediatric Neurology, Central Hospital of Aichi Welfare Center, Kasugai¹, Department of Pediatrics, Okazaki City Hospital, Okazaki², Department of Pediatrics, Toyota Kosei Hospital, Toyota³, Department of Pediatrics, Toyohashi Municipal Hospital, Toyohashi⁴, Department of Neurology, Aichi Children's Health and Medical Center, Obu⁵, Department of Pediatrics, Seirei Mikatahara General Hospital, Hamamatsu⁶, Department of Pediatrics, Juntendo University School of Medicine, Tokyo⁷, Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya⁸, Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan⁹
- E-041 The analysis of anti-phospholipid antibodies in CNS demyelinating diseases related optic neuritis
 ○Seigo Korematsu, Naho Okazaki, Chika Goto, Kazuo Okanari, Tatsuro Izumi
 Department of Pediatrics and Child Neurology, Oita University, Faculty of Medicine, Oita, Japan
- E-042 Neuropathology of LBSL caused by a novel homozygous mutation of DARS2
 ○Sumimasa Yamashita, Mizue Iai, Hitoshi Osaka
 Division of Child Neurology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan
- 10:10~11:10 新生児 (S212)
 座長 久保田哲夫 (安城更生病院小児科)
 星 詳子 (東京都医学総合研究所ヒト統合脳機能プロジェクト)
- O-054 早産児白質障害予測における, 生後 6 時間以内の amplitude-integrated EEG の定量分析
 ○加藤 徹¹, 早川文雄¹, 辻 健史¹, 夏目 淳², 奥村彰久³
 岡崎市民病院小児科¹, 名古屋大学小児科², 順天堂大学小児科・思春期科³
- O-055 低酸素性虚血性脳症と脳血流; 新生仔マウス, ラットでの検討
 ○辻 雅弘
 国立循環器病研究センター再生医療部

- O-056 脳性麻痺児における小脳萎縮の検討 その 1—未熟児**
 ○小林 悟, 阿部 裕, 涌澤圭介, 田中総一郎, 萩野谷和裕
 宮城県拓桃医療療育センター小児科
- O-057 脳性麻痺児における小脳萎縮の検討 その 2—正期産児の新生児期を含む乳児期低酸素性虚血性脳症**
 ○小林 悟, 阿部 裕, 涌澤圭介, 田中総一郎, 萩野谷和裕
 宮城県拓桃医療療育センター小児科
- O-058 地域に増加している子どもの虐待 (Child Abuse : CA)—地域の中での虐待 (CA) の現実と対応—**
 ○高橋義男¹, 白石秀明²
 大川原脳神経外科病院とまこまい脳神経外科小児脳神経外科¹, 北海道大学大学院小児科学²
- O-059 乳児院入所中の Shaken baby syndrome 13 例の検討**
 ○露崎 悠, 大石芳久, 麻生誠二郎
 日本赤十字社医療センター小児科

11:40~12:40 ランチョンセミナー 5 : 大日本住友製薬株式会社 (S167)

抗てんかん薬と妊娠：児の発達を中心に

座長 小林勝弘 (岡山大学病院小児神経科)
 講演 山磨康子 (岡山県立大学名誉教授)

14:40~15:40 自律神経・末梢神経・頭痛 (S214)

座長 今井富裕 (札幌医科大学神経内科学)
 安藤直樹 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)

- O-060 周期性嘔吐症における心拍変動を用いた自律神経機能解析**
 ○服部文子, 安藤直樹, 根岸 豊, 伊藤哲哉, 齋藤伸治
 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学
- O-061 小児精神神経疾患に関連する睡眠障害に対するラメルテオンの効果**
 ○太田さやか, 安藤亜希, 寺嶋 宙, 柏井洋文, 久保田雅也
 国立成育医療研究センター神経内科
- O-062 当科で経験した Guillain-Barré 症候群の 3 小児例**
 ○横山淳一^{1,2}, 杉山延喜², 池上真理子^{2,3}, 宮下好洋², 松田晋一²
 東海大学附属大磯病院小児科¹, 同 専門診療学系小児科学², 同 附属八王子病院小児科³
- O-063 小児慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー 5 例の臨床的検討**
 ○辻ひとみ, 川脇 壽, 堀野朝子, 井上岳司, 温井めぐみ, 岡崎 伸, 富和清隆
 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科
- O-064 SMN2 遺伝子量解析による予測よりも軽症の経過をとった脊髄性筋萎縮症患者に対するプロモーター解析**
 ○森川 悟^{1,2}, 中川 卓², 富永康仁³, 沖永剛志³, 西村範行^{1,2}, 竹島泰弘², 松尾雅文⁴, 西尾久英^{1,2}
 神戸大学大学院地域社会医学・健康科学講座疫学¹, 同 小児科学², 大阪大学大学院小児科学³,
 神戸学院大学総合リハビリテーション学部医療リハビリテーション学科⁴
- O-065 両側下腿筋の neuromyotonia を発症した小児の 1 例**
 ○小野晋康^{1,2}, 松尾宗明¹
 佐賀大学小児科¹, 嬉野医療センター小児科²

15:40~16:40 代謝変性疾患 1 (S216)

座長 児玉浩子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科)
 長尾雅悦 (国立病院機構北海道医療センター小児科・臨床研究部)

- O-066 脳性麻痺と診断されていたモリブデン補酵素欠損症の 1 例**
 ○菊池健二郎^{1,2}, 浜野晋一郎¹, 中島絵梨花¹, 菅谷ことこ¹, 松浦隆樹^{1,2}, 田中 学¹, 南谷幹之³,
 市田公美⁴, 井田博幸²
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科学², 埼玉県立小児医療センター保
 健発達部³, 東京薬科大学薬学部病態生理学⁴
- O-067 全国調査からみた神経型・肝神経型 Wilson 病の治療に関する検討**
 ○清水教一, 井上美沙子, 小川絢子, 青木継稔
 東邦大学医療センター大橋病院小児科

- O-068 Pelizaeus-Merzbacher 病の診断におけるピットフォール**
○松岡剛司, 吉年俊文, 須貝みさき, 大府正治
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科
- O-069 次世代シーケンサーを用いたトリオサンプルのエクソーム解析による原因不明 Pelizaeus-Merzbacher 病患者の診断**
○山本俊至¹, 下島圭子¹, 島田姿野^{1,2}, 近藤章子³, 赤星進二郎⁴
東京女子医科大学統合医科学研究所¹, 同 小児科², 鳥取大学脳神経小児科³, 国立病院機構鳥取医療センター⁴
- O-070 家族歴に Menkes 病を認める新生児 3 例の臨床像の検討**
○八木麻理子¹, 李 知子¹, 粟野宏之¹, 森岡一郎¹, 児玉浩子², 竹島泰弘¹
神戸大学大学院小児科学¹, 帝京平成大学健康メデイカル学部健康栄養学科²
- O-071 annexin II によるコケイン症候群での紫外線高感受性軽減化機構の解析**
○杉田克生¹, 喜多和子², 杉田記代子³, 小俣 卓⁴, 久保田雅也⁵
千葉大学教育学部基礎医科学¹, 同 大学院環境影響生化学², 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科³, 千葉県子ども病院神経科⁴, 国立成育医療研究センター神経内科⁵

第1日目 ポスター 第1会場

- 17:00~18:40 てんかん, けいれん 1 (S281)
 座長 香坂 忍 (北海道大学病院小児科)
 伊藤智城 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)
- P-001 皮質下帯状異所性灰白質に伴う転倒発作に対し脳梁離断術が著効した1幼児例
 ○小林良行, 藤井裕士, 石川暢恒
 広島大学大学院小児科学
- P-002 Dravet 症候群のモデルマウスにおける発熱誘発発作に対するスティリペントールの抑制効果
 ○大谷英之¹, 操 徳智¹, 荻原郁夫², 大谷早苗¹, 高橋幸利¹, 山川和弘², 井上有史¹
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター¹, 理化学研究所脳科学総合研究センター神経遺伝研究チーム²
- P-003 Late-onset spasms と考えられた1例
 ○池上弓子, 宮田世羽, 朝倉誉子, 島崎真希子, 小松祐美子, 中村由紀子, 岡 明
 杏林大学小児科学
- P-004 難治性てんかんの原因が15番染色体長腕部分テトラソミーであった3例
 ○平野嘉子, 小国弘量, 永木 茂, 斉藤加代子, 大澤真木子
 東京女子医科大学小児科
- P-005 心静止を伴う重症息止め発作にレベチラセタムが著効した1例
 ○阪上智俊, 千代延友裕, 森田高史, 諸戸雅治, 吉田路子, 森岡茂己, 徳田幸子, 西村 陽, 森本昌史
 京都府立医科大学小児科
- P-006 Sleep-related hyperkinetic seizure を来した側頭葉てんかんの2手術例
 ○田村健太郎¹, 吉岡誠一郎²
 奈良県立医科大学脳神経外科¹, 滋賀医科大学小児科²
- P-007 間欠期の脳波異常がローランド波へと変化した局在関連性てんかん症例のまとめ
 ○大矢崇志, 澁谷郁彦, 永光信一郎, 山下裕史朗, 松石豊次郎
 久留米大学小児科
- P-008 片側大脳の広範性形成異常に外科的治療を行った難治てんかんの乳児例
 ○伊勢由佳子¹, 吉岡誠一郎¹, 龍神布紀子¹, 坂上由子¹, 高野知行¹, 竹内義博¹, 田村健太郎², 榊原崇文³
 滋賀医科大学小児科¹, 奈良県立医科大学脳神経外科², 同 小児科³
- P-009 市中病院におけるてんかん診療についての検討
 ○佐藤睦美¹, 渡辺好宏^{1,2}, 大津真優¹, 武下草生子², 甲斐純夫¹
 済生会横浜市南部病院小児科¹, 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター²
- P-010 ケトン食治療中に水溶性ビタミンは不足するか: 食事摂取量と尿中排泄量による検討
 ○日衛嶋郁子¹, 熊田知浩¹, 柴田克己², 福渡 努², 佐野光枝², 林 安里¹, 野崎章仁¹, 齋藤景子¹, 宮嶋智子¹, 藤井達哉¹
 滋賀県立小児保健医療センター小児科¹, 滋賀県立大学人間文化学部²
- P-011 無呼吸で発症し発作時脳波によって診断した乳幼児の良性複雑部分てんかんの3症例
 ○井口牧子, 毎原敏郎, 松本貴子, 河勝千鶴
 兵庫県立塚口病院小児科
- P-012 著明なアシドーシスをきたした非けいれん性てんかん発作重積
 ○坂口友理¹, 後藤知英², 安蔵 慎¹, 高橋孝雄³
 川崎市立川崎病院小児科¹, 東京都立小児総合医療センター神経内科², 慶應義塾大学小児科³
- P-013 片側巨脳症の臨床特性と長期予後: ACTH/Zn 療法を介しない早期手術の有用性
 ○島田祐美, 岡成和夫, 泉 達郎
 大分大学小児科
- P-014 バルプロ酸投与中の女性てんかん患者にみられた多嚢胞性卵巣症候群の特徴と対応について
 ○皆川公夫, 渡邊年秀, 大柳玲嬉
 北海道立子ども総合医療・療育センター小児神経科
- P-015 けいれん重積を契機に発症した海綿状血管腫の乳児例
 ○大川優子, 城谷吾郎, 二之宮信也, 井原由紀子, 井手口博, 安元佐和, 廣瀬伸一
 福岡大学小児科

- P-016 18 トリソミーにおける脳波所見の検討
○植田恵介, 後藤知英, 富田 直, 三山佐保子
東京都立小児総合医療センター神経内科
- P-017 ラモトリギンに関連した一過性赤芽球癆
○柿沼宏明, 中村美樹
千葉市桜木園
- P-018 新規抗てんかん薬レベチラセタムの使用経験—有効性と有害事象について
○橋本俊顕, 島川清司, 浜田茂明
徳島赤十字ひのみね総合療育センター小児科部
- P-019 Down 症候群に合併した症候性 West 症候群の検討
○西川愛子, 小国弘量, 平野嘉子, 岸 崇之, 塩田睦記, 石垣景子, 伊藤 康, 今井 薫, 舟塚 真, 永木 茂, 大澤真木子
東京女子医科大学病院小児科
- P-020 当院に入院した軽症下痢に伴う良性けいれんの検討
○スピヤント ケイジ, Pinfii Chong, 立岡祐司, 緒方怜奈, 権藤健二郎
福岡市立こども病院小児神経科
- P-021 新生児期より難治性けいれんを繰り返し, *CDKL5* 遺伝子変異を認めた 1 歳男児例
○五十嵐加弥乃^{1,2,3}, 佐々木彰¹, 梶野真弓¹, 白井 勝¹, 沖 潤一¹, 古谷曜子², 白井大介³, 今井克美³
旭川厚生病院小児科¹, 旭川医科大学小児科², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター³
- P-022 当院で憤怒けいれんと診断された症例の検討
○緒方怜奈, Pinfii Chong, 立岡祐司, スピヤント ケイジ, 権藤健二郎
福岡市立こども病院小児神経科
- P-023 QT 延長症候群にてんかんを併発し, バルプロ酸でコントロール良好であった 12 歳男児例
○池原 甫, 奥村恵子, 津留智彦
国保松戸市立病院小児医療センター小児科
- P-024 前頭葉てんかんにみられた全般性棘徐波複合バースト
○仁紙宏之, 岩田あや
西神戸医療センター小児科
- P-025 短期間に大幅な脳波変化をきたし, 発作型が変容したスタージウェーバー症候群の 1 例
○渡邊年秀, 大柳玲嬉, 皆川公夫
北海道立子ども総合医療・療育センター小児神経科
- P-026 当科の小児難治性てんかんに対する外科手術の検討
○澁谷郁彦, 大矢崇志, 永光信一郎, 山下裕史朗, 松石豊次郎
久留米大学小児科学
- P-027 異なる表現型を呈した GLUT-1 欠損症候群の母子例
○伊藤 康¹, 平野嘉子^{1,2}, 小国弘量¹, 佐原真澄¹, 高橋 悟³, 大澤真木子¹
東京女子医科大学小児科¹, 松戸クリニック², 旭川医科大学小児科³
- P-028 レベチラセタムの 1 年間の使用経験: 脳波上 continuous spike-waves during slow wave sleep を呈するてんかんに対する有効性について
○難波正則¹, 西田智子², 山本真由美³, 伊地知園子⁴, 小西行彦⁴, 伊藤 進⁴
かがわ総合リハビリテーション病院小児科¹, 香川大学教育学部特別支援教育学科², 小豆島町立内海病院小児科³, 香川大学小児科⁴
- P-029 Levetiracetam が有効だった Dravet 症候群の 2 例
○平田佑子¹, 浜野晋一郎², 折津友隆¹, 松浦隆樹^{1,2}, 井田博幸¹
東京慈恵会医科大学小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²
- P-030 ACTH 療法中にゾニサミドを併用し急性腎後性腎不全を来した難治てんかんの 1 例
○石井和嘉子, 岡 牧郎, 東田好広, 大塚頌子
岡山大学病院小児神経科
- P-031 けいれん重積に対するフェノバルビタール大量療法後維持療法中に発生した薬疹の病態
○北村太郎¹, 西尾利之¹, 高柳 勝¹, 山本克哉², 大浦敏博¹
仙台市立病院小児科¹, 南光台やまもと小児科²
- P-032 Levetiracetam が有効であった乳児移動性部分発作 (MPSI) の 1 例
○平山良道¹, 大府正治²
那覇市立病院小児科¹, 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科²

- P-033 心因性非てんかん性発作を呈した症候性てんかん患者の臨床的特徴**
 ○沖永剛志¹, 新寶理子¹, 中野さやか¹, 東 純司¹, 岩谷祥子¹, 木村志保子¹, 富永康仁^{1,2}, 下野九理子^{1,2}, 永井利三郎^{1,3}, 大藪恵一¹
 大阪大学大学院小児科学¹, 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所², 大阪大学大学院生命育成看護科学³

第 1 日目 ポスター 第 2 会場

- 17:00~18:40 発達障害一般/発達..... (S292)
 座長 伊藤淳一 (太陽の園発達診療相談室)
 縄手 満 (KKR 札幌医療センター小児科)
- P-034 自閉症剖検脳の前頭葉における造血器型プロスタグランジン D 合成酵素の発現—自閉症の病態における神経炎症の関与—**
 ○橘 雅弥^{1,2}, 毛利育子^{1,2,3}, 下野九理子^{1,3}, 大藪恵一¹, 谷池雅子^{1,2,3}
 大阪大学小児科¹, 同 子どものこころの分子統御機構研究センター², 同 連合小児発達学研究所³
- P-035 彎曲肢異形成症長期生存例の臨床的特徴と発達予後**
 ○苛原 香¹, 小沢 浩², 佐々木香織³, 大瀧 潮¹, 石塚丈広¹, 有本 潔¹, 木実谷哲史¹
 島田療育センター小児科¹, 同 はちおうじ小児科², 東京都立多摩療育園小児科³
- P-036 幼児期に言語発達遅滞を認めた小児の就学時の診断について**
 ○満田直美, 細川卓利, 久川浩章, 藤枝幹也, 脇口 宏
 高知大学小児思春期医学
- P-037 自閉症患児における, 新奇物への適応と固定観念の打破, 典型的行動のインバランスについての検討と脳機能ネットワークからの考察**
 ○涌澤圭介^{1,2}, 横山浩之³, 奈良千恵子⁴, 久保田由紀⁴, 呉 繁夫⁴, 富沢弥生⁵, 廣瀬三恵子⁶
 宮城県拓桃医療療育センター小児科¹, 東北大学加齢医学研究所脳機能開発研究分野², 山形大学看護学科臨床看護学³, 東北大学病院小児病態学⁴, 東北福祉大学健康科学部保健看護学科⁵, 函館五稜郭病院小児科⁶
- P-038 発達障害児と鉄代謝についての研究**
 ○岩垂喜貴
 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科
- P-039 小中学生の高機能広汎性発達障害における社会適応度に関連する要因の検討**
 ○末田慶太郎, 山崎 透
 静岡県立こども病院こころの診療科
- P-040 不適切な養育 (maltreatment) により自閉症様の行動異常を呈した 3 症例**
 ○久保田由紀¹, 奈良千恵子¹, 福與なおみ¹, 植松 貢¹, 涌澤圭介², 横山浩之³, 呉 繁夫¹
 東北大学小児科¹, 宮城県拓桃医療療育センター小児科², 山形大学看護学科³
- P-041 頭部 MRI で asphyxia 所見を認めた正常産児の予後の検討**
 ○竹下暁子^{1,2}, 平澤恭子^{1,2}, 楠田 聡², 大澤真木子¹
 東京女子医科大学小児科¹, 同 母子総合医療センター NICU 部門²
- P-042 不登校と発達障害に関する検討**
 ○鈴木菜生, 岡山亜貴恵, 松本直也, 荒木章子, 高橋 悟, 東 寛
 旭川医科大学小児科
- P-043 鳥取大学医学部脳神経小児科における AD/HD 患者の後方視的研究—脳波について—**
 ○中村裕子^{1,2}, 松尾理沙¹, 白井謙太郎¹, 近藤章子¹, 前垣義弘¹, 大野耕策¹
 鳥取大学脳神経小児科¹, 鳥取県立中央病院小児科²
- P-044 頭蓋内出血を合併した胆道閉鎖症患者における, 肝移植後の神経学的予後**
 ○寺嶋 宙¹, 安藤亜希¹, 太田さやか¹, 柏井洋文¹, 久保田雅也¹, 笠原群生²
 国立成育医療研究センター神経内科¹, 同 移植外科²
- P-045 ドパミン少量療法と SST によりコミュニケーション能力が著明改善した自閉性障害の 1 女児例**
 ○新井幸佳¹, 星野恭子²
 国立病院機構南和歌山医療センターこころの相談室¹, 同 小児科²

- P-046 Chiari 1 型奇形を合併した自閉症スペクトラムの 2 症例**
 ○松藤博紀^{1,2}, 伊住浩史¹, 石川尚子¹, 杉尾嘉嗣¹
 鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科¹, 光市立光総合病院小児科²
- P-047 H 市保育園における気になる子どもの実態調査**
 ○大歳太郎¹, 高田 哲²
 関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科¹, 神戸大学大学院保健学研究科²
- P-048 Aripiprazol (ARP) 臨床研究 (第 1 報): 小児・青年期の広汎性発達障害 (PDD) 児の易興奮性に対する ARP の効果**
 ○平谷美智夫¹, ハッ賀千穂², 石飛 信³, 川谷正男³, 友田明美²
 平谷子ども発達クリニック¹, 福井大学子どものこころの発達研究センター², 同 神経科精神科³
- P-049 Aripiprazol 臨床研究 (第 2 報): 広汎性発達障害 (PDD) 児の薬物療法における risperidone から aripiprazol への変更**
 ○ハッ賀千穂¹, 平谷美智夫², 石飛 信³, 川谷正男³, 友田明美¹
 福井大学子どものこころの発達研究センター¹, 平谷子ども発達クリニック², 福井大学神経科精神科³
- P-050 アトモキセチンで攻撃性の悪化を認めた広汎性発達障害の 1 例**
 ○永沢佳純
 千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科
- P-051 自閉症への BAT 療法 (Bio-Active Therapy) の有効性について (第 2 報)**
 ○高橋博樹, 谷美智士
 タニクリニック
- P-052 当院における発達障害児の薬物療法の現状**
 ○赤堀史絵, 田中政幸
 国立病院機構滋賀病院小児科
- P-053 OROS-MPH から ATX に変更した AD/HD 34 例の検討—寛解を難しくしている要因—**
 ○奈良千恵子¹, 横山浩之², 久保田由紀¹, 涌澤圭介³, 植松 貢¹, 呉 繁夫¹
 東北大学小児科¹, 山形大学看護学科臨床看護学², 宮城県拓桃医療療育センター³
- P-054 自閉症スペクトラム児の易興奮性に対するアリピプラゾールの有用性と安全性—とくに短期的効果について**
 ○上村孝則
 上越総合病院小児科
- P-055 東日本大震災に対する発達障害児の反応—東京の小児神経外来での観察**
 ○中村由紀子, 島崎真希子, 宮田世羽, 小松祐美子, 三輪真美, 岡 明
 杏林大学小児科
- P-056 「子どもの特性」と「親と子の関係性」の二軸でとらえた 5 歳児健診の試み**
 ○牛田美幸
 国立病院機構香川小児病院児童心療内科
- P-057 Developmental Coordination Disorder Questionnaire (DCDQ) 日本語版による高機能広汎性発達障害男児の協調運動機能評価**
 ○宮地泰士¹, 中井昭夫²
 名古屋市あけぼの学園¹, 福井大学子どものこころの発達研究センター²
- P-058 両側難聴児と広汎性発達障害児における視覚優位についての検討—WISC-III プロフィール分析項目を用いて—**
 ○井坂雅子, 吉岡三恵子
 神戸市総合療育センター小児神経科
- P-059 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科における AD/HD 患者について (1)**
 ○松尾理沙^{1,2}, 中村裕子², 白井謙太郎², 近藤章子², 井上雅彦¹, 前垣義弘², 大野耕策²
 鳥取大学大学院臨床心理学¹, 同 附属病院脳神経小児科²
- P-060 アトモキセチン, 徐放型メチルフェニデート, リスペリドン内服の児におけるてんかん発作への影響**
 ○鈴木輝彦, 遠藤雄策
 浜松市発達医療総合福祉センター小児科
- P-061 自閉性障害, ADHD におけるドパミン少量療法 (0.5 mg/kg) の多動・言語機能に対する効果**
 ○星野恭子
 国立病院機構南和歌山医療センター小児科

- P-062** 注意欠陥／多動性障害の幼児期経過—学齢期 AD/HD 治療薬使用例の後方視的検討—
 ○今枝正行^{1,2}, 舟橋吉美¹, 宮地泰士³, 齋藤伸治²
 名古屋市北部地域療育センター小児科¹, 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学², 名古屋市あけ
 ぼの学園³
- P-063** てんかん発作で入院したため、メチルフェニデートによる二段脈が頻発していることが判明した AD/HD
 の 1 例
 ○瀧沢裕司¹, 小林 治²
 国立病院機構西埼玉中央病院小児科¹, 新所沢キッズクリニック²
- P-064** P/Q 型電位依存性カルシウムチャネル変異に伴う発達障害
 ○大内田守¹, 大守伊織²
 岡山大学大学院分子遺伝学¹, 同 細胞生理学²
- P-065** Atomoxetine を投与した AD/HD 児における CPT 下での前頭前皮質 Oxy-Hb 変化の検討
 —近赤外線分光法を用いて—
 ○荒木章子¹, 池上将永², 岡山亜貴恵¹, 鈴木菜生¹, 松本直也¹, 高橋 悟¹, 東 寛¹, 高橋雅治²
 旭川医科大学小児科¹, 同 心理学²

第 1 日目 ポスター 第 3 会場

- 17:00~18:40 急性脳炎・脳症 (S302)
 座長 雨宮 聡 (あまみや小児科医院)
 松本直也 (旭川医科大学小児科)
- P-066** 深部灰白質の両側対称性病変を伴う腸管出血性大腸菌 (EHEC) 脳症
 ○中川裕康¹, 八木信一², 水口 雅³
 富山市民病院小児科¹, 八木小児科医院², 東京大学大学院発達医科学³
- P-067** 血漿交換療法が奏功した自己免疫性辺縁系脳炎
 ○内山弘基¹, 鈴木輝彦¹, 松林朋子¹, 平野浩一¹, 高橋幸利²
 浜松医科大学小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-068** 急性脳炎・脳症およびけいれん性疾患における髄液 S100β, NSE, 総 Tau 蛋白, GFAP
 ○小一原玲子^{1,3}, 浜野晋一郎¹, 田中 学¹, 菊池健二郎¹, 松浦隆樹¹, 菅谷ことこ¹, 南谷幹之²
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 同 保健発達部², 秩父市立病院小児科³
- P-069** 抗生物質長期投与による低血糖脳症で後遺症を残した 1 例
 ○梶本まどか¹, 松重武志¹, 山田健治², 山口清次², 市山高志¹
 山口大学大学院小児科学¹, 島根大学小児科²
- P-070** 経過中に血球貪食症候群をきたした抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例
 ○橋本祐至¹, 鈴木敏洋¹, 安齋 聡¹, 高橋幸利²
 千葉市立海浜病院小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-071** アデノウイルス 3 型の中枢神経感染が疑われた突然死症例
 ○西倉紀子¹, 吉岡誠一郎², 河島尚志³
 済生会滋賀県病院小児科¹, 滋賀医科大学小児科², 東京医科大学小児科³
- P-072** posterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) 6 例の臨床的検討
 ○大串栄彦, 松尾宗明
 佐賀大学小児科
- P-073** 当院で経験した非ヘルペス辺縁系脳炎 3 例の臨床的検討
 ○宇野奈菜子^{1,2}, 里 龍晴¹, 井上大嗣¹, 吉村未央¹, 藤井明子¹, 橋本邦生¹, 松尾光弘², 高橋幸利³,
 森内浩幸¹
 長崎大学病院小児科¹, 佐世保市立佐世保総合病院小児科², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療
 センター小児科³
- P-074** 免疫組織化学的染色を施行した抗 NMDAR 抗体脳炎の 2 歳男児例
 ○坂口陽子¹, 久保田哲夫¹, 深沢達也¹, 根来民子², 林 雅晴³
 安城更生病院小児科¹, 名古屋大学小児科², 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究³
- P-075** 急激な臨床経過をとった Epstein-Barr ウイルス (EBV) 脳炎の 1 例
 ○吉村未央^{1,2}, 里 龍晴¹, 井上大嗣¹, 宇野奈菜子¹, 藤井明子¹, 橋本邦生¹, 森内浩幸¹
 長崎大学病院小児科¹, 健康保険諫早総合病院²

- P-076 5 歳から 9 歳にかけて計 3 回の急性脳炎・脳症を繰り返した男児例**
 ○今井朝彦¹, 松下浩子¹, 岡野創造¹, 早川克己², 吉田昌子³, 高橋幸利⁴
 京都市立病院小児科¹, 同 放射線科², ジョンズ・ホプキンス大学放射線科³, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科⁴
- P-077 川崎病初期に発症した MERS における SPECT 所見についての検討**
 ○里 龍晴, 宇野奈菜子, 井上大嗣, 森内浩幸
 長崎大学病院小児科
- P-078 両側水腎尿管症の男児に発症した高アンモニア血性脳症: アンモニアの発生源としての停滞尿の役割の考察**
 ○原口康平^{1,2}, 里 龍晴¹, 井上大嗣¹, 森内浩幸¹
 長崎大学病院小児科¹, 佐世保市立佐世保総合病院小児科²
- P-079 急性脳症後のてんかんについての検討**
 ○安部信平¹, 奥村彰久¹, 五十嵐鮎子², 細澤麻里子¹, 北村裕梨¹, 池野 充¹, 齋藤雅子¹, 中澤友幸³, 清水俊明¹
 順天堂大学小児科¹, 順天堂練馬病院小児科², 順天堂浦安病院小児科³
- P-080 歩行障害, 不随意運動で発症し, 解離性障害と鑑別を要した辺縁系脳炎の 1 例**
 ○黒川大輔¹, 高見勇一¹, 伴 紘文¹, 高橋幸利²
 姫路赤十字病院小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-081 急性脳症を合併した川崎病の 1 例**
 ○佐藤未織, 小宅奈津子, 直井高歩, 森山伸子
 日立製作所ひたちなか総合病院小児科
- P-082 自己免疫性脳炎の 1 女児例における頭部画像所見の変化について**
 ○池本 智¹, 菊池健二郎^{1,2}, 菅谷ことこ^{1,2}, 松浦隆樹^{1,2}, 折津友隆¹, 高橋幸利³, 浜野晋一郎², 井田博幸¹
 東京慈恵会医科大学小児科学¹, 埼玉県立小児医療センター神経科², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター臨床研究部³
- P-083 けいれんと不随意運動にフェノバルビタールが著効した非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の 1 例**
 ○石渡久子¹, 玉木久光¹, 伊藤昌弘¹, 高橋幸利²
 東京都立墨東病院小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-084 急性壊死性脳症における遺伝的素因**
 ○星野 愛¹, 齋藤真木子¹, 篠原麻由¹, 長嶋雅子², 吉田健司³, 加藤竹雄³, 豊島光雄⁴, 李 守永⁵, 水口 雅¹
 東京大学大学院発達医科学¹, 自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科², 京都大学小児科³, 鹿児島大学小児科⁴, 九州大学小児科⁵
- P-085 抗 NMDA 受容体脳炎の 2 歳女児例**
 ○丸田香奈子¹, 松尾直樹¹, 今村 淳¹, 高橋幸利²
 岐阜県総合医療センター小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-086 ステロイドパルス療法とタクロリムス内服療法を施行した Rasmussen 症候群 2 例の長期効果**
 ○東 純史¹, 中野さやか¹, 新寶理子¹, 岩谷祥子¹, 富永康仁^{1,2}, 木村志保子¹, 下野九理子^{1,2}, 永井利三郎¹, 大藪恵一¹
 大阪大学大学院小児科学¹, 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所²
- P-087 片麻痺を呈したけいれん重積型急性脳症の 2 例**
 ○白神浩史
 国立病院機構岡山医療センター
- P-088 亜急性期に画像所見を呈した抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例**
 ○鈴木敏洋¹, 橋本祐至¹, 安齋 聡¹, 高橋幸利²
 千葉市立海浜病院小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-089 急性脳症における SCN1A 遺伝子解析**
 ○齋藤真木子¹, 篠原麻由¹, 星野英紀², 久保田雅也², 雨宮 馨³, 高梨潤一⁴, 黄 壽卿⁵, 廣瀬伸一⁵
 東京大学大学院発達医科学¹, 国立成育医療研究センター神経内科², 島田療育センターはちおうじ³, 亀田メディカルセンター小児科⁴, 福岡大学小児科⁵
- P-090 ノロウイルス胃腸炎に関連した小脳炎・脳症の 2 症例**
 ○山口克彦^{1,2}, 田角 勝², 板橋家頭夫²
 町田市民病院小児科¹, 昭和大学小児科²

- P-091** 発症 1 年で急速に回復した腫瘍未同定の抗 NMDA 受容体抗体脳炎の 13 歳女児例
○足立昌夫¹, 大西伸悟², 親里嘉展¹, 西山敦史¹
加古川西市民病院小児科¹, 同 リハビリテーション科²
- P-092** 突発性発疹に伴う中枢神経症状の初期臨床像に関する検討
○村上貴孝
中野こども病院
- P-093** 頭部 MRI で可逆性の脳梁膨大部・白質病変を認めた軸索型 Guillain-Barré 症候群 (GBS) の 1 例
○池田 妙, 松本文博, 平田郁子, 鳥邊泰久, 柳原恵子, 真野利之, 鈴木保宏
大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科
- P-094** 卵巣奇形腫摘出後も回復までに長期間要している抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例
○相場佳織, 大下裕法, 杉本真里, 加藤大典, 小山典久, 横地健治
豊橋市民病院小児科
- P-095** 転換性障害との鑑別に苦慮した非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の 1 例
○釜笠桂子¹, 澤浦法子¹, 高橋幸利², 荒川浩一¹
群馬大学附属病院小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-096** 6 歳で発症した二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症症例の回復過程
○小出彩香¹, 荒熊智宏¹, 後藤知英¹, 和田勇治², 桜井優子³, 富田 直¹, 三山佐保子¹
東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 同 リハビリテーション科², 同 育成科³
- P-097** 当院で経験した水痘脳症の 1 例
○利川寛実¹, 島川修一², 野村昇平², 福井美保², 柏木 充³, 田辺卓也⁴, 玉井 浩²
大阪府済生会吹田病院小児科¹, 大阪医科大学附属病院小児科², 市立枚方市民病院小児科³, 田辺・門林こどもクリニック小児神経内科⁴
- P-098** Bickerstaff 型脳幹脳炎非典型例の女児例
○櫻井隼人, 阿部裕一, 山内秀雄
埼玉医科大学病院小児科

第 1 日目 ポスター 第 4 会場

- 17:00~18:40 代謝変性疾患/形態, 病理/不随意運動, 基底核 (S313)
座長 水上 晋 (函館中央病院小児科)
大越優美 (東京都立東部療育センター小児科)
- P-099** 新たな遺伝子変異を認めたモリブデン補酵素欠損症の 1 例
○荒熊智宏¹, 吉橋博史², 三山佐保子¹, 熊田聡子³, 南 勇樹⁴, 伊藤哲哉⁵, 篠原佳彦⁶, 市田公美⁶
東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 同 臨床遺伝科², 東京都立神経病院神経小児科³, 長野赤十字病院地域周産期母子医療センター⁴, 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学⁵, 東京薬科大学薬学部病理生理学⁶
- P-100** ミトコンドリア遺伝子変異 m.3236A>G at tRNA (Leu) を認めた 1 男児例
○奥主朋子^{1,2}, 藤井克則¹, 須山麻衣子¹, 水落弘美¹, 内川英紀¹, 森 雅人^{2,3}, 大竹 明², 高木敦子¹, 塩浜 直¹, 河野陽一¹
千葉大学大学院小児病態学¹, 埼玉医科大学小児科², 自治医科大学小児科³
- P-101** 酵素補充開始後 3 年経過した Fabry 病の小児兄弟
○加藤大典, 小山典久
豊橋市民病院小児科
- P-102** イオン飲料の多飲によるビタミン B1 欠乏から Wernicke 脳症を発症した 2 例
○平木彰佳, 菊地正広
日立製作所日立総合病院小児科
- P-103** 軽症型 Pelizaeus-Merzbacher 病の分子病態: 患者の皮膚由来の線維芽細胞, iPSC 細胞による病態解析
○沼田有里佳^{1,2}, 涌澤圭介³, 植松 貢², 大沼 晃⁴, 後藤雄一¹, 井上 健¹
国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研 2 部¹, 東北大学大学院小児病態学², 宮城県拓桃医療療育センター小児科³, 重症心身障害児施設エコー療育園⁴
- P-104** 出生後より持続脳波モニタリングを行い subclinical seizure をとらえた低フォスファターゼ症の 2 例
○渡部功之, 今高城治, 栗林良多, 有阪 治
獨協医科大学小児科

- P-105 遺伝子変異が確定した Pelizaeus-Merzbacher 病の剖検例**
 ○中澤美賀^{1,2}, 奥村彰久², 池野 充², 清水俊明², 今井由生³, 下島圭子⁴, 山本俊至⁴, 村山繁雄⁵, 林 雅晴⁶
 東京都保健医療公社豊島病院小児科¹, 順天堂大学小児科², 日本大学小児科³, 東京女子医科大学統合医学研究所⁴, 東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンク⁵, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究⁶
- P-106 小児期 Fabry 病に対する酵素補充療法の有効性**
 ○磯部菜摘, 石崎義人, 鳥巢浩幸, 實藤雅文, 原 寿郎
 九州大学病院小児科
- P-107 呼吸障害に対して非侵襲的陽圧換気療法が有効であった新規 PLP1 遺伝子変異による Pelizaeus-Merzbacher 病の 1 例**
 ○松井秀司¹, 難波由喜子¹, 奈須康子¹, 松田光展¹, 牧野道子¹, 和田恵子¹, 赤星恵子¹, 椎木俊秀¹, 舟橋満寿子¹, 鈴木康之¹, 小坂 仁²
 東京小児療育病院小児科¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科²
- P-108 進行性骨溶解を認めた酸性セラミダーゼ欠損症の 1 例**
 ○米衛ちひろ¹, 豊島光雄¹, 濱田悠介², 酒井規夫², 河野嘉文¹
 鹿児島大学小児科¹, 大阪大学大学院小児科学²
- P-109 難治性の非定型欠神発作を主症状とした glucose transporter-1 異常症の 2 例**
 ○新寶理子¹, 中野さやか¹, 東 純史¹, 岩谷祥子¹, 富永康仁^{1,2}, 木村志保子¹, 下野九理子^{1,2}, 沖永剛志¹, 永井利三郎³, 大菌恵一¹
 大阪大学大学院小児科学¹, 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所², 大阪大学大学院生命育成看護科学³
- P-110 新生児マススクリーニングを契機に診断された本邦初の GTPCH 欠損症の臨床経過**
 ○遠藤若葉, 植松 貢, 小林朋子, 中山東城, 坂本 修, 呉 繁夫
 東北大学病院小児科
- P-111 毛細血管拡張性運動失調症の神経症状に対する少量ベタメタゾン療法**
 ○金子節子¹, 熊田聡子², 中島啓介¹, 保立麻美子¹, 笠井恵美², 菅原祐之¹, 長谷川毅³, 林 雅晴⁴
 東京医科歯科大学小児科¹, 東京都立神経病院神経小児科², 草加市立病院小児科³, 東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト⁴
- P-112 神経サルコイドーシスと考えられた 1 例**
 ○吉原尚子¹, 和田敬仁¹, 奥田美津子¹, 高野亨子¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 相田典子², 伊藤 進³, 小坂 仁¹
 神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 同 放射線科², 同 脳神経外科³
- P-113 レット症候群モデルマウス (MeCP2 ノックアウトマウス) における体性感覚野 (バレル野) の観察**
 ○諸戸雅治¹, 西村 陽^{1,2}, 磯田賢一³, 森田高史¹, 吉田路子¹, 森岡茂己¹, 千代延友裕¹, 森本昌史¹
 京都府立医科大学大学院小児発達医学¹, 京都府立与謝の海病院小児科², 市立福知山市民病院小児科³
- P-114 呼吸不全に対して気管切開を施行し救命しえたムコ多糖 IVA 型の 1 例**
 ○春日彩季, 澤田 智, 田中あけみ, 新宅治夫
 大阪市立大学大学院発達小児医学
- P-115 乳幼児期に一過性の Refsum 病様の経過を示した 1 男児例**
 ○福田智文¹, 下野昌幸¹, 石井雅宏¹, 千手絢子¹, 塩田直樹², 楠原浩一¹
 産業医科大学小児科¹, 宇部興産株式会社健康管理センター²
- P-116 Wernicke 脳症様の画像を呈した Leigh 脳症の 1 例**
 ○三宅美由¹, 和田敬仁¹, 奥田美津子¹, 高野亨子¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 相田典子², 小坂 仁¹
 神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 同 放射線科²
- P-117 当科におけるトゥレット症候群 21 例の治療と臨床経過**
 ○井原由紀子, 二之宮信也, 友納優子, 藤田貴子, 井手口博, 井上貴仁, 安元佐和, 廣瀬伸一
 福岡大学小児科
- P-118 突発性発疹関連脳症を呈した 4-Hidroキシ酪酸尿症 (SSADH 欠損症) の女児例**
 ○大萱俊介¹, 梶田光春¹, 竹内智哉², 夏目 淳², 廣瀬伸一³
 JA 愛知厚生連豊田厚生病院小児科¹, 名古屋大学大学院小児科学², 福岡大学小児科³
- P-119 睡眠関連律動性運動を呈する 8 歳男児の睡眠ポリグラフ**
 ○加藤久美
 太田睡眠科学センター

- P-120 潜在的なビタミン B1 (VitB1) 欠乏症について**
 —ウエルニッケ脳症をはじめとする VitB1 欠乏症の経験をふまえて—
 ○東川幸嗣¹, 田中啓子¹, 柴田克己², 玉井 浩³
 清恵会病院小児科¹, 滋賀県立大学人間文化学部生活栄養学科², 大阪医科大学小児科³
- P-121 小児神経学専門医に対する Pantothenate kinase-associated neurodegeneration (PKAN) 関連疾患の実態調査**
 ○舟塚 真, 伊藤 康, 塩田陸記, 大澤真木子
 東京女子医科大学小児科
- P-122 ミトコンドリア呼吸鎖異常症呼吸鎖 4 欠損症の 1 例**
 ○松林朋子¹, 鈴木輝彦¹, 遠藤雄策^{1,2}, 平野浩一¹, 村山 圭³, 大竹 明⁴
 浜松医科大学小児科¹, 浜松市発達医療総合福祉センター², 千葉県こども病院代謝科³, 埼玉医科大学小児科⁴
- P-123 AADC 欠損症患者の唾液中メラトニン濃度測定**
 ○井手秀平¹, 西條晴美², 加藤光広³, 大越優美¹, 益山龍雄¹, 岩崎裕治¹, 有馬正高¹
 東京都立東部療育センター¹, 東京都立東大和療育センター², 山形大学小児科³
- P-124 PLP 遺伝子の重複と ABCD1 遺伝子変異を持つ Pelizaeus-Merzbacher Disease の 1 例**
 ○永光信一郎¹, 渡辺順子¹, 芳野 信¹, 澁谷郁彦¹, 大矢崇志¹, 山下裕史朗¹, 岩城明子², 黒澤健司³, 小坂 仁⁴, 下澤伸行⁵, 松石豊次郎¹
 久留米大学小児科¹, 九州大学生体防御医学研究所遺伝情報実験センターゲノム機能学², 神奈川県立こども医療センター遺伝科³, 同 神経内科⁴, 岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野⁵
- P-125 呼吸鎖酵素活性の測定により診断し得た難聴, 白内障から始まり, 精神運動退行を呈したミトコンドリア呼吸鎖異常症の 1 例**
 ○大見 剛¹, 玉城邦人², 平安京美¹, 大城 聡¹, 仲田行克¹, 村山 圭³, 大竹 明⁴
 沖縄整肢療護園小児科¹, 琉球大学小児科², 千葉県こども病院代謝科³, 埼玉医科大学小児科⁴
- P-126 多発肝嚢胞を併発した leukoencephalopathy with vanishing white matter の 1 例**
 ○赤星進二郎, 小松倫子, 中野英二
 国立病院機構鳥取医療センター小児科
- P-127 大頭症と小脳回を認めた 4q-症候群男児の 1 剖検例**
 ○富田 直^{1,2}, 熊田聡子², 花房由季子², 栗原栄二², 林 雅晴³, 水谷俊雄^{4,5}
 東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 東京都立神経病院神経小児科², 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究³, 東京都立神経病院検査科⁴, 東京都立府中療育センター⁵
- P-128 Marinesco-Sjögren 症候群 22 歳女性の 1 剖検例—心筋の微細構造を中心に—**
 ○二階堂弘輝¹, 大屋一博¹, 菊池 真², 館 延忠³, 福村 忍^{1,4}, 林由紀子⁵, 西野一三⁵
 札幌医科大学小児科¹, 同 保健医療学部解剖学第一講座², 同 作業療法学科³, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科⁴, 同 神経研究所疾研 1 部⁵
- P-129 Cataplexy が診断の契機となった Niemann-Pick 病 C 型の 2 症例**
 ○中野さやか¹, 新寶理子¹, 東 純史¹, 濱田悠介¹, 岩谷祥子¹, 富永康仁^{1,2}, 木村志保子^{1,2}, 下野九理子^{1,2}, 沖永剛志¹, 酒井規夫¹, 永井利三郎³, 大藪恵一¹
 大阪大学大学院小児科学¹, 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所², 大阪大学大学院生命育成看護科学³
- P-130 ミトコンドリア遺伝子変異 m.5537A>G at tRNA (Trp) を認めた 1 女児例**
 ○藤田真祐子¹, 水落弘美¹, 須山麻衣子¹, 内川英紀¹, 森 雅人², 大竹 明³, 高木敦子¹, 塩浜 直¹, 藤井克則¹, 河野陽一¹
 千葉大学大学院小児病態学¹, 自治医科大学小児科², 埼玉医科大学小児科³
- P-131 嘔吐発作を繰り返した leukoencephalopathy with vanishing white matter の 1 例**
 ○永藤元道¹, 大戸達之¹, 榎園 崇¹, 田中竜太¹, 西村 一², 佐々木征行³, 島田姿野⁴, 山本俊至⁴, 須磨崎亮¹
 筑波大学大学院小児科¹, 西南医療センター病院小児科², 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科³, 東京女子医科大学統合医科学研究科⁴
- P-132 ミトコンドリア呼吸鎖異常症 (MRCD) のミトコンドリア DNA 変異の検索**
 ○森 雅人¹, 上原奈津美², 水野洋介², 村山 圭³, 岡崎康司², 大竹 明⁴
 自治医科大学小児科学¹, 埼玉医科大学ゲノム医学センター², 千葉県こども病院代謝科³, 埼玉医科大学小児科学⁴

第 1 日目 ポスター 第 5 会場

- 17:00~18:40 奇形, 染色体異常/遺伝/腫瘍…………… (S325)
 座長 佐竹 明 (市立旭川病院小児科)
 高野亨子 (神奈川県立こども医療センター神経内科)
- P-133 KBG 症候群の 1 例
 ○石川暢恒, 小林良行, 藤井裕士
 広島大学病院小児科
- P-134 腎不全を呈した Joubert 症候群の男児と, ネフロン癆の女児の姉弟例
 ○野崎章仁, 熊田知浩, 斎藤景子, 日衛嶋郁子, 林 安里, 宮嶋智子, 藤井達哉
 滋賀県立小児保健医療センター小児科
- P-135 Fallot 四徴症を合併した橋小脳低形成 3 型の 1 例
 ○神農英雄¹, 横田卓也², 岡西 徹^{2,3}, 榎日出夫²
 聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター新生児部門¹, 同 小児神経科², トロント小児病院神経科³
- P-136 乳児期に嚢胞増大による進行性の呼吸障害をきたした lateral meningocele syndrome の 1 例
 ○齋藤景子¹, 宮嶋智子¹, 熊田知浩¹, 野崎章仁¹, 日衛嶋郁子¹, 林 安里¹, 岡本伸彦², 藤井達哉¹
 滋賀県立小児保健医療センター小児科¹, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科²
- P-137 演題取り下げ
- P-138 小児期発症 DRPLA 患者の症状・障害の出現時期と CAG リピート数の相関について
 ○丸山慎介¹, 斎藤義朗¹, 齋藤貴志¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 熊田聡子², 齊藤祐子³, 南 成祐⁴, 後藤雄一⁵
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 東京都立神経病院神経小児科², 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部³, 同 病院遺伝子検査診断室⁴, 同 神経研究所疾研 2 部⁵
- P-139 Infantile spasms を発症した 47,XX,+dic (15;15) (q12;q12) の 1 例
 ○竹内章人¹, 白神浩史²
 国立病院機構岡山医療センター新生児科¹, 同 小児科²
- P-140 尿中クレアチン濃度測定により診断できたクレアチントランスポーター欠損症の 1 例
 ○加藤秀一, 和田敬仁, 新保裕子, 三宅美由, 奥田美津子, 高野亨子, 井合瑞江, 山下純正, 小坂 仁
 神奈川県立こども医療センター神経内科
- P-141 TWIST1 を含む 7 番染色体短腕中間部欠失の 1 例
 ○石川亜貴¹, 重富浩子¹, 續 晶子¹, 越智さと子², 黒澤健司³
 北海道立子ども総合医療・療育センターリハビリ小児科¹, 同 脳神経外科², 神奈川県立こども医療センター遺伝科³
- P-142 オリゴアレイ CGH による小児神経領域患者のスクリーニングの試み
 ○菊池敦生¹, 鈴木理恵¹, 中山東城¹, 久保田由紀¹, 廣瀬三恵子², 小林朋子¹, 福與なおみ¹, 植松 貢¹, 萩野谷和裕³, 呉 繁夫¹
 東北大学大学院小児病態学分野¹, 函館五稜郭病院小児科², 宮城県拓桃医療療育センター³
- P-143 COL4A1 遺伝子変異が同定された孔脳症の 1 例
 ○高橋信也^{1,2}, 才津浩智²
 山形大学小児科¹, 横浜市立大学遺伝学²
- P-144 13q-症候群の 1 例—臨床症候と染色体欠失部位の相関についての検討—
 ○上野弘恵, 西里ちづる
 国立病院機構熊本再春荘病院小児科
- P-145 てんかん発作を契機として診断された 22q11.2 欠失症候群の 1 例
 ○滝口慎一郎¹, 小笠原彩¹, 桑島真理¹, 渡辺浩史¹, 倉田和美², 下泉秀夫¹
 国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園小児科¹, 自治医科大学精神科²
- P-146 脊髄髄膜瘤患児に合併したてんかんの検討
 ○寺田志津子, 山崎麻美
 国立病院機構大阪医療センター小児科

- P-147 **West 症候群・非典型 Rett 症候群の原因遺伝子 *CDKL5* の多元的アプローチによる分子機能・病態機序解析**
 ○田中輝幸, 水口 雅
 東京大学大学院発達医科学
- P-148 **てんかん発症を契機に診断した神経線維腫症 2 型の 1 例**
 ○佐々木剛
 三豊総合病院小児科
- P-149 **水頭症を合併した脊髄血管芽腫の 1 歳女児例**
 ○小野澤佳織¹, 城谷吾郎¹, 藤田貴子¹, 井手口博¹, 安元佐和¹, 上羽哲也², 井上 亨², 廣瀬伸一¹
 福岡大学小児科¹, 同 脳神経外科²
- P-150 **髄芽腫治療後における認知機能の検討**
 ○黒田 舞¹, 浜野晋一郎², 西本 博³, 成田有里¹
 埼玉県立小児医療センター保健発達部心理¹, 同 神経科², 同 脳神経外科³
- P-151 **ミオクロニーてんかんの家族歴を有する発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼの 1 例**
 ○長尾芳朗
 社会保険中央総合病院小児科
- P-152 ***MEF2C* 遺伝子を含む染色体 5q14.3 領域の欠失を認めた重度精神遅滞の 14 歳男児例**
 ○酒井康成¹, 鳥巢浩幸¹, 實藤雅史¹, 山口 結¹, 石崎義人¹, 鳥尾倫子¹, 磯部菜採¹, 佐竹宏之^{2,3}, 原 寿郎¹
 九州大学病院小児科¹, 福岡市立こども病院・感染症センター², 福岡市東部療育センター³
- P-153 **Epileptic spasms を呈した *MECP2* 領域微細重複の男児例**
 ○衛藤 薫¹, 坂内優子¹, 島田姿野^{1,2}, 大谷ゆい¹, 塩田睦記¹, 石垣景子¹, 下島圭子², 山本俊至^{1,2}, 小国弘量¹, 大澤真木子¹
 東京女子医科大学小児科¹, 同 統合医科学研究所²
- P-154 **Mowat-Wilson 症候群 3 例の検討**
 ○鮫島希代子¹, 杉原 進², 渡辺美緒², 椎原 隆²
 群馬県立小児医療センター遺伝科¹, 同 神経内科²
- P-155 **胎児期より経過観察できたネフロン癆を合併した Joubert 関連疾患の 1 例**
 ○片岡 愛, 松井 潔, 田上幸治
 神奈川県立こども医療センター総合診療科
- P-156 **CASK 異常症の 1 例**
 ○大柳玲嬉¹, 渡邊年秀¹, 皆川公夫¹, 高梨潤一², 岡本伸彦³, 林 深⁴
 北海道立子ども総合医療・療育センター小児神経科¹, 亀田メディカルセンター², 大阪府立母子保健総合医療センター³, 東京医科歯科大学難治疾患研究所⁴
- P-157 **父親由来片親性ダイソミーにより発症した後期乳児型異染性白質ジストロフィーの 1 例**
 ○新井田要¹, 黒田文人², 三谷裕介², 横井彩乃², 池野 都²
 金沢大学子どものこころの発達研究センター¹, 同 小児科²
- P-158 **1p36 欠失症候群のてんかんの特徴：全国調査の集計結果**
 ○前垣義弘¹, 島田姿野^{2,3}, 下島圭子², 松尾真理^{3,4,5}, 平澤恭子³, 山本俊至²
 鳥取大学脳神経小児科¹, 東京女子医科大学統合医科学研究所², 同 小児科³, 同 遺伝子医療センター⁴, 東京都立府中療育センター⁵
- P-159 ***SILI* 遺伝子変異をもつ Marinesco-Sjögren 症候群の成人例**
 ○中村紀子¹, 二之宮信也¹, 井原由紀子¹, 井手口博¹, 井上貴仁¹, 安元佐和¹, 満留昭久², 廣瀬伸一¹
 福岡大学小児科¹, 国際医療福祉大学大学院²
- P-160 **髄鞘化遅延と白質病変を呈する染色体複雑構造異常の 1 例**
 ○重富浩子¹, 石川亜貴¹, 續 晶子¹, 川村健太郎², 東海林黎吉², 黒澤健司³
 北海道立子ども総合医療・療育センターリハビリ小児科¹, 製鉄記念室蘭病院小児科², 神奈川県立こども医療センター遺伝科³
- P-161 **Spheno-ethmoidal cephalocele の 1 例**
 ○杉本真里, 大下裕法, 相場佳織, 加藤大典, 小山典久, 横地健治
 豊橋市民病院小児科
- P-162 **歌舞伎メーキャップ症候群様顔貌と多彩な身体症状, 精神遅滞を有する *mos45, X/46, X, der(X)* の 1 例**
 ○大野雅樹
 京都女子大学発達教育学部児童学科

- P-163 **COL4A1 遺伝子異常を認めた孔脳症の 2 症例**
 ○近藤典子¹, 西村洋子¹, 戸川雅美¹, 前垣義弘¹, 大野耕策¹, 才津浩智²
 鳥取大学附属病院脳神経小児科¹, 横浜市立大学大学院遺伝学²
- P-164 **全身麻酔下手術後に慢性呼吸不全を呈した神経線維腫症 I 型の 1 例**
 ○樋口 司
 長野県立こども病院総合小児科
- P-165 **多彩な中枢神経奇形を認め、生後早期に髄芽腫を合併した表皮母斑症候群の剖検所見**
 ○池野 充¹, 奥村彰久¹, 安部信平¹, 嶋 泰樹¹, 高梨潤一², 下島圭子³, 山本俊至³, 林 雅晴⁴
 順天堂大学小児科・思春期科¹, 亀田メディカルセンター小児科², 東京女子医科大学統合医科学研究
 所³, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生⁴

第 1 日目 ポスター 第 6 会場

- 17:00~18:40 **感染, 免疫 (急性脳炎・脳症を除く) / 新生児**…………… (S336)
 座長 小林徳雄 (王子総合病院小児科)
 福村 忍 (北海道立子ども総合医療・療育センター小児科)
- P-166 **新生児における側脳室前角近傍の嚢胞性病変**
 ○奥主健太郎¹, 西 大介¹, 川戸 仁¹, 松本 弘¹, 藤井克則²
 総合病院国保旭中央病院新生児科¹, 千葉大学大学院小児病態学²
- P-167 **ムンプス髄膜炎とその他の無菌性髄膜炎の髄液中および血清中ネオプテリン値の比較検討**
 ○匹田典克, 瀬戸俊之, 服部妙香, 田中勝治, 新宅治夫
 大阪市立大学大学院発達小児医学
- P-168 **マイコプラズマ感染症発症 2 週間後にけいれんを認めた姉妹例**
 ○中野広輔, 眞庭 聡
 松山赤十字病院小児科
- P-169 **20~29 歳に達した極低出生体重児の予後と危険因子解析**
 ○鈴木 悠, 亀井 淳, 赤坂真奈美, 千田勝一
 岩手医科大学小児科
- P-170 **頭蓋内出血を繰り返した Hoyeraal-Hreidarsson syndrome が疑われる男児例**
 ○大西秀典, 寺本貴英, 森本将敬, 久保田一生, 加藤善一郎, 近藤直実
 岐阜大学大学院小児病態学
- P-171 **視力低下を認め視神経脊髄炎が疑われた横断性脊髄炎の 1 例**
 ○岸野 愛, 河野 香
 河北総合病院小児科
- P-172 **当院における呼吸器ウイルス (パラミクソウイルス科) に関連した神経学的症状の検討**
 ○服部有香¹, 天羽清子¹, 石川順一², 辻ひとみ³, 堀野朝子³, 温井めぐみ³, 井上岳司³, 岡崎 伸³,
 外川正生¹, 塩見正司⁴, 川脇 壽³
 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児救急科¹, 同 救命救急センター救命救急部², 同
 小児医療センター小児神経内科³, 愛染橋病院小児科⁴
- P-173 **出血後水頭症を認めた超低出生体重児における新生児発作 / 新生児発作様異常運動についての検討**
 ○本林光雄, 稲葉雄二, 新美妙美, 柴 直子, 西村貴文, 馬場 淳
 信州大学小児科
- P-174 **視神経炎 5 例の検討**
 ○今井由生, 桃木恵美子, 石井和嘉子, 遠藤あゆみ, 荒川千賀子, 小平隆太郎, 藤田之彦, 瀧上達夫
 日本大学小児科学
- P-175 **慢性髄膜炎で発症した clinically isolated syndrome (CIS) の 1 例**
 ○松井史裕¹, 阪上智俊¹, 小田部修¹, 伊藤陽里¹, 高橋利幸²
 公立南丹病院小児科¹, 東北大学神経内科²
- P-176 **ピリドキシン依存性てんかんと考えられた早産児の 1 例**
 ○宮田世羽, 池上弓子, 朝倉誉子, 島崎真希子, 小松祐美子, 中村由紀子, 岡 明
 杏林大学小児科

- P-177 ムンプスワクチンによる無菌性髄膜炎の 3 例**
 ○高柳 勝¹, 北村太郎¹, 遠藤若葉¹, 加藤 篤², 西村秀一³, 西尾利之¹, 大浦敏博¹
 仙台市立病院小児科¹, 国立感染症研究所ウイルス第三部², 国立病院機構仙台医療センター臨床研究部ウイルスセンター³
- P-178 A 群 β 溶血性連鎖球菌による肺炎に罹患した重症心身障害児の 2 例**
 ○奥村恵子¹, 池原 甫¹, 津留智彦¹, 市山高志²
 仙台市立病院小児医療センター小児科¹, 山口大学大学院小児科学²
- P-179 視神経脊髄炎の 1 小児例：脳脊髄病変の特徴を含めて**
 ○藤田貴子^{1,2}, 井原由紀子¹, 友納優子¹, 二之宮信也¹, 井手口博¹, 井上貴仁¹, 安元佐和¹, 廣瀬伸一¹
 福岡大学小児科¹, 都城市郡医師会病院小児科²
- P-180 剖検脳でウイルスが同定された亜急性硬化性全脳炎の 33 歳男性例**
 ○古島わかな¹, 小峯 聡¹, 福水道郎¹, 林 雅晴², 細矢光亮³
 東京都立府中療育センター小児科¹, 東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト², 福島県立医科大学小児科³
- P-181 自閉症に合併した GluR 抗体陽性の自己免疫性脳幹小脳炎の 2 例**
 ○二之宮信也¹, 藤田貴子¹, 井原由紀子¹, 友納優子¹, 森島直美¹, 井手口博¹, 井上貴仁¹, 安元佐和¹, 高橋幸利², 廣瀬伸一¹
 福岡大学小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-182 抗 GluR 抗体陽性を示し小脳失調を来たした卵巣嚢胞性奇形腫の 1 例**
 ○樋口嘉久¹, 米倉竹夫², 西野正人³, 高塚英雄³, 高橋幸利⁴, 小角卓也², 山内勝治²
 大津赤十字病院小児科¹, 近畿大学奈良病院小児外科², 奈良県立三室病院小児科³, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター臨床研究部⁴
- P-183 血球貪食症候群の神経合併症についての検討**
 ○渡辺好宏, 大山宜孝, 武下草生子
 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター
- P-184 乳突蜂巣炎に合併した肺炎球菌による巨大硬膜下膿瘍の 1 例**
 ○豊野美幸¹, 石川小枝¹, 大西秀典², 矢野珠巨¹
 秋田大学大学院小児科¹, 岐阜大学小児科²
- P-185 石灰化頭血腫の 1 歳男児例**
 ○小俣優子¹, 伊達裕昭²
 千葉メディカルセンター小児科¹, 千葉県こども病院脳神経外科²
- P-186 クリオピン関連周期性発熱症候群の神経学的所見**
 ○武下草生子¹, 渡辺好宏¹, 大山宜孝¹, 原 拓磨¹, 菊地雅子², 宮前多佳子², 今川智之², 横田俊平²
 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター¹, 横浜市立大学小児科²
- P-187 Tacrolimus が有効であった眼筋型重症筋無力症の 1 例**
 ○泉 鉉吉
 社会保険紀南病院
- P-188 当科における亜急性硬化性全脳炎 10 症例の臨床的検討**
 ○玉城邦人¹, 仲村貞郎¹, 大城あずさ¹, 大見 剛²
 琉球大学小児科¹, 沖縄整肢療護園²
- P-189 小児期発症重症筋無力症患者の妊娠と出産**
 ○磯野有章子, 長尾ゆり, 木村一恵, 八森 啓, 野村芳子, 瀬川昌也
 瀬川小児神経学クリニック
- P-190 CRP の上昇のない細菌性髄膜炎を併発した先天性皮膚洞の 1 例**
 ○佐々木香織
 加古川市東市民病院小児科
- P-191 急性な経過をとった脳幹脳炎脊髄炎の症例**
 ○大下裕法, 相場佳織, 杉本真里, 加藤大典, 小山典久, 横地健治
 豊橋市民病院小児科
- P-192 ステロイドパルス療法が著効した片側動眼神経上枝単独麻痺の 1 例**
 ○安藤亜希¹, 寺嶋 宙¹, 太田さやか¹, 柏井洋文¹, 久保田雅也¹, 荒熊智宏², 後藤知英², 三山佐保子²
 国立成育医療研究センター神経内科¹, 東京都立小児総合医療センター神経内科²

- P-193** **TRH 静注療法が有効であった亜急性硬化性全脳炎の 2 例**
○比屋根真彦, 中川栄二, 榎園 崇, 永井盛博, 松田悠子, 齋藤貴志, 斎藤義朗, 小牧宏文, 須貝研司,
佐々木征行
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科
- P-194** **水痘ウイルス関連血管炎による脳梗塞の 1 例—原発性中枢性血管炎との比較検討—**
○中野直子, 菊池知耶, 福田光成
愛媛大学小児科
- P-195** **脳低温療法を施行した新生児低酸素性虚血性脳症症例の頭部 MRI 所見の検討**
○短田浩一, 佐藤 望, 木原美奈子
京都第一赤十字病院新生児科

第 2 日目 第 1 会場

- 8:00~9:00 モーニング教育セミナー 1..... (S152)
 共同研究支援委員会支援研究報告 (共同研究支援委員会主催)
 座長 佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
 杉江秀夫 (自治医科大学小児科)
- 1) 14 番染色体母親性ダイソミー関連疾患の実態把握と診断・治療指針作成
 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)
 - 2) 先天性副腎皮質過形成に合併する小児急性脳症に関する研究
 山内秀雄¹, 阿部裕一¹, 酒井哲郎¹, 水口 雅²
 (埼玉医科大学小児科¹, 東京大学大学院発達医科学²)
 - 3) 小児フェール病 (特発性両側性大脳基底核・小脳歯状核石灰化症) の分子病態の解明
 保住 功¹, 下澤伸行², 柴田敏之³, 犬塚 貴⁴
 (岐阜薬科大学薬物治療学¹, 岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究², 同 口腔外科³,
 同 神経内科⁴)
- 9:00~10:00 教育講演 3..... (S121)
 グルタミン酸シグナル伝達と神経可塑性
 座長 伏木信次 (京都府立医科大学大学院分子病態病理学)
 講演 渡辺雅彦 (北海道大学大学院解剖学)
- 12:20~13:20 ランチョンセミナー 6: ジェンザイム・ジャパン株式会社..... (S167)
 ポンペ病の診断と治療
 座長 埜中征哉 (国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長)
 講演 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
- 13:20~14:20 会員総会
- 14:20~14:50 日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・受賞者ミニ講演
 座長 伏木信次 (京都府立医科大学大学院分子病態病理学)
- 14:50~15:50 招待講演 (瀬川プログラム)..... (S101)
 AAV-mediated gene therapy for lysosomal storage diseases with neurological features
 座長 杉江秀夫 (自治医科大学小児科)
 講演 Miguel Sena-Estevés
 (Department of Neurology and Gene Therapy Center, University of Massachusetts
 Medical School, Worcester, MA, USA)
- 15:50~17:50 シンポジウム 2..... (S132)
 神経障害をきたす先天性代謝異常症—診断・治療の Update
 座長 児玉浩子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科)
 新宅治夫 (大阪市立大学大学院発達小児医学)
- 1) 高フェニルアラニン血症
 新宅治夫 (大阪市立大学大学院発達小児医学)
 - 2) ムコ多糖症の診断と治療の進歩
 奥山虎之 (国立成育医療研究センターライソゾーム病センター)
 - 3) Wilson 病, Menkes 病治療の最近の進歩
 児玉浩子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科)
 - 4) 副腎白質ジストロフィー
 下澤伸行 (岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究)

- 17:50~18:50 教育講演 7 (S125)
 先進ゲノミクスの疾患研究における展開
 座長 大野耕策 (鳥取大学附属病院脳神経小児科)
 講演 小原 収 (かずさ DNA 研究所ヒトゲノム研究部, 理研横浜研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター免疫ゲノミクス研究グループ)

第 2 日目 第 2 会場

- 9:00~10:00 教育講演 4 (S122)
 自閉症とオキシトシン, CD38 の関連について
 座長 榊原洋一 (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科)
 講演 東田陽博 (金沢大学子どものこころの発達研究センター)

- 12:20~13:20 ランチョンセミナー 7: ヤンセンファーマ株式会社 (S168)
 ADHD 臨床における発達障害としてのトラウマ関連障害
 座長 作田亮一 (獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター)
 講演 友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

- 14:50~15:50 てんかん 3 (S218)
 座長 森川建基 (森川クリニック)
 植竹公明 (JA 帯広厚生病院小児科)

- O-072 Perioral myoclonia with absences の 1 例
 ○福村 忍¹, 齋藤貴志¹, 齋藤義朗¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 佐藤 研²
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 茅ヶ崎市立病院小児科²
- O-073 小児驚愕てんかん (startle epilepsy: SE) 7 例の臨床的検討
 ○眞柄慎一, 須貝研司, 齋藤貴志, 齋藤義朗, 小牧宏文, 中川栄二, 佐々木征行
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科
- O-074 Periodic spasms を呈する食事誘発性発作の 1 男児例
 ○澤井康子¹, 星田 徹¹, 高橋幸博²
 国立病院機構奈良医療センターてんかんセンター¹, 奈良県立医科大学総合周産期母子医療センター新生児集中治療部門²
- O-075 片側頸部に限局したてんかん性ミオクローヌスを左右独立に認める 3 歳男児例
 ○吉田健司, 加藤竹雄, 柴田 実, 栗屋智就
 京都大学附属病院小児科
- O-076 Reflex seizure を伴う Lennox-Gastaut 症候群を合併した Down 症候群の 1 例
 ○中村和幸, 戸川雅美, 近藤章子, 前垣義弘, 大野耕策
 鳥取大学脳神経小児科
- O-077 急性脳症後のてんかんにおける発作時ビデオ脳波同時記録
 ○北村裕梨, 奥村彰久, 池野 充, 安部信平, 齋藤雅子, 清水俊明
 順天堂大学小児科

- 15:50~16:50 【テーマ企画④】 自己免疫性脳炎 Up-to-Date (S112)
 基調講演: Clinical spectrum and cellular mechanisms of autoimmunity to NMDA and other synaptic receptors
 座長 水口 雅 (東京大学大学院発達医科学)
 講演 Josep Dalmau
 (Institució Catalana de Recerca i Estudis Avançats (ICREA) at Institut d'Investigació Biomèdica August Pi i Sunyer (IDIBAPS), Service of Neurology, Hospital Clínic, University of Barcelona, Barcelona, Spain and Department of Neurology, University of Pennsylvania, Philadelphia, USA)

16:50~17:50 【テーマ企画④】 自己免疫性脳炎 Up-to-Date (S113)
シンポジウム：自己免疫性脳炎の診断と治療

座長 林 雅晴 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究)
水口 雅 (東京大学大学院発達医科学)

- 1) グルタミン酸受容体抗体の意義
高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)
- 2) Rasmussen 脳炎の臨牀一本邦での実態を中心にー
小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
- 3) 難治頻回部分発作重積型急性脳炎
佐久間啓 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部)
- 4) 抗 NMDA 受容体脳炎の臨牀像と病態
飯塚高浩 (北里大学神経内科学)

17:50~18:50 教育講演 8 (S126)
てんかん発作症状

座長 泉 達郎 (大分大学小児科)
講演 重松秀夫 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)

第 2 日目 第 3 会場

8:00~9:00 【テーマ企画③】 慢性頭痛診療ガイドライン：小児の頭痛 (案) (S111)
座長 藤田光江 (筑波学園病院小児科, 東京クリニック小児・思春期頭痛外来)
安藤直樹 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)

連続講演：慢性頭痛診療ガイドライン：小児の頭痛 (案)

藤田光江 (筑波学園病院小児科, 東京クリニック小児・思春期頭痛外来)
桑原健太郎 (日本医科大学小児科)
安藤直樹 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)

9:00~10:00 てんかん 2 (S220)

座長 田中正樹 (田中神経クリニック)
鳥邊泰久 (鳥辺医院)

O-078 劇症型心筋炎, 甲状腺機能異常を合併したラモトリギン薬剤性過敏症候群の女児例

○平田郁子, 松本文博, 池田 妙, 鳥邊泰久, 柳原恵子, 真野利之, 鈴木保宏
大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科

O-079 当院における levetiracetam (LEV) の使用経験について

○今村 淳, 松尾直樹, 小嶋瑛美子, 丸田香奈子, 若原敦嗣
岐阜県総合医療センター小児科

O-080 小児期発症てんかんにおけるレベチラセタムの血中濃度と有効性の評価

○折津友隆¹, 浜野晋一郎², 井田博幸¹
東京慈恵会医科大学附属病院小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経内科²

O-081 ラモトリギン血中濃度を上昇させる目的でバルプロ酸を少量併用した 2 例について

○渡邊年秀, 大柳玲嬉, 皆川公夫
北海道立子ども総合医療・療育センター小児神経科

O-082 難治てんかん患者におけるレベチラセタムの有効性

○松本 瞳, 山形崇倫, 長嶋雅子, 門田行史, 野崎靖之, 福田冬季子, 森 雅人, 杉江秀夫,
桃井真里子

自治医科大学小児科

O-083 レベチラセタム投与による血清カルニチンへの影響

○安藤直樹, 根岸 豊, 服部文子, 中島葉子, 伊藤哲哉, 齋藤伸治
名古屋市立大学病院小児科

12:20~13:20 ランチョンセミナー 8 : 日本イーライリリー株式会社…………… (S168)

最新の脳科学で探る ADHD の薬物療法—Default mode network と functional connectivity—

座長 石崎朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)
講演 林 隆 (山口県立大学大学院健康福祉学研究科)

14:50~16:50 B & D セミナー…………… (S156)

英語で論文を書こう! パート 2 (B & D 編集委員会主催)

座長 加我牧子 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)
高橋孝雄 (慶應義塾大学小児科)

- 1) 英語論文作成のポイント
林 雅晴 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究)
- 2) 英語での学会口演の極意
廣瀬伸一 (福岡大学小児科)
- 3) 何故、英語の論文を書くのか? 何のために? 誰のために? 何故、日本語の論文ではだめなのか?
大坪 宏 (トロント小児病院神経科)

16:50~18:50 ワークショップ 1…………… (S142)

東日本大震災に学ぶ—小児神経科医に求められること (東日本大震災支援委員会主催)

座長 永井利三郎 (大阪大学大学院保健学専攻)
萩野谷和裕 (宮城県拓桃医療療育センター小児科)

はじめに

- 飯沼一字 (石巻赤十字病院)
- 1) 重症心身障害児への対応: ネットワークで支える災害への備え
田中総一郎^{1,2}, 萩野谷和裕², 涌澤圭介², 小林 悟²
(宮城県拓桃医療療育センター地域・家族支援部¹, 同 小児科²)
 - 2) メールを使った医療相談活動
椎原 隆 (群馬県立小児医療センター神経内科)
 - 3) 東日本大震災後の子どものこころの反応
吉田弘和 (宮城県子ども総合センター)
 - 4) 福島原発事故後の診療状況について
森田浩之 (福島県総合療育センター)
 - 5) 被災地におけるメンタルケアとストレスマネジメント
—被災地の真ん中で見えてきた子どもたちの姿と支援者の果たす役割について—
佐藤秀明 (ここねっと発達支援センター 東日本大震災緊急子どもサポートチーム)

第 2 日目 第 4 会場

9:00~10:00 脳性麻痺・療育 1…………… (S222)

座長 續 晶子 (北海道立子ども総合医療・療育センターリハビリテーション科)
小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ)

O-084 腕頭動脈瘤発症が危惧され、経過中に気管支内視鏡検査所見が変化した症例

○内田智子, 永沢佳純, 石井光子
千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科

O-085 スピーチバルブによる単純気管切開児の唾液誤嚥防止

○田中総一郎, 小林 悟, 涌澤圭介, 萩野谷和裕
宮城県拓桃医療療育センター小児科

O-086 小児の在宅人工呼吸—専属チームによる在宅管理の有効性—

○土島智幸
手稲溪仁会病院小児 NIV センター

O-087 中枢神経障害を有する児に対する在宅 NPPV (非侵襲的陽圧換気療法) 当院で経験した 22 例の検討

○萩原重俊, 土島智幸
手稲溪仁会病院小児科

O-088 重度障害児 (者) における睡眠障害に対する治療: メラトニンからラメルテオンへの変更の試み

○宮本晶恵¹, 福田郁江¹, 田中 肇¹, 岡 隆治¹, 長 和彦¹, 荒木章子²
北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科¹, 旭川医科大学小児科²

O-089 重症心身障害児における夜間の自律神経活動と睡眠状況との関係

○松井学洋^{1,2}, 木原健二^{1,3}, 高田 哲¹
神戸大学大学院保健学研究科¹, 兵庫県立大学看護学部², にこにこハウス医療福祉センター³

12:20~13:20 ランチョンセミナー 9: エーザイ株式会社/ノーベルファーマ株式会社 …… (S169)

小児のけいれん重積の治療の現状

座長 松坂哲應 (長崎県立こども医療福祉センター)
講演 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

14:50~15:50 脳性麻痺・療育 2 …… (S224)

座長 宮本晶恵 (北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科)
米山 明 (心身障害児総合医療療育センター小児科)

O-090 Type 4 collagen $\alpha 2$ chain (COL4A2) の変異は孔脳症の原因となる

○萩野谷和裕¹, 荒井 洋², 小坂 仁³, 加藤光広⁴, 横地健治⁵, 才津浩智⁶
宮城県拓桃医療療育センター小児神経科¹, 森之宮病院小児神経科², 神奈川県立こども医療センター神経内科³, 山形大学小児科⁴, 聖隷三方原病院小児神経科⁵, 横浜市立大学遺伝学⁶

O-091 超重症児に対する感覚入力による脳血流変化: 近赤外線スペクトログラフィーを用いて

○高橋勇弥, 影山隆司, 山谷美和, 吉川秀人, 小西 徹
長岡療育園

O-092 痙性片麻痺児に対する健側手指抑制効果その後

○花岡 繁, 木村夫美恵
東京都立北療育医療センター城南分園

O-093 発達期脳病変に続発する持続的筋収縮状態の臨床像

○丸山幸一¹, 井合瑞江², 荒井 洋³, 横地健治⁴
愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設医務課², 森之宮病院小児神経科³, 聖隷三方原病院小児神経科⁴

O-094 バクロフェン単回髄腔内投与による小児重度痙縮患者の姿勢変化

○近藤章子¹, 成田 綾¹, 前垣義弘¹, 大野耕策¹, 福田千佐子², 坪内祥子³, 杉浦千登勢³
鳥取大学脳神経小児科¹, 同 保健学科病態検査学², 鳥取県立総合療育センター³

O-095 重症心身障害児・者における機能的外科手術施行例の検討

○石井雅宏¹, 下野昌幸¹, 福田智文¹, 千手絢子², 塩田直樹², 楠原浩一¹
産業医科大学小児科¹, 宇部興産株式会社健康管理センター²

15:50~16:50 教育講演 5 …… (S123)

小児科医からみた画像診断装置の可能性—高磁場 MRI を中心に

座長 遠山 潤 (国立病院機構西新潟中央病院神経小児科)
講演 鈴木雄治 (新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター, 国立病院機構新潟病院)

16:50~17:50 教育講演 6 …… (S124)

代謝性筋疾患

座長 埜中征哉 (国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長)
講演 西野一三 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾患研 1 部)

17:50~18:50 急性脳症 4 …… (S226)

座長 市山高志 (山口大学大学院小児科学)
浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

O-096 急性脳症を合併した川崎病の 1 例

○本井宏尚¹, 武下草生子²
国立病院機構横浜医療センター小児科¹, 横浜市立大学市民総合医療センター²

O-097 2009 年インフルエンザ A (H1N1) 脳症における急性期 MRI の検討

○石田 悠¹, 河島尚志¹, 山中 岳¹, 宮島 祐¹, 星加明徳¹, 奥山彰久², 中川 聡³, 森島恒雄⁴
東京医科大学小児科¹, 順天堂大学小児科², 国立成育医療研究センター手術集中治療部³, 岡山大学大学院小児医科学⁴

- O-098** 先天性副腎皮質過形成に合併する小児急性脳症の臨床的検討
○阿部裕一¹, 酒井哲郎¹, 水口 雅², 山内秀雄¹
埼玉医科大学小児科¹, 東京大学大学院発達医学²
- O-099** Guillain-Barré 症候群とオーバーラップした Bickerstaff 脳幹脳炎と考えられた 2 歳女児の 1 例
○上島洋二¹, 岡西 徹², 横田卓也², 榎日出夫²
聖隷浜松病院小児科¹, 同 小児神経科²
- O-100** 亜急性硬化性全脳炎患者における髄液中 apolipoprotein E (ApoE) 濃度の検討
○井上裕文, 梶本まどか, 松重武志, 岡 桃子, 市山高志
山口大学大学院小児科学
- O-101** テオフィリン関連急性脳症における遺伝的素因
○篠原麻由¹, 齊藤真木子¹, 山中 岳², 雨宮 馨³, 久保田雅也⁴, 山形崇倫⁵, 菊池健二郎⁶,
川脇 寿⁷, 亀井 淳⁸, 赤坂真奈美⁸, 安西有紀⁹, 塩見正司¹⁰, 水口 雅¹
東京大学大学院発達医学¹, 東京医科大学小児科², 島田療育センターはちおうじ³, 国立成育医療研究センター神経内科⁴, 自治医科大学小児科⁵, 埼玉県立小児医療センター神経科⁶, 大阪市立総合医療センター小児神経内科⁷, 岩手医科大学小児科⁸, 済生会横浜市東部病院小児科⁹, 愛染橋病院小児科¹⁰

第 2 日目 第 5 会場

- 9:00~10:00** 急性脳症 2 (S228)
座長 山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)
加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)
- O-102** 多彩な画像所見を示したけいれん重積型脳症の 1 例
○谷口祐子^{1,2}, 山形崇倫¹, 門田行史^{1,2}, 長嶋雅子¹, 池田尚広¹, 森 雅人¹, 英 雅世^{1,2},
福田冬季子¹, 郡司勇治^{1,2}, 杉江秀夫¹, 桃井真里子¹
自治医科大学小児科¹, 国際医療福祉大学病院小児科²
- O-103** 二相性けいれんと遅発性拡散低下を伴う急性脳症後のてんかん：第 1 報一発作型・脳波に関する検討
○那須裕郷, 高橋幸利, 伊藤智城, 木村暢佑, 九鬼一郎, 福山哲広, 山口解冬, 高山留美子,
最上友紀子, 大谷英之, 秋山倫之, 池田浩子, 今井克美, 重松秀夫, 井上有史
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター
- O-104** Hemiconvulsions-Hemiplegia 症候群 6 例の画像と臨床像の検討
○吉岡誠一郎¹, 龍神布紀子¹, 阪上由子¹, 高野知行¹, 竹内義博¹, 西倉紀子²
滋賀医科大学小児科¹, 済生会滋賀県病院小児科²
- O-105** 急性中枢神経症状を呈する発熱小児における急性脳症の判別
○鳥巢浩幸, 李 守永, 山口 結, 石崎義人, 實藤雅文, 酒井康成, 原 寿郎
九州大学大学院成長発達医学
- O-106** 熱性けいれん重積と急性脳症の鑑別における急性期脳波の有効性の検討
○李 守永, 鳥巢浩幸, 山口 結, 石崎義人, 實藤雅文, 酒井康成, 原 寿郎
九州大学大学院成長発達医学
- O-107** 急性脳腫脹型急性脳症の臨床的検討
○温井めぐみ¹, 川脇 寿¹, 佐々木樹¹, 辻ひとみ¹, 服部有香¹, 堀野朝子¹, 井上岳司¹, 九鬼一郎¹,
岡崎 伸¹, 天羽清子², 塩見正司³
大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 同 小児感染症科², 同 小児内科³
- 12:20~13:20** ランチョンセミナー 10：第一三共株式会社 (S169)
重度筋緊張亢進患者に対する最新治療
座長 佐々木秀直 (北海道大学大学院神経内科学)
- 1) 病態に基づく治療法選択
講演 久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)
- 2) 外科治療の実際
講演 師田信人 (国立成育医療研究センター脳神経外科)

- 14:50~15:50 急性脳症 3 (S230)
- 座長 佐久間啓 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野)
須藤 章 (市立札幌病院小児科)
- O-108 多臓器不全により死亡し剖検を行った難治頻回部分発作重積型急性脳症 (AERRPS) の 1 例
○小川千香子¹, 夏目 淳¹, 山本啓之¹, 石原尚子¹, 横井撰理¹, 竹内智哉¹, 根来民子¹, 渡邊一功²
名古屋大学大学院小児科学¹, 愛知淑徳大学健康医療科学部²
- O-109 難治頻回部分発作重積型急性脳炎 (AERRPS) における 123I-iomazenil (IMZ) SPECT の特徴
○堀野朝子¹, 塩見正司², 辻ひとみ¹, 服部有香¹, 井上岳司¹, 温井めぐみ¹, 九鬼一郎¹, 岡崎 伸¹,
川脇 壽¹, 富和清隆¹, 天羽清子³, 外川正生³
大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 愛染橋病院小児科², 大阪市立総合医療センター小児救急科³
- O-110 急性脳炎・脳症の急性期における側頭・後頭葉・視床枕の一過性拡散能低下
○中田智彦¹, 辻 健史², 加藤 徹², 早川文雄², 竹内智哉¹, 久保田哲夫³, 木部哲也⁴, 奥村彰久⁵,
齋藤伸治⁶, 夏目 淳¹
名古屋大学小児科¹, 岡崎市民病院小児科², 安城更生病院小児科³, 聖隷三方原病院小児科⁴, 順天堂大学小児科⁵, 名古屋市立大学小児科⁶
- O-111 脳梁膨大部に可逆性病変を有する脳症 (MERS) を 3 回繰り返す, その後抗てんかん薬の内服により再発を認めなくなった 1 例
○甲賀健史¹, 高野亨子¹, 和田敬仁¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 相田典子², 高梨潤一³, 小坂 仁¹
神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 同 放射線科², 亀田メディカルセンター小児科³
- O-112 ロタウイルスによる一過性脳梁膨大部病変を伴う脳症 (MERS) の 1 例
○吉年俊文, 松岡剛司, 須貝みさき, 大府正治
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科
- O-113 Posterior reversible encephalopathy syndrome の臨床像, 画像所見の検討
○山本啓之¹, 鈴木基正², 竹内智哉¹, 東 慶輝¹, 石原尚子¹, 相場佳織³, 辻 健史⁴, 久保田哲夫⁵,
安藤直樹⁶, 根来民子¹, 渡邊一功⁷, 奥村彰久⁸, 齋藤伸治⁶, 夏目 淳¹
名古屋大学大学院小児科学¹, あいち小児保健医療総合センター神経科², 豊橋市民病院小児科³,
岡崎市民病院小児科⁴, 安城更生病院小児科⁵, 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学⁶, 愛知淑徳大学健康医療科学部⁷, 順天堂大学小児科⁸
- 15:50~16:50 てんかん 4 (S232)
- 座長 吉永治美 (岡山大学大学院発達神経病態学)
日暮憲道 (福岡大学小児科)
- O-114 熱性けいれん既往患者における SCN9A 遺伝子解析
○大守伊織¹, 小林勝弘², 大内田守³
岡山大学大学院細胞生理学¹, 同 発達神経病態学², 同 分子遺伝学³
- O-115 Dravet 症候群の経過中に発症した脳症の検討: 第 2 報一脳症時と非脳症時の遷延発作の比較
○高山留美子¹, 高橋幸利¹, 那須裕郷¹, 木村暢佑¹, 山口解冬¹, 福山哲広¹, 最上友紀子¹, 大谷英之¹,
秋山倫之¹, 池田浩子¹, 今井克美¹, 重松秀夫¹, 廣瀬伸一², 山川和弘³, 井上有史¹
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター¹, 福岡大学小児科², 理化学研究所・脳科学総合研究センター・神経遺伝チーム³
- O-116 電位依存性ナトリウムチャンネル $\alpha 2$ (*Scn2a*) 遺伝子変異マウスに認められたけいれん感受性の亢進
○荻原郁夫¹, 中山東城^{1,2}, 山川和弘¹
理化学研究所脳科学総合研究センター神経遺伝研究チーム¹, 東北大学大学院小児病態学²
- O-117 SCN1A 遺伝子変異をもつ Dravet 症候群 3 例の治療経過
○座波清誉, 松本 浩, 中村康子
防衛医科大学校病院小児科
- O-118 Dravet 症候群における多彩な臨床発作像一発作時ビデオ脳波同時記録による検討一
○坂内優子¹, 小国弘量¹, 平野嘉子¹, 伊藤 康¹, 津田祐子², 大澤真木子¹
東京女子医科大学小児科¹, 和歌山県立医科大学小児科²
- O-119 Atypical BECT 患児における認知機能の経時的推移
○金村英秋¹, 佐野史和¹, 保坂裕美¹, 溝呂木園子¹, 反頭智子¹, 青柳閣郎¹, 杉田完爾¹, 相原正男²
山梨大学小児科¹, 同 大学院医学工学総合研究部²

16:50~17:50 てんかん 5 (S234)

座長 皆川公夫 (北海道立子ども総合医療・療育センター小児神経科)
福島克之 (福島神経クリニック)

- O-120 Panayiotopoulos 症候群にみられるローランド棘波の検討
○柴田 敬, 吉永治美, 花岡義行, 小林勝弘, 大塚頌子
岡山大学病院小児神経科
- O-121 てんかんに合併した心因性非てんかん性発作を発作時脳波で診断した 3 例
○高見勇一, 伴 紘文, 黒川大輔
姫路赤十字病院小児科
- O-122 被虐待児における amplitude-integrated EEG による脳波モニタリング
○五十嵐鮎子
順天堂大学小児科
- O-123 正常発達を示す非典型 suppression burst を呈した新生児期発症てんかん症候群の 1 例
○篠原尚美¹, 植田恵介², 小西順子³, 武内俊樹³, 下郷幸子³, 山本敬一⁴, 高橋孝雄³
国立病院機構東京医療センター小児科¹, 東京都立小児総合医療センター神経内科², 慶應義塾大学小児科³, 伊勢原協同病院小児科⁴
- O-124 Sturge-Weber 症候群の知的予後に関連する因子の検討
○鈴木ことこ^{1,2}, 浜野晋一郎¹, 松浦隆樹^{1,2}, 菊池健二郎^{1,2}, 田中 学¹, 南谷幹之³, 井田博幸²
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科学², 埼玉県立小児医療センター保健発達部³
- O-125 Mowat-Wilson 症候群に合併したてんかんの特徴と長期予後
○梅村紋子¹, 三浦清邦², 林 直子¹, 山田桂太郎¹, 倉橋宏和¹, 丸山幸一¹, 鈴木基正³, 水野誠司⁴, 松本昭子¹, 熊谷俊幸¹
愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 名古屋大学障害児(者)医療学寄附講座², あいち小児保健医療総合センター神経科³, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児内科⁴

17:50~18:50 学習障害 1 (S236)

座長 若宮英司 (藍野大学医療保健学部看護学科)
豊巻敦人 (北海道大学大学院神経病態学講座精神医学)

- O-126 読みの困難が小学生の自己評価と心理的健康におよぼす影響
○山下稔哉^{1,2}, 林 隆¹
山口県立大学大学院健康福祉学研究科¹, 家庭学習支援オフィス NOW²
- O-127 集団実施読み障害スクリーニング検査作成の試み 第 1 報—無意味語選択課題と単語探索課題—
○奥村智人¹, 三浦朋子², 中西 誠³, 水田めぐみ¹, 栗本奈緒子¹, 竹下 盛¹, 宇野正章², 若宮英司^{1,4}, 玉井 浩^{1,5}
大阪医科大学 LD センター¹, パームこどもクリニック², 関西大学大学院心理学研究科³, 藍野大学医療保健学部⁴, 大阪医科大学小児科⁵
- O-128 集団実施読み障害スクリーニング検査作成の試み 第 2 報
○水田めぐみ¹, 奥村智人¹, 三浦朋子², 中西 誠³, 栗本奈緒子¹, 竹下 盛¹, 宇野正章², 若宮英司⁴, 玉井 浩^{1,5}
大阪医科大学 LD センター¹, パームこどもクリニック², 関西大学大学院心理学研究科³, 藍野大学医療保健学部⁴, 大阪医科大学小児科⁵
- O-129 高校 3 年生以上の発達性読み書き例における文章の音読速度
○宇野 彰^{1,2}, 春原則子^{2,3}, 金子真人^{2,4}
筑波大学人間系障害科学域¹, LD・Dyslexia センター², 目白大学保健医療学部³, 帝京平成大学健康メディカル学部⁴
- O-130 発達性ディスレクシアの RAN 刺激単独呈示による反応潜時からみた自動性の検討
○金子真人^{1,2}, 宇野 彰^{2,3}, 春原則子^{2,4}
帝京平成大学健康メディカル学部言語聴覚学科¹, LD・Dyslexia センター², 筑波大学人間系障害科学域³, 目白大学保健医療学部⁴
- O-131 音読年齢を合わせた発達性 dyslexia 児と定型発達児の認知機能
○春原則子^{1,2}, 宇野 彰^{2,3}, 金子真人^{2,4}
目白大学保健医療学部言語聴覚学科¹, NPO 法人 LD・Dyslexia センター², 筑波大学人間系障害科学域³, 帝京平成大学健康メディカル学部⁴

第2日目 第6会場

- 8:00~9:00 モーニングセミナー：大塚製薬株式会社…………… (S164)
小児科臨床における低カルニチン血症
座長 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
講演 伊藤哲哉 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)
- 9:00~10:00 病理・血管障害…………… (S238)
座長 寶金清博 (北海道大学大学院脳神経外科)
林 雅晴 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生)
- O-132 福山型先天性筋ジストロフィー剖検例での脳幹機能の検討
○中島啓介, 林 雅晴
東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト
- O-133 小児神経筋疾患における心筋症の初期病変に関する考察
○武田充人¹, 須藤 章², 白石秀明¹, 齋藤伸治³
北海道大学大学院小児科学¹, 市立札幌病院小児科², 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学³
- O-134 後頭部 Sinus Pericranii の1乳児例
○松下浩子¹, 岡野創造¹, 早川克己²
京都市立病院小児科¹, 同 放射線科²
- O-135 小児期発症もやもや病の治療予後と患者支援
○坂本博昭, 松阪康弘, 浦野裕美子
大阪市立総合医療センター小児医療センター小児脳神経外科
- O-136 ヒト動眼神経核複合体の胎生期発達について—第3報 組織計測学的検討—
○山口勝之^{1,2}
獨協医科大学病理学 (形態)¹, 総合南東北病院小児科²
- O-137 超早産児の虚血性脳傷害モデルマウスを用いた解析：第3報
○出口貴美子^{1,2,3}, 久保健一郎³, 仲嶋一範³, 井上 健²
出口小児科医院¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研2部², 慶應義塾大学解剖学³
- 12:20~13:20 ランチョンセミナー 11：ファイザー株式会社…………… (S170)
小児てんかんの薬物治療—新規抗てんかん薬の使い方—
座長 藤原建樹 (郡山女子大学家政学部)
講演 重松秀夫 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)
- 14:50~15:50 感染・免疫1…………… (S240)
座長 鳥巢浩幸 (九州大学病院総合周産期母子医療センター)
岡 明 (杏林大学小児科)
- O-138 Opsoclonus-myoclonus syndrome の全国疫学調査
○松重武志¹, 梶本まどか¹, 愛波秀男², 石垣景子², 木村重美², 久保田雅也², 高梨潤一², 高橋幸利², 玉井 浩², 夏目 淳², 浜野晋一郎², 平林伸一², 水口 雅², 皆川公夫², 原 寿郎², 市山高志²
山口大学大学院小児科学¹, 日本小児免疫性脳炎研究グループ²
- O-139 Opsoclonus-myoclonus syndrome に対し, Rituximab を使用した1例
○奥田美津子¹, 秋庭真理子¹, 高野亨子¹, 和田敬仁¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 小坂 仁¹, 高橋幸利²
神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- O-140 経過良好な, マイコプラズマ感染症関連オブスクローヌス・ミオクローヌス症候群の1例
○河野 香¹, 伊藤 康¹, 西川愛子¹, 佐原真澄¹, 平野嘉子¹, 石垣景子¹, 舟塚 真¹, 高橋幸利², 大澤真木子¹
東京女子医科大学小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- O-141 小児の多発性硬化症に対する再発予防のための γ グロブリン療法の効果について
○下田木の実, 熊田聡子, 笠井恵美, 白井育子, 八谷靖夫, 栗原栄二
東京都立神経病院神経小児科

O-142 我が国の小児 NMO/NMO spectrum disorders について

○山口 結¹, 愛波秀男², 市山高志², 岸 崇之², 木村重美², 久保田雅也², 高梨潤一², 高橋幸利², 玉井 浩², 夏目 淳², 浜野晋一郎², 平林伸一², 水口 雅², 皆川公夫², 原 寿郎^{1,2}
九州大学大学院成長発達医学 (小児科)¹, 日本小児免疫性脳炎研究グループ²

O-143 小児多発性硬化症の思春期前後における臨床的特徴の比較

○山口 結¹, 愛波秀男², 市山高志², 岸 崇之², 木村重美², 久保田雅也², 高梨潤一², 高橋幸利², 玉井 浩², 夏目 淳², 浜野晋一郎², 平林伸一², 水口 雅², 皆川公夫², 原 寿郎^{1,2}
九州大学大学院成長発達医学 (小児科)¹, 日本小児免疫性脳炎研究グループ²

15:50~16:50 発達障害 3 (S242)

座長 長 和彦 (北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター)
宮島 祐 (東京医科大学小児科)

O-144 思春期早発症男児に併存した ADHD に methylphenidate 徐放剤が著効した 1 例

○山下裕史朗, 片山幸樹, ハツ賀秀一, 澁谷郁彦, 大矢崇志, 永光信一郎, 古賀靖敏, 松石豊次郎
久留米大学小児科

O-145 ADHD の薬物療法—メチルフェニデートおよびアトモキセチンの服用継続率などから見る有用性の検討—

○洲鎌倫子, 石崎朝世
公益社団法人発達協会王子クリニック

O-146 アトモキセチンが睡眠関連併存障害に有効であった注意欠陥/多動性障害

○宮崎雅仁^{1,2}, 森 達夫², 森 健治², 香美祥二²
小児科内科三好医院小児科¹, 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部小児医学²

O-147 ATX 導入後の ADHD 薬物療法の組み立て

○大谷良子¹, 野田香織², 吉富裕子², 小池牧子^{1,2}, 綾部敦子^{1,2}, 島村圭一^{1,2}, 村上信行¹, 作田亮一²
獨協医科大学越谷病院小児科¹, 同 子どものこころ診療センター²

O-148 児童生徒の不登校の病因としての発達障害に関する検討: 後方視的研究

○清田晃生, 泉 達郎
大分大学附属病院小児科・神経小児科・児童精神科

O-149 学齢期の発達障害における医療相談と教育の連携支援

○高木一江
小児療育相談センター

16:50~17:50 脳性麻痺・療育 3 (S244)

座長 平元 東 (重症心身障害児 (者) 施設北海道療育園)
栗原まな (神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科)

O-150 約 20 年にわたり連続して測定された重症心身障害児 (者) の骨密度の解析

○松葉佐正^{1,2}, 奥村健二², 百崎 謙², 長田陽一², 有菌祐子³, 木村昭彦², 篠原 誠²
熊本大学附属病院重症心身障がい学寄附講座¹, くまもと芦北療育医療センター², はっとり心療クリニック³

O-151 成人重症心身障害児・者の血中低カルボキシル化オステオカルシン濃度に関する検討

○小野浩明
県立広島病院小児科

O-152 重症心身障がい児における破骨細胞マーカー Tracp-5b

○渡邊誠司, 愛波秀男, 奥村良法, 飯田 (真野) ちひろ
静岡県立こども病院神経科

O-153 ダウン症における頸椎不安定性についての検討

○牧野道子, 難波由喜子, 松井秀司, 奈須康子, 和田恵子, 松田光展, 赤星恵子, 椎木俊秀, 舟橋満寿子, 鈴木康之
東京小児療育病院小児科

O-154 在宅重症心身障害児・者の介護者における介護負担感に影響を及ぼす因子の検討

—Zarit 介護負担尺度日本語版 (J-ZBI) を用いた検討—

○木原健二^{1,2}, 松井学洋^{1,3}, 河崎洋子⁴, 今西宏之⁴, 水戸 敬⁴, 高田 哲¹
神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域¹, にこにこハウス医療福祉センターリハビリテーション科², 兵庫県立大学看護学部広域健康看護³, にこにこハウス医療福祉センター小児科⁴

O-155 横浜市における重症心身障害児・者の在宅支援システム その現状と課題

○小林拓也
能見台こどもクリニック

17:50~18:50 感染・免疫 2 中毒 (S246)

座長 小坂 仁 (神奈川県立こども医療センター神経内科)
吉良龍太郎 (国立病院機構福岡東医療センター小児科)

O-156 高次脳機能障害が主症状であった多発性硬化症の 1 例

○佐々木昶, 川脇 寿, 温井めぐみ, 堀野朝子, 井上岳司, 岡崎 伸
大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科

O-157 都道府県別の患者数から検討した SSPE 発症の危険因子

○愛波秀男^{1,2}, 飯沼一字², 大塚頌子², 細矢光亮², 市山高志², 岡 明², 鈴木保宏², 野村恵子²
静岡県立こども病院神経科¹, 厚労省 SSPE 研究班サーベイランスグループ²

O-158 反復性過眠症の臨床的検討—インフルエンザと過眠症の関連—

○鳥尾倫子¹, 鳥巢浩幸¹, スビヤント ケイジ², 實藤雅文¹, 石崎義人¹, 酒井康成¹, 神林 崇³,
権藤健二郎², 原 寿郎¹
九州大学大学院成長発達医学¹, 福岡市立こども病院小児神経科², 秋田大学精神科³

O-159 血清・髄液中において抗グルタミン酸受容体抗体が陽性であった paroxysmal tonic upgaze の 1 幼児例

○吉川聡介¹, 福井美保², 柏木 充³, 宮本良平⁴, 島川修一², 田辺卓也⁵, 東川幸嗣⁶, 玉井 浩¹,
高橋幸利⁷
大阪労災病院小児科¹, 大阪医科大学小児科², 枚方市民病院小児科³, 吹田済生会病院小児科⁴, 田
辺・門林こどもクリニック⁵, 清恵会病院小児科⁶, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター
小児科⁷

O-160 抗グルタミン酸受容体 (GluR) 抗体陽性脳炎の 3 例

○大府正治, 松岡剛司, 吉年俊文, 須貝みさき
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科

O-161 リン酸オセルタミビルによる, てんかんモデル動物の聴性脳幹反応の変化: 第 3 報
—マウス脳幹多巴ミンニューロンの発現変化

○川上康彦¹, 斉藤賢一², 村島善也³, 小泉慎也⁴, 桑原健太郎⁴, 藤田武久⁴, 藤野 修⁴, 福永慶隆⁴
日本医科大学多摩永山病院小児科¹, 日本獣医生命科学大学応用生命科学部食品健康環境学², 首都
大学東京大学院人間健康科学研究科³, 日本医科大学小児科⁴

第 2 日目 第 7 会場

9:00~10:00 代謝変性疾患 2 (S248)

座長 後藤雄一 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研 2 部)
杉江秀夫 (自治医科大学小児科)

O-162 進行性大脳白質障害の包括的遺伝子解析

○鳥田姿野^{1,2}, 下島圭子², 大澤真木子², 山本俊至¹
東京女子医科大学統合医科学研究科¹, 同 小児科²

O-163 West 症候群で発症した, Leigh 脳症 (ミトコンドリア遺伝子 8993T>G) の 1 例

○大城亜希子, 奥田美津子, 高野亭子, 和田敬仁, 井合瑞江, 山下純正, 小坂 仁
神奈川県立こども医療センター神経内科

O-164 ベータ-ガラクトシダーゼ欠損症への新たな化合物によるシャペロン療法

○難波栄二¹, 檜垣克美¹, 足立香織^{1,2}, 大野耕策², 鈴木義之³
鳥取大学生命機能研究支援センター¹, 同 脳神経小児科², 国際医療福祉大学大学院³

O-165 POLR3B 遺伝子異常の判明した小脳萎縮と脳梁低形成を伴ったびまん性白質形成不全症 (HCAHC) 姉弟例

○戸田壮一郎¹, 高梨潤一¹, 湯浅正太¹, 小坂 仁², 植松 貢³, 才津浩智⁴
亀田メディカルセンター小児科¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科², 東北大学病院小児
科³, 横浜市立大学遺伝学⁴

O-166 ミトコンドリア病に関する情報ツール作成の試み

○佐藤有希子, 後藤雄一
国立精神・神経医療研究センター病院遺伝カウンセリング室

O-167 メタボライト解析による筋型糖原病の病態分析

○福田冬季子^{1,2}, 石垣景子^{2,3}, 杉江陽子³, 西野一三⁴, 杉江秀夫¹
自治医科大学小児科学¹, 東京女子医科大学小児科学², 浜松医科大学小児科学³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研1部⁴

12:20~13:20 ランチョンセミナー 12: HOYA 株式会社 PENTAX/富士システムズ株式会社…………… (S170)

胃瘻 (PEG) の最新の考え方とデバイス

座長 吉野浩之 (群馬大学教育学部障害児教育学)
講演 草間龍一 (あしかがの森足利病院小児科)

14:50~15:40 不随意運動・基底核疾患…………… (S250)

座長 瀬川昌也 (瀬川小児神経学クリニック)
佐々木秀直 (北海道大学大学院神経内科学)

O-168 自閉症の常同運動との鑑別を要した Bobble-head doll syndrome の男児例

○本島敏乃^{1,2}, 小俣 卓¹, 新井ひでえ¹, 田辺雄三^{1,3}
千葉県立こども病院神経科¹, 本島総合病院小児科², そがこどもクリニック³

O-169 変性疾患 4 症例のミオクロニーに対するレベチラセタムの有効性について

○遠藤彰一, 藤原由美, 松岡 舟, 桐野友子, 永井盛博
国立病院機構香川小児病院神経内科

O-170 全身性ジストニア 4 例に対する淡蒼球内節刺激療法の経験

○笠井恵美¹, 熊田聡子¹, 下田木の実¹, 白井育子¹, 八谷靖夫¹, 栗原栄二¹, 谷口 真², 横地房子³
東京都立神経病院神経小児科¹, 同 脳神経外科², 同 脳神経内科³

O-171 瀬川病との鑑別に苦しんだ若年性パーキンソン病の 1 例

○太田みのり^{1,3}, 下郷幸子¹, 小西順子¹, 武内俊樹¹, 有馬ふじ代², 山本敬一³, 高橋孝雄¹
慶應義塾大学小児科¹, 国立病院機構東京医療センター小児科², 伊勢原協同病院小児科³

O-172 新しい GCHI 遺伝子変異を持つ dopa-responsive dystonia の一卵性 3 つ子を含む 1 家系

○館 延忠¹, 城 守², 篠田 實³, 高橋 悟⁴
札幌医科大学保健医療学部¹, 城小児科クリニック², 函館共愛会病院³, 旭川医科大学小児科⁴

15:40~16:40 奇形・染色体 1…………… (S252)

座長 黒澤健司 (神奈川県立こども医療センター遺伝科)
蒔田芳男 (旭川医科大学教育センター)

O-173 9q31.2-q32 微細欠失を認めた精神発達遅滞を伴う先天異常症の男児例

○藤井裕士¹, 小林良行¹, 石川暢恒¹, 小野浩明², 林 深³, 稲澤譲治⁴
広島大学附属病院小児科¹, 県立広島病院小児科², 東京医科歯科大学硬組織ゲノムセンター³, 同 難治疾患研究所分子細胞遺伝学⁴

O-174 1p36 欠失症候群児の発達経過

○平澤恭子¹, 下島圭子², 島田姿野¹, 前垣善弘³, 松尾真理^{1,4}, 大澤真木子¹, 山本俊至²
東京女子医科大学小児科¹, 同 統合医科学研究所², 鳥取大学脳神経小児科³, 東京女子医科大学 附属遺伝子医療センター⁴, 東京都立府中療育センター⁵

O-175 1p36 欠失症候群の全国実態調査結果

○島田姿野^{1,2}, 下島圭子¹, 松尾真理^{2,3,4}, 平澤恭子², 前垣善弘⁵, 大澤真木子², 山本俊至¹
東京女子医科大学統合医科学研究所¹, 同 小児科², 同 附属遺伝子医療センター³, 東京都立府中療育センター⁴, 鳥取大学脳神経小児科⁵

O-176 片親性ダイソミー Prader-Willi 症候群と排卵誘発剤

○小林康子¹, 大村 清¹, 松原圭子², 村上信行², 永井敏郎²
国立病院機構西多賀病院小児科¹, 獨協医科大学越谷病院小児科²

O-177 日本人 Prader-Willi 症候群でのけいれんの頻度と特徴

○竹下絵里¹, 村上信行¹, 作田亮一², 永井敏郎¹
獨協医科大学越谷病院小児科¹, 同 子どものこころ診療センター²

O-178 Angelman 症候群のてんかん特性と長期予後, CZP 単剤療法の有用性

○松塚敦子^{1,2}, 井上久子², 泉 達郎¹
大分大学小児科小児神経科¹, 別府発達医療センター²

- 16:40~17:40 奇形・染色体 2 (S254)
- 座長 久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)
岡本伸彦 (大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科)
- O-179 自傷行為を繰り返す多発性多小脳回と片側性脳梁体部欠損の男児例
○瀬戸俊之^{1,2}, 加藤光広³, 三木幸雄⁴, 植松 貢⁵, 新宅治夫¹
大阪市立大学大学院発達小児医学¹, 市立柏原病院小児科², 山形大学小児科³, 大阪市立大学大学院放射線医学⁴, 東北大学大学院小児病態学⁵
- O-180 Septo-optic dysplasia を呈し多彩な所見を認めた蝶形骨脳髄膜瘤の 1 男児例
○伊藤昌弘, 石渡久子, 玉木久光
東京都立墨東病院小児科
- O-181 有馬症候群の実態解明: 全国疫学調査からの報告
○岩崎裕治¹, 伊藤雅之², 大野耕策³, 井手秀平¹, 井上岳彦⁴, 林 雅晴⁵, 松坂哲應⁶, 有馬正高¹
東京都立東部療育センター小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研 2 部², 鳥取大学脳神経小児科³, ベリタス病院小児科⁴, 東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト⁵, 長崎県立こども医療福祉センター小児科⁶
- O-182 難聴を合併した Duane 症候群の 2 例
○高野亨子, 奥田美津子, 和田敬仁, 井合瑞江, 山下純正, 小坂 仁
神奈川県立こども医療センター神経内科
- O-183 皮質形成異常ならびに新生児水頭症を合併した Klippel-Trenaunay 症候群の 1 男児例
○武者育麻, 阿部裕一, 酒井哲郎, 山内秀雄
埼玉医科大学小児科
- O-184 周産期より重症の表現型を呈した Noonan 症候群の 3 症例
○中原彰彦, 長野理恵, 池田俊郎
宮崎大学小児科学
- 17:40~18:50 発達障害 4 (S256)
- 座長 小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)
須見よし乃 (札幌医科大学小児科)
- O-185 幼児・児童における筆記用具の使用スキルと把持形態について
○三見敦子¹, 江口亮太¹, 大歳太郎^{1,2}, 篠川裕子¹, 高田 哲¹
神戸大学大学院保健学研究科¹, 関西福祉科学大学保健医療学部²
- O-186 Little Developmental Coordination Disorder Questionnaire (Little DCDQ) 日本語版の作成と日本文化への適応
○中井昭夫¹, 三橋美典², 川谷正男³, Brenda N. Wilson⁴, Tanya Rihtman^{4,5}, Shula Parush⁵
福井大学子どものこころの発達研究センター¹, 同 教育地域科学部², 同 小児科学³, Alberta Health Services and University of Calgary, Calgary, Canada⁴, Hadassah-Hebrew University Medical Center, Jerusalem, Israel⁵
- O-187 知的障害を伴わない発達障害を持つ不器用児への支援の工夫
○宮地泰士^{1,2,3}, 鷺見 聡^{2,3}, 齋藤伸治³
名古屋市あけぼの学園¹, 名古屋市西部地域療育センター², 名古屋市立大学小児科³
- O-188 5 歳児健診を契機に当院を受診した児の経過の解析
○渡辺浩史, 滝口慎一郎, 下泉秀夫
国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園
- O-189 就学前のアスペルガー障害の女児例の特徴について
○山内裕子^{1,2}, 羽田絃子¹, 宮尾益知¹, 中野三津子¹, 奥山真紀子^{1,2}, 井田博幸²
国立成育医療研究センターこころの診療部¹, 東京慈恵会医科大学小児科²
- O-190 発達障害の家族療法—アスペルガー障害の父のピアカウンセリング—
○羽田絃子¹, 山内裕子^{1,2}, 中野三津子¹, 宮尾益知¹, 奥山真紀子^{1,2}
国立成育医療研究センター病院こころの診療部¹, 東京慈恵会医科大学附属病院小児科²
- O-191 こども病院における発達障害専門外来の開設—現状と課題—
○平林伸一¹, 笛木 昇²
長野県立こども病院神経小児科¹, 同 リハビリテーション科²

第 2 日目 ポスター 第 1 会場

- 10:10~11:25 てんかん, けいれん 2 (S346)
 座長 高山留美子 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
 最上友紀子 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科)
- P-196 ケトン食療法中の血中セレン, 亜鉛と銅の検討
 ○林 安里¹, 熊田知浩¹, 齊藤景子¹, 野崎章仁¹, 日衛嶋郁子¹, 宮嶋智子¹, 藤井達哉¹, 高田美雪²
 滋賀県小児保健医療センター小児科¹, 同 栄養指導科²
- P-197 修正アトキンス食のみで発作が抑制された難治性ミオクローニー失立てんかんの 1 例
 ○石田真実¹, 佐藤敦志^{1,2}, 高橋 悟³, 水口 雅⁴
 太田西ノ内病院小児科¹, 東京大学大学院小児科学², 旭川医科大学小児科³, 東京大学大学院発達医学⁴
- P-198 難治性てんかんにケトン食療法が有効であった新生児仮死後の低酸素性虚血性脳症の 2 例
 ○雨宮 馨¹, 小出彩香², 後藤知英², 富田 直², 三山佐保子², 相崎貢一¹, 小沢倫理¹, 小沢 浩¹, 井上祐紀³
 島田療育センターはちおうじ神経小児科¹, 東京都立小児総合医療センター神経内科², 島田療育センターはちおうじ児童精神科³
- P-199 周産期異常をもつ症候性てんかん症例における臨床的特徴
 ○池上真理子, 杉山延喜, 横山淳一
 東海大学付属病院小児科
- P-200 Colored Density Spectral Array (CDSA) を用いた CSWS を持つてんかんの評価
 ○伊藤智城¹, 最上友紀子¹, 高山留美子¹, 池田浩子¹, 大谷英之¹, 秋山倫之¹, 今井克美¹, 重松秀夫¹, 高橋幸利¹, 井上有史²
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科¹, 同 精神科²
- P-201 年長重症心身障害者における難治性てんかんの検討
 ○加藤里絵^{1,2}, 松塚敦子^{1,2}, 鈴木正義^{2,3}, 泉 達郎²
 別府発達医療センター小児科¹, 大分大学神経小児科², 大分県厚生連鶴見病院小児科³
- P-202 PCDH19 変異を認めたが異なる臨床像を呈した姉妹例
 ○保立麻美子¹, 日暮憲道², 廣瀬伸一², 白井謙太郎^{1,3}, 荒木 聡^{1,4}, 菅原祐之¹
 東京医科歯科大学小児科¹, 福岡大学小児科², 鳥取大学脳神経小児科³, 東京都立駒込病院小児科⁴
- P-203 スパズム発作を有する結節性硬化症を伴った難治性てんかんに対するピガバトリンの効果
 ○小林朋子, 植松 貢, 中山東城, 鈴木理恵, 遠藤若葉, 佐藤 亮, 福與なおみ, 沼田有里佳, 呉 繁夫
 東北大学病院小児科
- P-204 フェノバルビタール投与によるてんかんモデルマウスの聴性脳幹反応および脳波の変化
 ○斉藤賢一¹, 川上康彦², 小泉慎也³, 桑原健太郎⁴, 藤田武久⁵, 藤野 修³, 福永慶隆⁴
 日本獣生命科学大学食品健康環境学¹, 日本医科大学多摩永山病院小児科², 同 千葉北総病院小児科³, 同 付属病院小児科⁴, 同 武蔵小杉病院小児科⁵
- P-205 染色体 15 番 q11-q13 の逆位重複を認めたてんかんの 1 例
 ○西田智子^{1,2}, 山本真由美³, 小西行彦², 河田真由美⁴, 難波正則⁴, 磯部健一², 伊藤 進²
 香川大学教育学部¹, 同 医学部小児科², 内海病院小児科³, かがわ総合リハビリテーション病院小児科⁴
- P-206 てんかん重積状態患者の急性期脳波所見の検討
 ○西村洋子, 成田 綾, 近藤章子, 戸川雅美, 前垣義弘, 大野耕策
 鳥取大学脳神経小児科
- P-207 当科で最近経験した West 症候群 8 例の臨床的検討
 ○瀬島 斉, 和田啓介, 内田由里, 東本和紀, 平出智裕, 齋藤恭子
 松江赤十字病院小児科
- P-208 染色体 9q33-34 に微小欠失を認めた大田原症候群の 1 例
 ○松本 浩¹, 座波清誉¹, 中村康子¹, 林 深², 稲澤穰治²
 防衛医科大学校小児科¹, 東京医科歯科大学難治疾患研究所分子細胞遺伝学²

- P-209 Levetiracetam 大量療法の有効性と安全性**
 ○沢石由記夫, 稲見育大, 平山 文
 秋田県立医療療育センター小児科
- P-210 レベチラセタム初回摂取直後より過剰睡眠を来した 2 例**
 ○久保田弘樹¹, 木村 滋², 沢石由記夫³
 秋田大学大学院小児科学¹, 秋田赤十字病院小児科², 秋田県立小児医療療育センター³
- P-211 トピラマートにおける発汗減少**
 ○岡野彩子¹, 高橋 教¹, 宮田理英¹, 神山 潤²
 東京北社会保険病院小児科¹, 東京ベイ・浦安市川医療センター²
- P-212 バルプロ酸ナトリウム中止後 2 年経過してもファンコニ症候群の状態が改善しない 4p-症候群の 1 例**
 ○太田正康
 JA とりで総合医療センター小児科
- P-213 難治性前頭葉てんかんに対するレベチラセタムの有効性の検討**
 ○井手口博¹, 二之宮信也¹, 井原由紀子¹, 友納優子², 藤田貴子³, 井上貴仁², 安元佐和¹, 廣瀬伸一¹
 福岡大学小児科¹, 高木病院小児科², 都城医師会病院小児科³
- P-214 重症心身障害者の難治てんかんに対するレベチラセタムの効果**
 ○河崎洋子, 今西宏之, 西村美緒, 水戸 敬
 にこにこハウス医療福祉センター
- P-215 熱性けいれん重積における脳波所見の検討**
 ○龍神布紀子, 吉岡誠一郎, 阪上由子, 高野知行, 竹内義博
 滋賀医科大学附属病院小児科
- P-216 小児難治性てんかんにおける新規抗てんかん薬の臨床効果**
 ○黒田文人¹, 池野 郁¹, 横井彩乃¹, 三谷裕介¹, 新井田要²
 金沢大学小児科¹, 同 子どものこころの発達研究センター²
- P-217 親の性腺モザイクによると考えられる SCN1A 変異を持つ, 乳児重症ミオクローニーてんかん (Dravet 症候群) のきょうだい例**
 ○奈倉道明¹, 田村正徳², 佐々木征行², 広瀬伸一³
 埼玉医科大学総合医療センター小児科¹, 福岡大学小児科², 国立精神・神経医療研究センター小児神経内科³

第 2 日目 ポスター 第 2 会場

- 10:10~11:25 急性脳炎・脳症/発達障害の療育・支援 (S353)
 座長 大屋一博 (札幌医科大学小児科)
 大柳玲嬉 (北海道立子ども総合医療・療育センター小児神経科)
- P-218 MR ワクチン接種後に発症した急性散在性脳脊髄炎 (ADEM)**
 ○利根川仁¹, 榊原崇文¹, 森近省吾², 嶋 緑倫¹
 奈良県立医科大学附属病院小児科¹, 町立大淀病院小児科²
- P-219 マイコプラズマ感染後に辺縁系症状を呈し mPSL パルス療法が著効した 1 例**
 ○横山はるな, 馬場信平, 糺 敏彦
 武蔵野赤十字病院小児科
- P-220 家族への心理教育と並行した高機能広汎性発達障害児のソーシャルスキルトレーニングの有効性の検討—2 年間の実施結果—**
 ○山本知加¹, 辰巳愛香¹, 奥野裕子¹, 吉崎亜里香¹, 酒井佐枝子², 毛利育子^{1,2}, 谷池雅子^{1,2}
 大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 同 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所²
- P-221 高機能広汎性発達障害児のソーシャルスキルトレーニングと並行した家族への心理教育の有効性の検討—2 年間の実施結果—**
 ○奥野裕子¹, 山本知加¹, 辰巳愛香¹, 吉崎亜里香¹, 酒井佐枝子², 毛利育子^{1,2}, 永井利三郎^{1,3}, 谷池雅子^{1,2}
 大阪大学大学院連合小児発達学研究所子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 同 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・連合小児発達学研究所², 同 保健学専攻³

- P-222 広汎性発達障害児における医療・保育連携モデルの 1 例
 ○井上菜穂¹, 井上雅彦², 大野耕策^{1,3}
 鳥取大学大学院脳神経小児科学¹, 同 大学院臨床心理学², 同 附属病院脳神経小児科³
- P-223 5 年間の無症候期間後に再燃した多相性散在性脳脊髄炎の 1 例
 ○山本達也, 花田 勇, 加村 梓, 藤田浩史
 弘前大学小児科
- P-224 一般病院小児科病床における 18 歳以上の小児期発症神経筋疾患患者の入院のまとめと考察
 ○森田昌男
 千葉県勤医協船橋二和病院
- P-225 当院での発達障害児親子支援グループの取り組み
 ○中野加奈子
 六甲アイランド病院小児科
- P-226 こども相談室方式による発達障害児の相談にかかる費用と効果の検討
 ○堀口寿広¹, 秋山千枝子²
 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所社会精神保健研究部¹, あきやま子どもクリニック²
- P-227 言語発達遅滞を主症状として来院された多言語環境で育てられた 12 症例についての考察
 ○本澤志方, 荒井康裕, 野口ひとみ, 井手秀平, 大越優美, 益山龍雄, 太田秀臣, 岩崎裕治, 有馬正高
 東京都立東部療育センター
- P-228 自閉症スペクトラム障害に合併した不登校 3 例の検討
 ○後藤晴美, 岸林千晶
 さいたま市総合療育センターひまわり学園
- P-229 幼児期の発達障害児をもつ親のストレス評価
 ○島川修一^{1,2}, 田辺卓也², 九鬼一郎², 柏木 充², 宇野里砂², 鳥邊泰久², 荒井 洋², 田川哲三², 今石秀則², 永井利三郎², 西田 勝²
 大阪医科大学附属病院小児科¹, 大阪小児科医会²
- P-230 キャリーオーバーをむかえた発達障がい児・者の現状について一当院での状況一
 ○伊住浩史, 石川尚子, 松藤博紀, 杉尾陽子, 杉尾嘉嗣
 鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科
- P-231 日本語習得が十分でない発達障がい児の診療の現状と問題点
 ○宮本 健
 市立湖西病院小児科
- P-232 RS ウイルスによる小脳炎の 1 例
 ○伴 紘文¹, 黒川大輔¹, 高見勇一¹, 高橋幸利²
 姫路赤十字病院小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-233 グルタミン酸受容体抗体陽性の脳炎・脳症の 4 例の検討
 ○服部妙香¹, 田中勝治¹, 匹田典克¹, 瀬戸俊之¹, 松岡 収¹, 新宅治夫¹, 佐久間悟², 服部英司³, 高橋幸利⁴
 大阪市立大学発達小児科¹, 和泉市立病院小児科², 西宮すなご医療福祉センター³, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科⁴
- P-234 「ありがとう作戦」により改善した反抗挑戦性障害の 1 例
 ○小沢 浩¹, 井上祐紀²
 島田療育センターはちおうじ神経小児科¹, 同 児童精神科²
- P-235 腸管出血性大腸菌 (EHEC) 脳症の剖検例
 ○澤浦法子, 釜蒔桂子, 村松一洋, 荒川浩一
 群馬大学大学院小児科学
- P-236 5 歳児健診において、保護者に気づきを持ってもらうために
 ○野邑健二
 名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター
- P-237 発達障害児における Wechsler 式知能検査の知能の分析
 ○森山伸子, 佐藤未織, 直井高歩, 小宅奈津子
 日立製作所ひたちなか総合病院小児科
- P-238 低酸素性虚血性脳症後に中枢性塩類喪失症候群を発症した 3 症例
 ○松尾直樹, 京極 都, 丸田香奈子, 岩井明日香, 松隈英治, 今村 淳
 岐阜県総合医療センター小児科

- P-239 二相性脳症の遠隔期における拡散テンソル画像
○中原絵理, 池野 充, 嶋 泰樹, 細澤麻理子, 安部信平, 清水俊明, 奥村彰久
順天堂大学小児科・思春期科
- P-240 発達障害児の親に対するグループペアレントトレーニングの効果—課題達成とメンタルヘルスの分析—
○井上雅彦
鳥取大学大学院臨床心理学
- P-241 3 回急性脳症を繰り返した女児例
○五十嵐愛子, 井手見名子, 津田英夫
福井県立病院小児科

第 2 日目 ポスター 第 3 会場

- 10:10~11:25 脳性麻痺・療育 (S361)
座長 伊藤希美 (札幌社会保険総合病院小児科)
末田慶太郎 (静岡医療福祉センター小児神経科)
- P-242 二次性カルニチン欠乏に対する調製粉乳を利用したカルニチン補充療法
○大瀧 潮¹, 小沢 浩^{1,2}, 上石晶子¹, 石塚丈広¹, 有本 潔¹, 木実谷哲史¹, 柳橋達彦³, 三橋隆行⁴, 眞山義民⁵, 山本重則⁵
島田療育センター小児科¹, 同 はちおうじ², 慶應義塾大学クリニカルリサーチセンター³, 同小児科⁴, 国立病院機構下志津病院⁵
- P-243 重症心身障害児における噴門形成術・胃瘻造設術での術後合併症についての検討
○塩田陸記¹, 舟塚 真¹, 世川 修², 大澤真木子¹
東京女子医科大学病院小児科¹, 同 外科²
- P-244 重症心身障害児(者)の誤嚥に対する声門閉鎖術と喉頭気管分離術の比較
○大島早希子^{1,2}, 竹内千仙³, 有賀賢典^{1,2}, 早川美佳^{1,2}, 岩村美佳¹, 三枝英人⁴, 今井祐之^{1,2}, 落合幸勝^{1,2}, 井田博幸²
東京都立北療育医療センター小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 東京都立北療育医療センター内科³, 日本医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科⁴
- P-245 在宅人工呼吸療法中に関節リウマチを発症した遺伝性ニューロパチーの 1 例
○南風原明子, 森山剣光, 内山 薫, 高橋孝治, 山本敦子, 渡辺章充
総合病院土浦協同病院小児科
- P-246 小児神経学に関連した診療ガイドラインの現況
○岡本健太郎
愛媛県立中央病院小児科
- P-247 重症心身障害児に発症した盲腸捻転の 1 例
○桃木恵美子, 今井由生, 石井和嘉子, 遠藤あゆみ, 荒川千賀子, 小平隆太郎, 藤田之彦, 瀧上達夫, 麦島秀雄
日本大学小児科学
- P-248 小児の在宅人工呼吸器管理児の現状と問題点
○長嶋雅子, 森 雅人, 門田行史, 福田冬季子, 野崎靖之, 山形崇倫, 杉江秀夫, 桃井真里子
自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科
- P-249 福島県における東日本大震災での重症心身障害児・者の状況と今後の対策
○石井希代子¹, 森田浩之², 三島 博³, 加藤朝子⁴, 細矢光亮⁴
国立病院機構福島病院小児科¹, 福島県総合療育センター², 大原総合病院³, 福島県立医科大学附属病院小児科⁴
- P-250 モジュラー式座位保持装置による座位トレーニングを行った未定頸の 4 症例
○須貝みさき, 吉年俊文, 松岡剛司, 大府正治
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
- P-251 重症心身障害児(者)における適切な栄養摂取量に関する検討—特にタンパク質摂取量と尿中カルシウム排泄との関連について—
○百崎 謙^{1,2}, 奥村健治^{1,2}, 長田陽一², 木村昭彦², 松葉佐正^{1,2,3}
熊本大学小児科¹, くまもと北療育医療センター小児科², 熊本大学重症心身障がい学寄附講座³

- P-252 側弯を伴う重症心身障害児・者の気管カニューレ固定に関する考案
○武市知己, 小倉英郎
国立病院機構高知病院小児科
- P-253 小児の下肢痙縮に対しボツリヌストキシン A 療法を施行した 7 例
○中務秀嗣, 舟塚 真, 塩田陸記, 平澤恭子, 大澤真木子
東京女子医科大学小児科
- P-254 重症心身障害児 (者) に対する NPPV 療法の臨床経験
○早川美佳^{1,2}, 有賀賢典^{1,2}, 大島早希子^{1,2}, 岩村美佳¹, 今井祐之^{1,2}, 落合幸勝¹, 井田博幸²
東京都立北療育医療センター小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²
- P-255 千葉県の小児科・新生児科で長期入院している重症心身障害児の実態と在宅移行児童一時支援事業の実施状況
○山本重則^{1,2}, 石原あゆみ¹, 石井光子^{2,3}
国立病院機構下志津病院小児科¹, 千葉県小児科医会障害児在宅支援委員会², 千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科³
- P-256 演題取り下げ
- P-257 重篤な合併症を呈した極低出生体重児のアテトーゼ型脳性麻痺の 3 例
○平井聡里¹, 北井征宏¹, 荒井 洋¹, 安部治郎²
森之宮病院小児神経科¹, 県立西宮病院小児科²
- P-258 重度の呑気に対し, アリピプラゾール投与を行った重症心身障害者の 2 例
○黒澤真紀子, 金子かおり, 筑丸ゆり, 岩本弘子, 唐澤久美子, 青山晴彦, 根津敦夫
横浜療育医療センター小児科
- P-259 Paroxysmal ocular downward deviation を呈した乳児の臨床症状
○渡邊健二¹, 佐野のぞみ¹, 塗木雄一朗¹, 吉留幸一¹, 藤山りか²
国立病院機構南九州病院小児科¹, 鹿児島県立北薩病院小児科²
- P-260 重症心身障害児において定期的な肺内パーカッションベンチレーターの施行は呼吸器感染症予防に有効か?
○遠藤雄策, 鈴木輝彦
浜松市発達医療総合福祉センター小児科
- P-261 島田療育センターにおける 50 年間の入所者死亡原因の検討
○三輪真美¹, 石塚丈広¹, 小沢 浩², 大瀧 潮¹, 上石晶子¹, 高橋有美¹, 苛原 香¹, 有本 潔¹, 木実谷哲史¹, 稲田 譲³
島田療育センター小児科¹, 同 はちおうじ², 同 歯科診療科³
- P-262 肢体不自由児施設における被虐待児の実態調査—被虐待 (と疑い) 児童数と施設の対応について—
○米山 明¹, 長瀬美香¹, 下山田洋三²
心身障害児総合医療療育センター小児科¹, 愛徳医療福祉センター小児科²
- P-263 コドモックルにおける小児リハビリテーションの現況と課題
○續 晶子, 石川亜貴, 重富浩子
北海道立子ども総合医療・療育センター小児リハ科
- P-264 気管切開・人工呼吸管理を行っている症例の在宅医療に必要な環境とは
○倉橋宏和, 林 直子, 梅村紋子, 山田桂太郎, 丸山幸一, 熊谷俊幸
愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科

第 2 日目 ポスター 第 4 会場

- 10:10~11:25 筋/精神障害, 行動異常/その他…………… (S369)
座長 坂井多恵子 (札幌市西保健センター)
朝比奈直子 (北海道大学大学院小児科学)
- P-265 眼筋型重症筋無力症のステロイド治療法に関する検討
○白井育子, 笠井恵美, 下田木の実, 八谷靖夫, 熊田聡子, 繁友律子, 栗原栄二
東京都立神経病院神経小児科

- P-266 本邦における Marinesco-Sjögren 症候群の実態調査**
 ○後藤昌英¹, 小牧宏文¹, 齋藤貴志¹, 斎藤義明¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 岡田麻里², 林由起子², 埜中征哉², 西野一三²
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 同 神経研究所疾研 1 部²
- P-267 Duchenne 型筋ジストロフィー児の母親への対応についての医師への調査研究**
 ○藤野陽生¹, 岩田優子¹, 柴田早紀¹, 齊藤利雄², 松村 剛², 井村 修¹, 神野 進³
 大阪大学大学院人間科学研究科¹, 国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科², しんのクリニック³
- P-268 筋原線維性ミオパチーにおける新規 BAG3 変異**
 ○佐藤孝俊^{1,2}, 林由起子¹, 埜中征哉¹, 大澤真木子², 西野一三¹
 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研 1 部¹, 東京女子医科大学小児科²
- P-269 幼発症の遠位型ミオパチーの 2 例**
 ○岡崎哲也¹, 小牧宏文¹, 石山昭彦¹, 鋤柄小百合¹, 藤井克則², 齋藤貴志¹, 斎藤義明¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 林由起子³, 西野一三³
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 千葉大学大学院小児病態学², 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研 1 部³
- P-270 筋線維タイプ不均等症を呈する LMNA 遺伝子変異例の検討**
 ○梶野幸子^{1,2}, 林由起子¹, 石垣景子², 埜中征哉¹, 大澤真木子², 西野一三¹
 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研 1 部¹, 東京女子医科大学病院小児科²
- P-271 γ グロブリン大量定期投与が有効な難治性若年性皮膚筋炎の 4 歳男児例**
 ○松井 潤, 吉岡誠一郎, 龍神布紀子, 阪上由子, 高野知行, 竹内義博
 滋賀医科大学小児科学
- P-272 当院で経験した Duchenne 型筋ジストロフィー患者 (DMD) に合併した気胸の検討**
 ○向田壮一, 酒井直子, 白石一浩
 国立病院機構宇多野病院小児科
- P-273 小児神経疾患に合併した不眠症におけるラメルテオンの効果と安全性**
 ○宮内彰彦, 山形崇倫, 長嶋雅子, 福田冬季子, 森 雅人, 杉江秀夫, 桃井真里子
 自治医科大学小児科
- P-274 福山型先天性筋ジストロフィーを合併したダウン症候群の 1 例**
 ○大久保真理子¹, 高橋 寛¹, 小牧宏文², 南 成祐³
 青梅市立総合病院小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科², 同 臨床検査部遺伝子検査診断室³
- P-275 先天性筋緊張性ジストロフィー患者における CTG リピート数と症状の関係性—当院 7 患者での検討—**
 ○渡辺陽和, 木水友一, 松岡太郎
 市立豊中病院小児科
- P-276 漏斗胸手術と NIPPV 導入により繰り返す呼吸器感染症の改善を認めた congenital myopathy with type 1 fiber predominance の 1 例**
 ○近藤英輔¹, 赤池洋人¹, 加藤 敦¹, 藤本洋樹¹, 遠藤文香²
 川崎医科大学小児科学¹, 岡山大学大学院発達神経病態学²
- P-277 ステロイド抵抗性の全身型重症筋無力症に対し、タクロリムスを導入した 1 例**
 ○田中朋美, 宮 一志, 倉本 崇, 藤木靖子, 田仲千秋, 宮脇利男
 富山大学小児科
- P-278 シクロスポリン A により良好なコントロールが得られた、ステロイド抵抗性全身型重症筋無力症の 1 例**
 ○井庭慶典¹, 藤田真輔¹, 柳田英彦², 竹村 司¹
 近畿大学小児科¹, くしもと町立病院小児科²
- P-279 脊髄性筋萎縮症の心機能異常**
 ○齊藤利雄¹, 西尾久英², 松村 剛¹
 国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科¹, 神戸大学大学院地域社会医学・健康科学講座疫学²
- P-280 自閉症スペクトラム障害に合併した摂食障害の治療戦略**
 ○縄手 満
 KKR 札幌医療センター小児科

- P-281 運動・寒冷に誘発される Sodium Channel Myotonia—SCN4A (c.3917G) 点変異とその臨床像—**
 ○藤井克則¹, 迫田俊一², 安斎 聡¹, 高木敦子¹, 水落弘美¹, 塩浜 直¹, 内田智子¹, 内川英紀¹, 河野陽一¹
 千葉大学大学院小児病態学¹, 鹿児島大学病院神経内科²
- P-282 非侵襲的陽圧換気療法を導入したメロシン欠損型先天性筋ジストロフィーの 2 例**
 ○渡辺美緒¹, 椎原 隆¹, 臼田由美子², 河畑孝佳³, 斎藤加代子⁴
 群馬県立小児医療センター神経内科¹, 同 リハビリテーション課², 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科³, 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター⁴
- P-283 結節性硬化症の精神・行動上の問題に関する疫学的検討**
 ○柳橋達彦^{1,2}, 小崎健次郎^{1,3}, 高橋孝雄¹
 慶應義塾大学小児科¹, 同 クリニカルリサーチセンター², 同 臨床遺伝学センター³
- P-284 ACTA1 遺伝子変異を有する重症乳児型ネマリンミオパチーの兄弟例**
 ○須藤 章¹, 林由紀子², 佐野仁美¹, 川村信明¹, 西野一三², 埜中征哉²
 市立札幌病院小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾患研 1 部²
- P-285 ステロイド治療が脱力に著効した発症 1 カ月のナルコレプシー女児の 1 例**
 ○宮田理英¹, 林 雅晴², 田沼直之³, 神山 潤^{1,4}
 東京北社会保険病院小児科¹, 東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト², 東京都立府中療育センター³, 東京ベイ・浦安市川医療センター小児科⁴
- P-286 下肢痙縮に対するボトックス療法の効果は電気治療の併用で持続する**
 ○大西伸悟¹, 足立昌夫²
 加古川西市民病院リハビリテーション科¹, 同 小児科²
- P-287 長期間ステロイド治療を行っている Duchenne 型筋ジストロフィー 3 例の検討**
 ○矢野珠巨¹, 豊野美幸¹, 久保田弘樹¹, 石川小枝¹, 高橋 勉¹, 沢石由記夫²
 秋田大学大学院小児科学¹, 秋田県立医療療育センター小児科²
- P-288 ミトコンドリア DNA G13513A の変異を認めた Leigh 脳症の 1 例**
 ○石川小枝, 矢野珠巨, 豊野美幸
 秋田大学大学院小児科学
- P-289 著明な低カルニチン血症と胆汁うっ滞肝障害をきたしたミオチューブラーミオパチーの 1 例**
 ○折居建治^{1,2}, 森本将敬^{1,2}, 笠原由貴子², 青木雄介³, 寺本貴英², 加藤善一郎², 深尾敏幸², 近藤直実²
 岐阜大学附属病院新生児集中治療部¹, 同 小児科², 長良医療センター小児科³

第 2 日目 ポスター 第 5 会場

- 10:10~11:25 発達障害検査／血管障害 …………… (S377)
 座長 柳生一自 (楡の会こどもクリニック)
 高橋有美 (島田療育センター小児科)
- P-290 急激な視力低下を来した網膜中心動脈閉塞症の 1 女児例**
 ○水落弘美, 藤井克則, 須山麻衣子, 高木敦子, 塩浜 直, 内川英紀, 河野陽一
 千葉大学大学院小児病態学
- P-291 Sturge-Weber 症候群 8 症例の臨床的検討**
 ○柏井洋文, 安藤亜希, 寺嶋 宙, 太田さやか, 久保田雅也
 国立成育医療研究センター神経内科
- P-292 乳児期より石灰化を認め一過性記憶障害を呈したもやもや病の 8 歳男児例**
 ○内川英紀¹, 藤井克則¹, 大場 洋², 藤田真祐子¹, 水落弘美¹, 塩浜 直¹, 奥主朋子³, 高木敦子³, 河野陽一¹
 千葉大学大学院小児病態学¹, 帝京大学放射線科², 同 ちば総合医療センター小児科³
- P-293 広汎性発達障害児における ABC-J の再検査信頼性の検討**
 ○榎園 崇¹, 中川栄二¹, 遠藤ゆかり¹, 永井盛博¹, 松田悠子¹, 齋藤貴志¹, 斎藤義朗¹, 小牧宏文¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 安村 明², 稲垣真澄²
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 同 精神保健研究所知的障害研究部²

- P-294 新生児期に石灰化病変を認めた Sturge-Weber 症候群 2 例の臨床経過**
 ○粟嶋勇也¹, 柴田晶美^{1,2}, 成宮正朗¹, 吉岡誠一郎³, 龍神布紀子³, 阪上由子³, 高野知行³, 竹内義博³, 多賀俊明⁴, 西倉紀子⁵
 長浜赤十字病院小児科¹, 日野記念病院小児科², 滋賀医科大学小児科³, 市立長浜病院小児科⁴, 済生会滋賀県病院小児科⁵
- P-295 当院で経験した海綿静脈洞症候群の 1 女兒例**
 ○畑中マリ, 島川修一, 野村昇平, 福井美保, 玉井 浩
 大阪医科大学附属病院小児科
- P-296 広汎性発達障害における CARS スコアの変化に関する検討**
 ○西上奈緒子, 岩崎信明, 中山純子, 絹笠英世, 稲田恵美, 新 健治
 茨城県立医療大学付属病院小児科
- P-297 インフルエンザ感染を契機に脳梗塞を発症したもやもや病の 2 例**
 ○田島大輔, 松尾宗明
 佐賀大学小児科
- P-298 Continuous performance test の刺激提示間隔変動が成績に及ぼす影響**
 ○津島靖子^{1,2}, 眞田 敏², 柳原正文², 大野 繁³, 平澤利美^{1,2}, 岡 牧郎⁴, 荻野竜也⁵, 大塚頌子⁴
 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科¹, 岡山大学大学院教育学研究科発達支援学², 大野小児科医院³, 岡山大学大学院発達神経病態学⁴, 中国学園大学子ども学部子ども学科⁵
- P-299 新生児期の血中オキシトシン濃度測定は、オキシトシン分泌機能不全型自閉症の早期診断、早期治療介入に有用であるか**
 ○石北直之^{1,2}, 柁 一毅¹, 植田佑樹³, 大塚耕右³, 中島 翠³, 白石秀明³
 岩手医科大学解剖学¹, 青森県立はまなす医療療育センター小児科², 北海道大学大学院小児科学³
- P-300 MRA, 脳波所見が診断に有用であった家族性片麻痺性片頭痛の 13 歳男子例**
 ○細川卓利, 満田直美, 大石 拓, 高杉尚志, 久川浩章, 藤枝幹也, 脇口 宏
 高知大学小児思春期医学
- P-301 Keio 版 Wisconsin card sorting test による AD/HD を併存した PDD 群の実行機能の検討**
 ○加戸陽子¹, 眞田 敏², 柳原正文², 荻野竜也³, 大野 繁⁴, 渡邊聖子⁵, 中野広輔⁶, 諸岡輝子⁷, 岡 牧郎⁷, 大塚頌子⁷
 関西大学文学部心理学専修¹, 岡山大学教育学研究科², 中国学園大学子ども学部³, 大野小児科医院⁴, 総合川崎臨港病院小児科⁵, 松山赤十字病院小児科⁶, 岡山大学大学院発達神経病態学⁷
- P-302 当院における非もやもや病脳梗塞の 6 例**
 ○杉山延喜¹, 横山淳一^{1,2}, 池上真理子^{1,3}, 宮下好洋¹, 松田晋一¹
 東海大学小児科学¹, 同 付属大磯病院小児科², 同 付属八王子病院小児科³
- P-303 発達障害同胞例の脳波学的検討**
 ○川谷正男^{1,2,3}, 米谷 博¹, 巨田元礼¹, 大嶋勇成¹, 友田明美², 平谷美智夫³
 福井大学小児科¹, 同 大学院附属子どもの発達研究センター², 平谷こども発達クリニック³
- P-304 Rett 症候群における尿中メラトニン代謝物測定と睡眠覚醒リズム**
 ○田沼直之^{1,2}, 小峯 聡¹, 福水道郎¹, 富永恵子³, 根本和夫³, 中島啓介², 宮田理英², 林 雅晴², 小沢 浩⁴
 東京都立府中療育センター小児科¹, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生², 東京都立府中療育センター内科³, 島田療育センターはちおうじ⁴
- P-305 バセドウ病に類もやもや病を合併した 1 女兒例**
 ○林仁幸子, 巨田元礼, 米谷 博, 川谷正男, 大嶋勇成
 福井大学病院小児科
- P-306 注意欠陥/多動性障害をもつ小児の聴覚性事象関連電位の検討**
 ○若本裕之¹, 河邊美香¹, 長尾秀夫², 森本武彦¹
 愛媛県立子ども療育センター小児神経科¹, 愛媛大学教育学部障害児病理²
- P-307 高機能自閉症スペクトラムの 2 症例における eZIS による脳血流減少領域の経時的変化の検討**
 ○南谷幹之^{1,2}, 浜野晋一郎^{2,3}, 田中 学³, 菊池健二郎^{2,3}, 松浦隆樹^{2,3}, 菅谷ことこ^{2,3}, 井田博幸³
 埼玉県立小児医療センター保健発達部¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター神経科³

- P-308 ADHD 児のメチルフェニデート内服前後における読字能力の検討
○北條 彰, 田角 勝, 花岡健太郎, 森田孝次, 板橋家頭夫
昭和大学病院小児科
- P-309 NIRS (近赤外分光法) を用いた前頭葉機能の評価と自閉症スペクトラム徴候との関連に関する検討
○新美妙美, 稲葉雄二, 本林光雄, 西村貴文, 柴 直子
信州大学小児医学
- P-310 演題取り下げ
- P-311 当院眼科における発達障害児・者専門外来の現況
○山崎広子^{1,2}, 稲垣真澄², 小林朋佳², 加我牧子³
国立国際医療研究センター国府台病院眼科¹, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部², 同 精神保健研究所³
- P-312 右上肢不全麻痺と構音障害で発症した左側蛇状脳動脈瘤の 4 歳女児例
○大前禎毅, 長村敏生, 長谷川雅文
京都第二赤十字病院小児科
- P-313 頓眠と右共同偏視で気づかれた乳児脳梗塞の 1 例
○嶺間博隆
中頭病院小児科
- P-314 当科外来での発達知能検査について
○小泉慎也, 宮武千晴, 藤野 修
日本医科大学千葉北総病院小児科

第 2 日目 ポスター 第 6 会場

- 10:10~11:25 学習障害／自律神経, 頭痛／電気生理／画像／末梢神経…………… (S385)
座長 永島哲郎 (釧路赤十字病院小児科)
植田佑樹 (北海道大学大学院小児科学, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
- P-315 後出しじゃんけん課題遂行中の前頭部ヘモグロビン濃度の発達変化
—近赤外線スペクトロスコーピー (NIRS) による検討—
○石井佐綾香^{1,2}, 加賀佳美¹, 青柳閣郎^{1,2}, 反頭智子¹, 金村英秋¹, 杉田完爾¹, 相原正男¹
山梨大学小児科¹, 山梨県立あけぼの医療福祉センター²
- P-316 視覚誘発脳波を用いた大細胞系機能評価と読字能力の関連性
○小林朋佳^{1,2}, 稲垣真澄², 山崎広子^{2,3}, 北 洋輔^{2,4}, 山本寿子^{2,5}, 加我牧子²
社会保険中央総合病院小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部²,
国立国際医療研究センター国府台病院眼科³, 日本学術振興会特別研究員⁴, 聖マリアンナ医科大学
病院小児科⁵
- P-317 脳波検査時におけるラメルテオンの使用効果
○赤池洋人, 近藤英輔, 加藤 敦, 藤本洋樹
川崎医科大学小児科学
- P-318 同名半盲を伴う片頭痛様頭痛にナラトリプタンが著効した Sturge-Weber 症候群の 1 例
○野村昇平¹, 島川修一¹, 福井美保¹, 柏木 充², 田辺卓也³, 玉井 浩¹
大阪医科大学小児科¹, 市立枚方市民病院小児科², 田辺・門林こどもクリニック小児神経内科³
- P-319 頻りに再発を繰り返す慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチーに対してシクロスポリン導入中の 7 歳女児例
○底田辰之¹, 吉岡誠一郎², 高野知行², 竹内義博²
野洲病院小児科¹, 滋賀医科大学小児科²
- P-320 発達性読み書き障害児の音韻操作時における脳機能の脆弱性
○北 洋輔^{1,2}, 山本寿子^{1,3}, 大場健太郎⁴, 寺澤悠理⁵, 守口善也^{4,5}, 加我牧子¹, 稲垣真澄¹
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部¹, 日本学術振興会特別研究員²,
聖マリアンナ医科大学小児科³, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神生理研究部⁴,
同 脳病態統合イメージングセンター⁵

- P-321 大脳皮質運動野の発達に関する MRI 計測による評価法**
○岡 徳之¹, 吉野加容子², 加藤俊徳¹
株式会社脳の学校脳環境研究部門¹, 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程²
- P-322 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 3 例の治療経過—免疫グロブリンとステロイドの治療選択—**
○高木敦子, 藤井克則, 藤田真祐子, 水落弘美, 須山麻衣子, 塩浜 直, 内川英紀, 河野陽一
千葉大学大学院小児病態学
- P-323 体位性頻脈症候群 (POTS) の起立試験における脳血流および脳酸素代謝に関する検討**
○遠藤あゆみ¹, 藤田之彦¹, 麦島秀雄¹, 酒谷 薫²
日本大学小児科学¹, 同 脳神経外科学系光量子脳工学²
- P-324 3 テスラ MRI を用いた発達障害児の海馬回旋の発達スペクトラム**
○吉野加容子^{1,2}, 加藤俊徳²
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程¹, 株式会社脳の学校脳環境研究部門²
- P-325 拡散テンソル画像を用いた難治頻回部分発作重積型急性脳炎の後障害の解析**
○嶋 泰樹, 奥村彰久, 池野 充, 安部信平, 清水俊明
順天堂医院小児科
- P-326 読み困難児への自主学習 DVD 音読訓練の効果**
○内山仁志^{1,2}, 関あゆみ^{1,2}, 田中大介^{1,2}, 若宮英司³, 小枝達也^{1,2}
鳥取大学地域学部地域教育学科¹, 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部², 藍野大学医療保健学部看護学科³
- P-327 中心静脈栄養からの離脱が困難な Acute autonomic and sensory neuropathy の 1 例**
○玉井香菜¹, 田中竜太², 泉 維昌¹, 鎌倉 妙¹, 菊地 斉¹, 大戸達之², 石井亜紀子³, 須磨崎亮², 土田昌宏¹
茨城県立こども病院小児科¹, 筑波大学小児科², 同 神経内科³
- P-328 ウィリアムズ症候群および 22q11.2 欠失症候群患者のバイオロジカルモーションおよび顔知覚における神経活動**
○平井真洋, 中村みほ, 村松友佳子
愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所機能発達学部
- P-329 小学生の頭痛診療において生活指導は重要である**
○光藤 尚¹, 山本文夫², 伊藤康幸², 橋本洋一郎², 荒木信夫¹
埼玉医科大学神経内科¹, 熊本市市民病院神経内科²
- P-330 小児片頭痛 30 例の検討**
○犬塚 幹
佐世保中央病院小児科
- P-331 一側下肢の筋萎縮を主訴とした症例の検討**
○新井ひでえ¹, 三ツ井弘一¹, 内田智子², 本島敏乃^{1,3}, 小俣 卓¹, 田邊雄三^{1,4}
千葉県立こども病院神経科¹, 千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科², 本島総合病院小児科³, そがこどもクリニック⁴
- P-332 集中治療領域における自動発作検出プログラムの応用**
○丸山あずさ, 西山将広, 藤田杏子, 永瀬裕朗
兵庫県立こども病院脳神経内科
- P-333 小学校 2 年生児の読字・書字能力の予測因子**
○荻野竜也¹, 花房 香², 竹内章人², 諸岡輝子², 岡 牧郎³, 大塚頌子²
中国学園大学子ども学部子ども学科¹, 岡山大学大学院発達神経病態学², 同 病院小児神経科³
- P-334 大頭症, 脳室拡大を認めた骨形成不全症 1 型の男児例**
○塩浜 直, 水落弘美, 内川英紀, 藤井克則, 河野陽一
千葉大学大学院小児病態学
- P-335 仮名読字の習熟に関わる神経基盤の発達の变化: 機能的 MRI 研究**
○関あゆみ^{1,2}, 内山仁志^{1,2}, 田中大介^{1,2}, 小枝達也^{1,2}
鳥取大学地域学部地域教育学科¹, 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部²
- P-336 自閉症児における背景脳波活動の検討**
○大越優美, 山本晃子, 野口ひとみ, 本澤志方, 井手秀平, 荒井康裕, 太田秀臣, 益山龍雄, 岩崎裕治, 有馬正高
東京都立東部療育センター小児科

- P-337 大脳白質の広汎な MRI 信号異常を呈するが相当する神経学的異常のない症例の検討**
○米谷 博¹, 川谷正男¹, 巨田元礼¹, 大嶋勇成¹, 宮 一志², 新井田要³
福井大学附属病院小児科¹, 富山大学附属病院小児科², 金沢大学子どものこころの発達研究センター³
- P-338 錐体路症状を有し *MFN2* 遺伝子異常を認めた Charcot-Marie-Tooth 病の 2 例**
○糸見和也, 鈴木基正, 大野敦子
あいち小児保健医療総合センター神経科
- P-339 ギラン・バレー症候群後に歩行障害が再発した 1 例**
○野村恵子¹, 小菅浩史¹, 小篠史郎¹, 木村重美²
熊本大学附属病院発達小児科¹, 同 大学院小児発達学²

第 3 日目 第 1 会場

8:00~9:00 モーニング教育セミナー 2..... (S154)

エキスパートオピニオン—小児自閉性障害に対する薬物療法 (共同研究支援委員会主催)

座長 山形崇倫 (自治医科大学小児科)

杉江秀夫 (自治医科大学小児科)

- 1) 小児自閉性障害に対する薬物療法のアンケート調査
中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- 2) 自閉性障害の pharmacotherapy 私の処方—児童精神医学の立場から
黒川新二 (市立札幌病院静療院児童心療センター)
- 3) 私の処方: 小児神経の立場から
宮本信也 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)

9:00~10:00 教育講演 9..... (S127)

経腸栄養剤および特殊ミルク使用でのピットホール

座長 清水教一 (東邦大学医療センター大橋病院小児科)

講演 児玉浩子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科)

10:00~12:10 【テーマ企画⑤】 小児神経学とヒューマンテクノロジーの融合 (S116)

連続講演

座長 長峯 隆 (札幌医科大学神経科学)

竹内文也 (北海道大学大学院保健科学研究院)

- 1) 小児神経とロボットスーツ
山海嘉之 (筑波大学大学院システム情報工学研究科)
- 2) 解読した脳情報の実時間帰還法と小児神経
川人光男 ((株) 国際電気通信基礎技術研究所脳情報通信総合研究所)
- 3) 感覚と運動を支援する QOL テクノロジーの横断的展開の試み
井野秀一 (産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門)

12:10~12:20 閉会式

13:30~16:30 市民公開講座 (S176)

現在の子育てを考える

座長 有賀 正 (北海道大学大学院小児科学)

齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)

基調講演: 動物の子育て

小菅正夫 (元旭山動物園園長)

- 1) 途上国の子育て
楢戸健次郎 (ネパール在住家庭医)
- 2) 子育てと早起き
神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)
- 3) 食育と子育て
塩田彦隆 (NPO 法人オーガニックサポート)

第 3 日目 第 2 会場

9:00~10:00 教育講演 10 (S128)

ゲノム異常により起こる小児神経疾患

座長 黒澤健司 (神奈川県立こども医療センター遺伝科)
講演 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)

10:00~12:00 シンポジウム 3 (S135)

先天性大脳白質形成不全症—疾患概念の確立から、病態解析・治療的展望まで—

座長 小坂 仁 (神奈川県立こども医療センター神経内科)
井上 健 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研 2 部)

- 1) 先天性大脳白質形成不全症：ゲノム解析から診断，治療への取り組み
井上 健¹，岩城明子²，黒澤健司³，高梨潤一⁴，出口貴美子¹，山本俊至⁵，小坂 仁⁶
(国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研 2 部¹，九州大学生体防御医学研究所²，神奈川県立こども医療センター遺伝科³，亀田メディカルセンター小児科⁴，東京女子医科大学統合医科学研究所⁵，神奈川県立こども医療センター神経内科⁶)
- 2) 先天性大脳白質形成不全症の臨床症状と分子病態
小坂 仁¹，井上 健²，才津浩智³
(神奈川県立こども医療センター神経内科¹，国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研 2 部²，横浜市立大学遺伝学³)
- 3) MRI, MR spectroscopy による先天性大脳白質形成不全症の診断，病態解明
高梨潤一 (亀田メディカルセンター小児科)
- 4) 疾患患者由来 iPSC 細胞の樹立と病態解析：中枢神経障害への応用
下島圭子^{1,2}，山本俊至² (科学技術振興機構 さきがけ¹，東京女子医科大学統合医科学研究所²)

第 3 日目 第 3 会場

8:00~10:00 第 4 回小児免疫性脳炎研究会

10:00~12:00 シンポジウム 4 (S138)

発達障害の最前線—病態から社会まで

座長 久保田健夫 (山梨大学大学院環境遺伝医学)
山下裕史朗 (久留米大学小児科)

- 1) わが国の発達障害の社会的動向
石崎朝世 (社団法人発達協会王子クリニック)
- 2) 発達障害につながる胎生期環境
福岡秀典 (早稲田大学総合研究機構)
- 3) 動物モデルからみた発達障害の発症病態—環境ストレスと脳機能—
平澤孝枝¹，石田哲史¹，田原佑里子¹，遠藤 彰¹，小泉修一²，三宅邦夫¹，久保田健夫¹
(山梨大学大学院環境遺伝医学¹，同 薬理学²)
- 4) 発達障害の子どもたちを巡る学校と医療機関のコミュニケーション
小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科，国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部)
- 5) 脳画像と脳機能に基づく発達障害の客観診断—社会性の障害に着目して—
加藤進昌 (昭和大学附属烏山病院)
- 6) ADHD に対する薬物や行動療法を用いた最新の治療
山下裕史朗 (久留米大学小児科)

第 3 日目 第 4 会場

- 9:00~10:00 てんかん 6 (S258)
- 座長 沖 潤一 (旭川厚生病院小児科)
亀井 淳 (岩手医科大学小児科)
- O-192 てんかん外科加療後の難治性てんかんに対する 3 種の新規抗てんかん薬治療の検討
○藤井明子^{1,2}, 松尾光弘², 里 龍晴¹, 松坂哲應², 森内浩幸¹
長崎大学病院小児科¹, 長崎県立こども医療福祉センター²
- O-193 重症児・者におけるフェニトイン使用状況と歯肉肥大
○後藤一也, 今井一秀
国立病院機構西別府病院小児科
- O-194 バルプロ酸の投与中に高尿酸血症を呈した 2 例
○岸 高正
公務員共済連広島記念病院小児科
- O-195 小児期発症の難治性てんかん症例に対する Levetiracetam の使用経験
○岡崎 伸¹, 川脇 壽¹, 辻ひとみ¹, 堀野朝子¹, 温井めぐみ¹, 井上岳司¹, 九鬼一郎¹, 天羽清子²,
塩見正司^{2,3}, 富和清隆^{1,4}
大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科¹, 同 小児救急科², 愛染橋病院小児科³, 東大寺福祉療育病院⁴
- O-196 脳炎脳症後てんかんの慢性期におけるステロイドパルス治療の経験
○山口解冬, 高橋幸利, 伊藤智城, 高橋宏佳, 福山哲広, 最上友紀子, 高山留美子, 大谷英之,
秋山倫之, 池田浩子, 今井克美, 重松秀夫, 井上有史
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター
- O-197 点頭てんかん後の難治性てんかん患者に対する新規抗てんかん薬の治療経験
○藤原由美, 永井盛博, 松岡 舟, 桐野友子, 遠藤彰一
国立病院機構香川小児病院神経内科
- 10:00~12:00 ワークショップ 2 (S146)
- 小児神経医療における心理士の在り方 (長期計画委員会主催)
- 座長 小西行郎 (同志社大学大学院心理学研究科)
作田亮一 (獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター)
- 1) 小児神経学会会員へのアンケート調査結果報告
作田亮一 (獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター)
 - 2) 小児神経医療における心理士に必要な医学的知識
杉田克生 (千葉大学教育学部基礎医科学)
 - 3) 診療報酬を検討する立場から
田角 勝 (昭和大学小児科)
 - 4) 医療の中での心理資格認定
小西行郎 (同志社大学大学院心理学研究科)
 - 5) 心理士に必要な発達障害の評価・相談
小野次朗 (和歌山大学教育学部特別支援教育学)
- 13:00~17:00 第 7 回小児重症筋無力症研究会

第3日目 第5会場

- 9:00~10:10 発達障害 5 (S260)
- 座長 氏家 武 (北海道こども心療内科氏家医院)
横山浩之 (山形大学看護学科)
- O-198 高機能広汎性発達障害児に対する就学支援—高校入試から入学前までの関わり—
○高木幸弘¹, 橋本俊顕², 津田芳見³
鳴門山上病院リハビリテーション部門¹, 徳島赤十字ひのみね総合療育センター², 鳴門教育大学特別支援教育³
- O-199 静岡市における発達障害者支援センターと保健福祉センターの連携
○前田椰子^{1,2}
静岡市発達障害者支援センター¹, 静岡医療福祉センター²
- O-200 幼小児期 (地域・学域) から成人期 (職域) へとつながる軽度発達障害者の社会適応支援 (就学・就労) の現状と課題
○塩田直樹¹, 千手絢子^{1,2}, 福田智文¹, 石井雅宏¹, 下野昌幸¹, 楠原浩一¹
産業医科大学小児科¹, 宇部興産株式会社健康管理センター²
- O-201 発達障害者支援状況に関する地域比較
○小倉加恵子¹, 中島八十一²
国立障害者リハビリテーションセンター研究所脳機能系障害研究部発達障害研究室¹, 同 脳機能系障害研究部²
- O-202 家庭に課題のある発達障害児への支援—地域連携の中の医師の役割—
○林 優子
県立広島大学保健福祉学部附属診療センター小児科
- O-203 ペアレントメンターの活用 カナリア外来番外編
○津田明美, 坂後恒久
福井県こども療育センター小児科
- O-204 養育者と保育士・幼稚園教諭の子どもの捉え方の相違に関する研究
○石岡由紀¹, 大歳太郎², 高田 哲²
神戸親和女子大学¹, 神戸大学大学院保健学研究科²
- 10:10~11:10 急性脳症 5 (S263)
- 座長 高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)
前垣義弘 (鳥取大学脳神経小児科)
- O-205 ウイルス関連脳症における血清 NTproBNP 値の検討
○福井美保¹, 島川修一¹, 野村昇平¹, 柏木 充², 宮本良平³, 田辺卓也⁴, 東川幸嗣⁵, 玉井 浩¹
大阪医科大学小児科¹, 市立枚方市民病院小児科², 済生会茨木病院小児科³, 田辺・門林こどもクリニック小児神経内科⁴, 清恵会病院小児科⁵
- O-206 セレウス菌食中毒による急性脳症はミトコンドリア β 酸化障害を介して起こる
○山口清次, Purevsuren Jamiyan, 小林弘典, 長谷川有紀
島根大学小児科
- O-207 fT4, TSH を用いた急性脳症の早期診断の試み
○中川温子, 親里嘉展, 中尻智史, 西山敦史, 足立昌夫
加古川西市民病院小児科
- O-208 BIS モニターを用いたけいれん重積へのバルビタール療法中の管理
○田中 学¹, 菅谷ことこ¹, 松浦隆樹¹, 菊池健二郎¹, 南谷幹之², 浜野晋一郎¹
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 同 保健発達部²
- O-209 γ グロブリン療法が著効した抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例
○秋庭真理子^{1,2,3}, 奥田美津子¹, 高野亨子¹, 渡辺好宏², 辻 恵³, 和田敬仁¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 小坂 仁¹
神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター², 東京慈恵会医科大学神経生理学³

- O-210 発熱を契機に行動異常が増悪し、抗 NMDA 受容体抗体が陽性であった広汎性発達障害の 1 例
 ○宮 一志¹, 田中朋美¹, 森 寿², 宮脇利男¹
 富山大学小児科¹, 同 分子神経科学²

11:10~12:10 急性脳症 6 (S265)

- 座長 田中 肇 (北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科)
 和田敬仁 (神奈川県立こども医療センター神経内科)
- O-211 高次脳機能障害への対応に難渋したヘルペス脳炎後遺症の 16 歳女子例
 ○藤田弘之, 栗原まな, 宍戸 淳, 吉橋 学, 小萩沢利孝
 神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科
- O-212 再発を繰り返す非ヘルペス性急性辺縁系脳炎でタクロリムスが奏功した 5 歳男児例
 ○岸 和子¹, 南 憲明¹, 美根 潤¹, 金井理恵¹, 山口清次¹, 高橋幸利²
 鳥根大学小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター²
- O-213 急性脳症の長期予後を急性期に予測できるか?—99 例からの検討—
 ○菊池健二郎^{1,2}, 浜野晋一郎¹, 菅谷ことこ¹, 松浦隆樹^{1,2}, 田中 学¹, 南谷幹之³, 井田博幸²
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科学², 埼玉県立小児医療センター保健発達部³
- O-214 急性脳症罹患後に生じた視覚認知障害の検討
 ○栗原まな^{1,2}, 宍戸 淳^{1,2}, 吉橋 学¹, 藤田弘之¹, 小萩沢利孝^{1,2}, 井田博幸²
 神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²
- O-215 中枢神経に画像病変を認めた急性脳炎・脳症における Wechsler 式知能検査の臨床的検討
 ○井上岳司¹, 川脇 壽¹, 辻ひとみ¹, 服部有香², 堀野朝子¹, 温井めぐみ¹, 九鬼一郎¹, 岡崎 伸¹, 天羽清子², 外川正生², 富和清隆¹, 塩見正司³
 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科¹, 同 小児救急科², 愛染橋病院小児科³
- O-216 急性脳症後遺症による視覚認知障害に対し、総合リハビリテーションが奏功した 1 症例
 ○宍戸 淳^{1,2}, 栗原まな^{1,2}, 吉橋 学¹, 藤田弘之¹, 小萩沢利孝^{1,2}, 井田博幸²
 神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²

第 3 日目 第 6 会場

9:00~10:10 学習障害 2 (S267)

- 座長 稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)
 中井昭夫 (福井大学子どものこころの発達研究センター)
- O-217 発達性計算障害の計算困難要因の分析—数的事実と計算手続きの関係性について—
 ○若宮英司¹, 中西 誠², 三浦朋子³, 竹下 盛⁴, 水田めぐみ⁴, 栗本奈緒子⁴, 奥村智人⁴, 玉井 浩^{4,5}
 藍野大学医療保健学部看護学科¹, 関西大学大学院心理学研究科², パームこどもクリニック³, 大阪医科大学 LD センター⁴, 同 小児科⁵
- O-218 注意障害と読み書き障害を認めたインフルエンザ脳症後の 1 例
 ○岡 牧郎¹, 竹内章人¹, 諸岡輝子¹, 花房 香¹, 荻野竜也², 大塚頌子¹
 岡山大学大学院発達神経病態学 (小児神経科)¹, 中国学園大学子ども学部子ども学科²
- O-219 Vector-NIRS 法を用いた小児脳機能の定量診断—ベクトル解析による脳血液量と酸素代謝の調節反応の定量化—
 ○吉野加容子^{1,2}, 加藤俊徳²
 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程¹, 株式会社脳の学校脳環境研究部門²
- O-220 小児自閉性症状に対する薬物治療の実態 第二次調査報告 (1)—小児神経科医の薬剤選択傾向について—
 ○遠藤ゆかり¹, 中川栄二¹, 榎園 崇¹, 永井盛博¹, 松田悠子¹, 齋藤貴志¹, 斎藤義朗¹, 小牧宏文¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 安村 明², 稲垣真澄²
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 同 精神保健研究所知的障害研究部²
- O-221 小児自閉性症状に対する薬物治療の実態 第二次調査報告 (2)—薬剤別の使用状況, 使用量, 副作用について—
 ○永井盛博¹, 中川栄二¹, 榎園 崇¹, 遠藤ゆかり¹, 松田悠子¹, 齋藤貴志¹, 斎藤義朗¹, 小牧宏文¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 安村 明², 稲垣真澄²
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 同 精神保健研究所知的障害研究部²

- O-222 身体症状が心因反応と考えられた症例についての検討
 ○成田有里¹, 浜野晋一郎², 黒田 舞¹, 南谷幹之³, 田中 学², 菊池健二郎²
 埼玉県立小児医療センター保健発達部心理¹, 同 神経科², 同 保健発達部³
- O-223 東日本大震災後, 新たに精神症状を呈した東京在住の広汎性発達障害児・者の検討
 ○古荘純一^{1,2}, 久場川哲二³, 丸山 博³
 青山学院大学教育人間科学部教育学科¹, 昭和大学精神科², 松戸クリニック³

10:10~11:10 てんかん 7..... (S269)

- 座長 若井周治 (中の島診療所)
 藤本礼尚 (聖隷浜松病院てんかんセンター)
- O-224 乳児期に半球離断術を行った片側巨脳症の長期発達予後
 ○本田涼子¹, 須貝研司¹, 中川栄二¹, 小牧宏文¹, 斎藤義朗¹, 斎藤貴志¹, 高橋章夫², 大槻泰介²,
 佐々木征行¹
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 同 脳神経外科²
- O-225 対側優位の脳波所見を有する片側広汎性萎縮性病変の難治てんかんに対し大脳半球離断術が著効した 2 例
 ○高山留美子¹, 今井克美¹, 須藤 章², 白石秀明³, 南 弘一⁴, 伊藤智城¹, 九鬼一郎¹, 秋山麻里¹,
 最上友紀子¹, 秋山倫之¹, 池田浩子¹, 重松秀夫¹, 馬場好一¹, 高橋幸利¹, 井上有史¹
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科¹, 市立札幌病院小児科², 北海道大学大学院
 小児科学³, 和歌山県立医科大学附属病院小児科⁴
- O-226 微小な視床下部過誤腫を認めた 2 小児例
 ○大橋 伯, 小林 悠, 赤坂紀幸, 遠山 潤
 国立病院機構西新潟中央病院小児科
- O-227 迷走神経刺激療法 34 例の現在までの経過
 ○藤本礼尚¹, 横田卓也¹, 榎日出夫¹, 川端佐代子², 石原成典², 山本貴道¹
 聖隷浜松病院てんかんセンター¹, 同 リハビリテーション部²
- O-228 外科治療をおこなった内側側頭葉てんかん 6 例の臨床経過
 ○木村一恵, 磯野有章子, 長尾ゆり, 八森 啓, 野村芳子, 瀬川昌也
 瀬川小児神経学クリニック
- O-229 West 症候群に対する γ グロブリン療法の有効例の血清・髄液所見の検討
 ○松浦隆樹^{1,2}, 浜野晋一郎¹, 菅谷ことこ^{1,2}, 菊池健二郎^{1,2}, 田中 学¹, 南谷幹之³, 井田博幸²
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター保健
 発達部³

11:10~12:10 てんかん 8..... (S271)

- 座長 久保田英幹 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
 二階堂弘輝 (札幌医科大学小児科)
- O-230 てんかん外来での ADHD スクリーニングの試み
 ○田辺卓也¹, 柏木 充², 島川修一³, 若宮英司⁴, 玉井 浩³
 田辺・門林こどもクリニック小児神経内科¹, 市立枚方市民病院小児科², 大阪医科大学小児科³,
 藍野大学医療保健学部看護学科⁴
- O-231 知的障害のあるてんかんの臨床的特徴: その他の合併症の有無による差異について
 ○吉岡三恵子, 井坂雅子
 神戸市総合療育センター小児神経科
- O-232 DN-CAS 認知評価システムによる潜因性局在関連てんかんの認知機能の特徴について
 ○柏木 充¹, 田辺卓也², 島川修一³, 野村昇平³, 福井美保³, 吉川聡介⁴, 宮本良平⁵, 東川幸嗣⁶,
 若宮英司⁷, 玉井 浩³
 市立枚方市民病院小児科¹, 田辺・門林こどもクリニック小児神経内科², 大阪医科大学小児科³,
 大阪労災病院小児科⁴, 茨木済生会病院小児科⁵, 清恵会病院小児科⁶, 藍野大学医療保健学部看護
 学科⁷
- O-233 実験的多小脳回症における parvalbumin 陽性細胞の分布変化
 ○高野知行, 龍神布紀子, 吉岡誠一郎, 澤井ちひろ, 阪上由子, 竹内義博
 滋賀医科大学小児科

O-234 小児非ヘルペス性辺縁系脳炎後てんかん 4 例の臨床的特徴についての検討

○福山哲広, 九鬼一郎, 高橋宏佳, 高山留美子, 大谷英之, 秋山倫之, 池田浩子, 今井克美, 重松秀夫, 久保田英幹, 高橋幸利, 井上有史
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

O-235 てんかん重積状態の予後に関連する因子の検討

○前垣義弘¹, 戸川雅美¹, 近藤章子¹, 大野耕策¹, 岸 和子², 瀬島 齊³, 豊島光雄⁴, 大野光洋⁵
鳥取大学脳神経小児科¹, 鳥根大学小児科², 松江赤十字病院小児科³, 鹿児島大学小児科⁴, 鳥取県立中央病院小児科⁵

13:00~15:00 公開セミナー (S149)

産科医療補償制度について (産科医療補償制度検討委員会・日本医療機能評価機構共催)

座長 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
麻生幸三郎 (愛知県青い鳥医療福祉センター小児科)

- 1) 運営組織からみた現状, 問題点への対応および制度の見直し
上田 茂 ((公財)日本医療機能評価機構理事・産科医療補償制度事業管理者)
- 2) 診断書作成医からみた現状, 問題点と要望 1
須藤 章 (市立札幌病院小児科)
- 3) 診断書作成医からみた現状, 問題点と要望 2
久保田哲夫 (安城更生病院小児科)
- 4) 補償審査委員からみた現状, 問題点と助言
岡 明 (杏林大学小児科)
- 5) 産科医からみた産科医療補償制度の意義
水上尚典 (北海道大学大学院産科・生殖医学, 産科医療補償制度原因分析委員会委員)

第 3 日目 第 7 会場

9:00~10:00 電気生理・遺伝 1 (S273)

座長 山本俊至 (東京女子医科大学統合医科学研究所)
難波栄二 (鳥取大学生命機能研究支援センター/医学部附属病院遺伝子診療科)

O-236 複合型神経堤症候群 PCWH : Tg マウスによる疾患モデルの作成

○井上 健, 後藤雄一
国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾患研 2 部

O-237 レベチラセタムにより強制正常化をきたしたてんかん性脳症の 1 女児例

○菊池貴洋, 高橋信也, 中村和幸, 加藤光広, 早坂 清
山形大学小児科

O-238 てんかん性脳症の suppression-burst における高周波活動の統計学的時間・周波数分析による検出

○東田好広, 林裕美子, 井上拓志, 岡 牧郎, 遠藤文香, 小林勝弘, 吉永治美, 大塚頌子
岡山大学大学院発達神経病態学

O-239 自閉症スペクトラム障害児における顔識別時の事象関連オシレーション

○崎原ことえ¹, 軍司敦子¹, 井上祐紀^{1,2}, 北 洋輔^{1,3}, 加我牧子¹, 稲垣真澄¹
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部¹, 島田療育センターはちおうじ², 日本学術振興会特別研究員³

O-240 PWS-IC 異常メチル化によるプラダー・ウィリー症候群モデルマウスの解析

○木住野達也
長崎大学先導生命科学研究支援センターゲノム機能解析分野

O-241 L1CAM 変異により発症した先天性水頭症と Hirschsprung 病の合併例

○武内俊樹¹, 下郷幸子¹, 山崎麻美², 小崎里華³, 小崎健次郎⁴, 高橋孝雄¹
慶應義塾大学小児科¹, 国立病院機構大阪医療センター脳神経外科², 国立成育医療研究センター遺伝診療科³, 慶應義塾大学臨床遺伝学センター⁴

- 10:00~10:50 腫瘍・脳神経外科…………… (S275)
- 座長 高橋義男 (大川原脳神経外科病院とまこまい脳神経外科小児脳神経外科)
高橋章夫 (国立精神・神経医療研究センター病院てんかんセンター脳神経外科)
- O-242 小児期発症脳腫瘍の神経・内分泌的晩期合併症
○末延聡一, 岡本知子, 垣内辰雄, 秋吉健介, 泉 達郎
大分大学小児科・神経小児科
- O-243 特定疾患臨床個人調査票からみた若年発症神経線維腫症 2 型の特徴
○松尾宗明
佐賀大学小児科
- O-244 小児期留置脳室腹腔シャントの自然離脱症例の検討
○松阪康弘, 坂本博昭
大阪市立総合医療センター小児脳神経外科
- O-245 「逆さつり」遊びの後に発症した環軸椎回旋位固定
○一色史枝¹, 武内俊樹², 上牧 務¹, 高橋孝雄²
静岡市立清水病院小児科¹, 慶應義塾大学小児科²
- O-246 頭頸部外傷患児における発達障害の検討
○近藤五郎
豊橋市民病院脳神経外科
- 10:50~12:00 遺伝 2…………… (S277)
- 座長 梶井直文 (江別市立病院小児科)
山形崇倫 (自治医科大学小児科学)
- O-247 小児神経疾患患者 700 例を対象としたマイクロアレイ染色体検査の診断応用
○山本俊至¹, 下島圭子¹, 島田姿野^{1,2}, 前垣義弘³, 奥村彰久⁴, 今井克美⁵, 岡本伸彦⁶
東京女子医科大学統合医科学研究科¹, 同 小児科², 鳥取大学脳神経小児科³, 順天堂大学小児科⁴,
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター⁵, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科⁶
- O-248 小児病院におけるマイクロアレイ CGH 染色体検査の問題点
○黒澤健司¹, 富永牧子¹, 和田敬仁², 鮫島希代子³, 石川亜貴⁴, 高野亨子², 井合瑞江², 小坂 仁²,
山下純正²
神奈川県立こども医療センター遺伝科¹, 同 神経内科², 群馬県立小児医療センター遺伝科³,
北海道立子ども総合医療・療育センター遺伝科⁴
- O-249 日本における脆弱 X 症候群および関連疾患の研究
○足立香織^{1,2}, 杉江秀夫³, 後藤雄一⁴, 佐々木司⁵, 大野耕策², 難波栄二¹
鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野¹, 同 脳神経医科学講座脳神経小児科学², 自
治医科大学小児科学³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研 2 部⁴, 東京大学大学院教
育学研究科身体教育学コース健康教育学⁵
- O-250 退行, 発熱時の高 CPK 血症, 歯根形成不全を認めた遺伝性対側性色素異常症の 1 例
○松本文博, 真野利之, 池田 妙, 平田郁子, 柳原恵子, 鳥邊泰久, 鈴木保宏
大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科
- O-251 生後 2 カ月で脳症様変化を認めた先天性色素失調症の 1 例
○松田典子, 高橋 努, 四家達彦
済生会宇都宮病院小児科
- O-252 PLP1 部分欠失による X 連鎖性不完全優性痙性対麻痺の 1 家系: PLP1null 変異の臨床的特異性について
○松藤まゆみ¹, 中村紀子², 友納優子², 井上貴仁², 井上 健³, 小坂 仁⁴, 黒澤健司⁵, 宇都宮英綱⁶,
高嶋幸男¹
柳川療育センター小児科¹, 高木病院小児科², 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研 2
部³, 神奈川県立こども医療センター神経内科⁴, 同 遺伝科⁵, 福岡山王病院放射線科⁶
- O-253 もやもや病感受性遺伝子 RNF213 の検討
○石崎義人, 鳥巢浩幸, 酒井康成, 實藤雅文, 山口 結, 原 寿郎
九州大学大学院成長発達医学